

令和元年東日本台風における災害対応検証

令和2年12月

郡 山 市

目 次

第1章 検証の概要

- 1 目的・・・・・・・・・・・・・・・・・・P1
- 2 検証の経過・・・・・・・・・・P1

第2章 令和元年東日本台風災害の概要

- 1 気象概況・・・・・・・・・・P3
- 2 気象警報・・・・・・・・・・P4
- 3 地区別総雨量・・・・・・・・・・P4
- 4 風速・・・・・・・・・・P5
- 5 河川の水位観測所の観測値・・・・・・・・・・P5
- 6 住民避難情報の発令状況・・・・・・・・・・P5
- 7 情報発信・・・・・・・・・・P7
- 8 避難所開設及び避難者の状況・・・・・・・・・・P12
- 9 総合相談窓口等対応件数・・・・・・・・・・P15
- 10 被害状況・・・・・・・・・・P16
- 11 災害対策本部会議等開催状況・・・・・・・・・・P21
- 12 関係機関との連携・・・・・・・・・・P22
- 13 協定に基づく支援（協定締結団体との連携）・・・・・・・・・・P23

第3章 関係団体・町内会との意見交換会

- 1 郡山市自主防災連絡会役員会・・・・・・・・・・P33
- 2 郡山市セーフコミュニティ推進協議会
「第34回分野別対策委員会」・・・・・・・・・・P36
- 3 町内会長等と市長との懇談会
「台風第19号に伴う水害に関する意見交換会」・・・・・・・・・・P39
- 4 令和元年度郡山市女性グループ連絡会と市長との懇談会・・・・・・・・・・P42
- 5 民生委員協議会会長と市長との懇談会
「台風第19号に伴う水害に関する意見交換会」・・・・・・・・・・P44
- 6 町内会長等と市長との懇談会「ネット懇談会」・・・・・・・・・・P52

第4章 被災者アンケート調査

(令和元年台風第19号による災害に関する調査)・・・P65

第5章 災害対応の検証

- 1 検証の概要・・・・・・・・・・・・・・P90
- 2 初動体制及び災害対策本部のあり方・・・・・・・・P91
- 3 情報収集及び発信のあり方・・・・・・・・P93
- 4 避難対策のあり方・・・・・・・・・・・・P96
- 5 被災者支援のあり方・・・・・・・・・・・・P99
- 6 浸水対策のあり方・・・・・・・・・・・・P102

<資料>

【資料1】市の生活支援等の対応状況・・・・・・・・P106

【資料2】防災情報伝達システムによる情報発信内容・・・・・・・・P108

■第1章 検証の概要

1 目 的

昨年10月12日から13日にかけて本市を襲った令和元年東日本台風は、市内各地に甚大な被害をもたらし、多くの市民が避難生活を余儀なくされた。

当該台風にかかる本市の対応について課題等を把握・検証し、その結果を今後の防災対策に反映させ、災害に強いまちづくりに活かすことを目的とする。

2 検証の経過

(1) 関係団体・町内会との意見交換会

①郡山市自主防災連絡会役員会

- ・日 時：令和2年1月8日（水）午前10時から正午
- ・出席者：郡山市自主防災連絡会 國分会長ほか7名

②郡山市セーフコミュニティ推進協議会「第34回分野別対策委員会」

- ・日 時：令和2年1月14日（水）午前10時から正午
- ・出席者：セーフコミュニティ推進協議会防災・環境安全対策委員会
國分委員長ほか9名

③町内会長等と市長との懇談会「台風第19号に伴う水害に関する意見交換会」

- ・日 時：令和2年1月30日（木）午後3時から午後4時30分
- ・出席者：大槻中央地区町内会連合会 鈴木会長ほか36名

④令和元年度郡山市女性グループ連絡会と市長との懇談会

- ・日 時：令和2年2月3日（月） 午前10時30分から正午
- ・出席者：郡山市女性グループ連絡会 吉成会長ほか19名

⑤民生委員協議会会長と市長との懇談会

- ・日 時：令和2年2月3日（月） 午後4時30分から午後5時
- ・出席者：郡山市民生委員協議会連合会 山崎会長ほか33名

⑥町内会長等と市長との懇談会「ネット懇談会」

6-1 第1回【北地区】

- ・日 時：令和2年10月15日（木）午後2時30分から午後3時40分
- ・出席者：大槻中央地区町内会連合会 鈴木会長ほか17名

6-2 第2回【南地区】

- ・日 時：令和2年10月27日（火）午後2時30分から午後3時40分
- ・出席者：大槻中央地区町内会連合会 鈴木会長ほか18名

(2) 被災者アンケート調査（令和元年台風第 19 号による災害に関する調査）

①調査対象 令和元年東日本台風の被害があった旧郡山、安積、富久山、日和田、田村、西田の各地域に居住する住民から無作為抽出した方 2,033 人

②調査期間 令和 2 年 2 月 27 日（木）から令和 2 年 3 月 19 日（木）（22 日間）

③回答件数 1,031 件

④回 答 率 50.7%

(3) 災害対応検証ワーキンググループ（庁内）による検証

①設置年月日 令和 2 年 1 月 31 日（金）

②検証の進め方 5 つの視点ごとに分類し、それぞれの視点ごとに検証

■第2章 令和元年東日本台風災害の概要

1 気象概況

令和元年10月6日に南鳥島近海で発生した台風第19号は、10月12日19時前に大型で強い勢力で伊豆半島に上陸し、大型で強い勢力を維持したまま、関東地方を北東へ進み、13日未明には福島県を通過して明け方には宮城県沖を抜け、13日12時に北海道の南東海上で温帯低気圧となった。

本市では、10月11日から前線の影響で雨が降り出し、12日には台風の接近により昼過ぎから激しい雨が降り、特に台風の接近・通過に伴い、12日夕方から13日未明にかけては非常に激しい雨となり、局地的に猛烈な雨となった。

10月11日15時から13日06時にかけての期間降水量は、195.5mm（郡山観測所）、湖南地区では213.5mm（湖南観測所）を記録した。

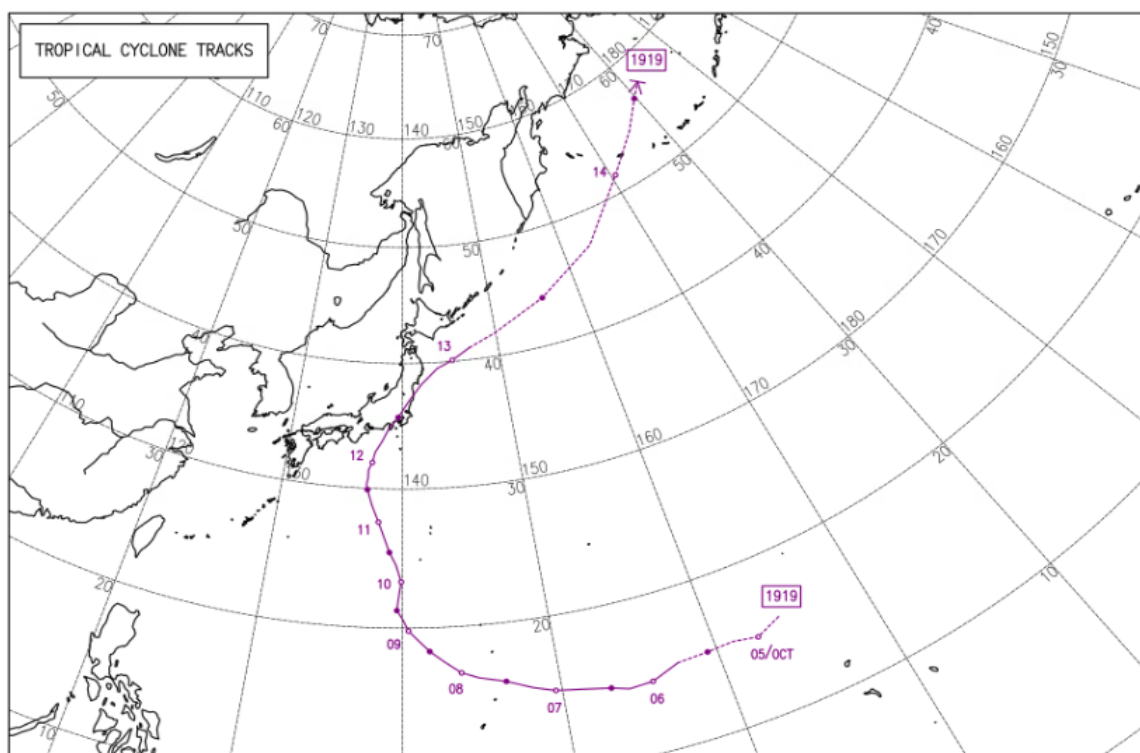
日降水量、郡山観測所185.0mmは、1976年の統計開始以来、通年で1位の値を更新した。

最大1時間降水量27.0mm（郡山観測所）、最大24時間降水量194.0mm（郡山観測所）、湖南地区210.5mm（湖南観測所）を観測し、10月として1位の値を更新した。

郡山観測所で最大風速16.2m/s（12日20時06分）瞬間最大風速25.1m/s（12日20時05分）を観測した。

この台風による大雨により、本市では初めてとなる大雨特別警報（警戒レベル5相当）が発表され、阿武隈川の越水などによる人的被害や住家被害が発生するなど、甚大な被害となった。

<台風経路図>（気象庁ホームページ）



2 気象警報

日 付	時 間	郡山市	郡山市湖南
10 月 12 日	14:09	大雨警報・暴風警報発表	大雨警報・暴風警報発表
	15:16		洪水警報発表
	15:30	土砂災害警戒情報発表	
	15:48	洪水警報発表	
	17:49		土砂災害警戒情報発表
	19:50	大雨特別警報発表	
	22:00		大雨特別警報発表
10 月 13 日	4:00	暴風警報解除	暴風警報解除
	4:00	大雨特別警報から大雨警報へ移行	大雨特別警報から大雨警報へ移行
	6:30		土砂災害警戒情報解除
	8:08		洪水警報解除
	10:55	土砂災害警戒情報解除	
	10:58		大雨警報解除
	14:57	大雨警報解除	
10 月 14 日	14:55	洪水警報解除	

3 地区別総雨量（10 月 12 日（土）00 時 00 分～10 月 13 日（日）04 時 00 分）

雨量測定場所	降り始め	総雨量	最大 1 時間雨量	最大 10 分雨量
郡山市役所	12 日 01:40～	173.0mm	22.0mm (12 日～23:00)	5.0mm(12 日～ 22:50)
芳賀地域公民館	12 日 00:40～	281.5mm	36.5mm (12 日～21:30)	7.5mm(12 日～ 22:50)
谷田川小学校	12 日 00:20～	274.5mm	33.0mm (12 日～23:30)	6.0mm(12 日～ 23:00)
中田ふれあいセンター	12 日 00:30～	284.5mm	36.5mm (12 日～23:30)	7.0mm(12 日～ 22:40)
西田ふれあいセンター	12 日 01:00～	207.0mm	27.0mm (12 日～22:10)	5.0mm(12 日～ 22:00)
郡山カルチャーパーク (郡山観測所)	12 日 00:50～	201.0mm	27.0mm (12 日～23:10)	6.0mm(12 日～ 22:30)
湖南町福良 (湖南観測所)	12 日 00:50～	221.5mm	26.5mm (12 日～23:10)	5.0mm(12 日～ 23:10)
熱海小学校	12 日 01:10～	159.0mm	21.0mm (12 日～22:50)	6.0mm(12 日～ 22:30)
福島河川国道事務所（富久山）	12 日 01:10～	218.0mm	26.0mm (12 日～21:50)	5.0mm(12 日～ 22:30)
逢瀬町多田野	12 日 00:40～	230.0mm	26.0mm (12 日～20:30)	6.0mm(12 日～ 22:40)
田村町田母神	12 日 00:50～	270.0mm	33.0mm (12 日～19:40)	7.0mm(12 日～ 20:10)
郡山合同庁舎	12 日 02:10～	250.0mm	35.0mm (12 日～22:50)	7.0mm(12 日～ 22:20)

4 風速

観測所名	日付	時刻	種別	風速
郡山	10月12日	20:05	最大瞬間風速	25.1m/s
		20:06	最大風速	16.2m/s

※いずれも10月として2位の値を更新

5 河川の水位観測所の観測値

河川	観測所	最高水位	氾濫危険水位	避難判断水位	氾濫注意水位
阿武隈川	阿久津	10.01m (13日01:30)	7.9m	6.8m	5.5m
逢瀬川	富田	4.00m (12日23:00)	3.6m	3.0m	2.8m
谷田川	田村	6.81m (12日23:40)	-	-	3.7m
笹原川	成山	5.00m (13日01:10)	-	-	3.0m
藤田川	日和田	3.69m (13日00:50)	-	-	2.5m

6 住民避難情報の発令状況

(1) 対象世帯数(最大)

①河川(阿武隈川・笹原川・逢瀬川・谷田川流域)

・避難指示(緊急) 対象世帯数 36,201 世帯 対象人数 85,009 人

②土砂災害(市内全地域の土砂災害警戒区域・特別警戒区域内)

・避難指示(緊急) 対象世帯数 19,180 世帯 対象人数 52,048 人

(2) 発令件数

発令区分	件数	備考
警戒レベル3 避難準備・高齢者等避難	1件	河川：阿武隈川流域
警戒レベル4 避難勧告	2件	河川：阿武隈川流域 土砂災害：警戒区域及び特別警戒区域
警戒レベル4 避難指示(緊急)	7件	河川：阿武隈川流域及び支川流域 土砂災害：警戒区域及び特別警戒区域
警戒レベル5 災害発生情報	4件	河川：阿武隈川流域及び支川流域

【発令状況】

＜河川＞

日時	避難区分	地区名
10/12（土） 13:00	警戒レベル3「避難準備・高齢者等避難開始」	阿武隈川流域（旧市内、安積町、日和田町、富久山町、田村町、西田町）
15:00	警戒レベル4「避難勧告」	阿武隈川流域（旧市内、安積町、日和田町、富久山町、田村町、西田町）
16:40	警戒レベル4「避難指示（緊急）」	阿武隈川流域（旧市内、安積町、日和田町、富久山町、田村町、西田町）
21:41	警戒レベル4「避難指示（緊急）」	逢瀬側流域の内環状線から下流地域・谷田川流域
22:13	警戒レベル4「避難指示（緊急）」（追加）	阿武隈川氾濫危険水位超（旧市内、安積町、日和田町、富久山町、田村町、西田町）
22:56	警戒レベル4「避難指示（緊急）」（追加）	逢瀬川流域（郡山駅前付近）
23:20	警戒レベル4「避難指示（緊急）」（追加）	阿武隈川流域（内水）
10/13（日） 0:43	警戒レベル4「避難指示（緊急）」（追加）	阿武隈川流域（垂直避難等）
1:08	警戒レベル5「災害発生情報」	阿武隈川、笹原川、逢瀬川、谷田川越水
7:35	警戒レベル5「災害発生情報」	阿武隈川小原田二丁目付近漏水
8:07	警戒レベル5「災害発生情報」	阿武隈川流域各所漏水
10:23	警戒レベル5「災害発生情報」	逢瀬川流域各所漏水
10/14（月） 19:00	市内に発令していた避難指示（緊急）を解除	市内全地域

＜土砂災害＞

日時	避難区分	地区名
10/12（土） 17:50	警戒レベル4「避難勧告」（土砂災害）	土砂災害の警戒区域・特別警戒区域内（旧市内、安積町、三穂田町、逢瀬町、片平町、喜久田町、日和田町、富久山町、湖南町、熱海町、田村町、西田町、中田町）
10/13（日） 8:34	警戒レベル4「避難指示（緊急）」（土砂災害）	田村町・中田町・舞木町
10/14（月） 19:00	市内に発令していた避難指示（緊急）を解除	市内全地域

7 情報発信

(1) エリアメール

①河川

日 時	避難区分	地区名
10/12 (土) 13:00	警戒レベル3「避難準備・高齢者等避難開始」	阿武隈川流域（旧市内、安積町、日和田町、富久山町、田村町、西田町）
避難準備・高齢者等避難開始	<p>警戒レベル3 高齢者等避難開始 こちらは郡山市です。 13時に以下の地区に避難準備・高齢者等避難開始を発令。 阿武隈川流域の対象地区の高齢の方、障がいのある方、小さな子供をお連れの方などは、避難所に早めに避難してください。 【対象地区】（阿武隈川流域付近の）旧市内、安積町、日和田町、富久山町、田村町、西田町 【避難所】TVや市ウェブサイト（郡山市防災ウェブサイト）等で御確認ください。</p>	
15:00	警戒レベル4「避難勧告」	阿武隈川流域（旧市内、安積町、日和田町、富久山町、田村町、西田町）
避難勧告（水害）	<p>警戒レベル4 全員避難 こちらは郡山市です。 15時に以下の地区に避難勧告を発令。 阿武隈川流域の対象地区の方は、直ちに全員避難を開始してください。 避難所への避難が危険な場合は、近くの安全な場所に避難してください。 【対象地区】旧市内、安積町、日和田町、富久山町、田村町、西田町の阿武隈川流域付近の方 【避難所】TVや市ウェブサイト（郡山市防災ウェブサイト）等で御確認ください。</p>	
16:40	警戒レベル4「避難指示（緊急）」	阿武隈川流域（旧市内、安積町、日和田町、富久山町、田村町、西田町）
避難指示（緊急）（水害）	<p>警戒レベル4 直ちに避難 福島河川国道事務所から20時頃に阿武隈川が氾濫危険水位に達するおそれがあるとの情報がありましたので、16時40分に以下の地区に避難指示（緊急）を発令しました。下記の地区で、未だ避難していない方は、緊急に避難してください。 【対象地区】（阿武隈川流域付近の）旧市内、安積町、日和田町、富久山町、田村町、西田町 【避難所】TVや市防災ウェブサイト等でご確認ください</p>	
19:50	警戒レベル5相当「大雨特別警報」	福島地方気象台より福島県に大雨特別警報を発表
21:41	警戒レベル4「避難指示（緊急）」	逢瀬側流域の内環状線から下流地域・谷田川流域
避難指示（緊急）追加	<p>警戒レベル4 緊急に避難 逢瀬川及び谷田川が氾濫危険水位に達するおそれがあります。今後更に非常に危険な状況が見込まれます。未だ避難していない方は、近くの安全な場所に緊急に避難するか、屋内の高いところに緊急に避難するなど命を守る最善の行動をとってください。 【避難対象追加地区】逢瀬川流域の内環状線から下流地域、谷田川流域 【追加避難所】行徳小学校、大島小学校、守山小学校、守山中学校</p>	

日 時	避難区分	地区名
22:00	警戒レベル 5 相当「大雨特別警報」	福島地方気象台より福島県に大雨特別警報を発表
22:13	警戒レベル 4 「避難指示（緊急）」（追加）	阿武隈川氾濫危険水位超（旧市内、安積町、日和田町、富久山町、田村町、西田町）
避難指示（緊急）追加	警戒レベル 4 緊急に避難 阿武隈川流域が、本日 22 時現在 7.74 メートルに達し、氾濫危険水位（7.9m）に達するおそれがあります。今後更に非常に危険な状況が見込まれます。未だ避難していない方は、近くの安全な場所に緊急に避難するか、屋内の高いところに緊急に避難するなど命を守る最善の行動をとってください。	
22:54	警戒レベル 4 相当「氾濫危険情報」	国土交通省東北地方整備局より阿武隈川の阿久津橋付近で水位が上昇し、避難勧告となる氾濫危険水位に到達との発表
22:56	警戒レベル 4 「避難指示（緊急）」（追加）	逢瀬川流域(郡山駅前付近)
避難指示（緊急）追加 2	警戒レベル 4 緊急に避難 逢瀬川の水位が危険な状況となったため、まもなく駅前から逢瀬川へ抜ける下水道の樋門を閉めることとなります。郡山駅前付近で内水による浸水が生じることとなりますので、浸水対策を強化するとともに、非常に危険ですので駅前にいる方は緊急に避難してください。 【対象地区】 郡山駅前付近	
23:20	警戒レベル 4 「避難指示（緊急）」（追加）	阿武隈川流域（内水）
避難指示（緊急）最新	【警戒レベル 4 緊急に避難】阿武隈川が計画高水位を超えたため、阿武隈川へ通じる国土交通省の排水ポンプ 3 箇所（南川、愛宕川、阿久津川）の運転を停止するとの連絡がありました。今後、阿武隈川への排水が出来なくなるため、内水被害の拡大のおそれがあります。命を守る最善の行動をとってください。	
10/13（日）0:43	警戒レベル 4 「避難指示（緊急）」（追加）	阿武隈川流域（垂直避難等）
避難指示（緊急）追加	警戒レベル 4 緊急に避難 阿武隈川が、本日 0 時 20 分現在 9.78 メートルに達しました。まもなく堤防高を超え、氾濫するおそれが極めて高い状況です。屋内の高いところに緊急に避難するなど命を守る最善の行動をとってください。	
1:08	警戒レベル 5 「災害発生情報」	阿武隈川、笹原川、逢瀬川、谷田川越水
災害発生情報（水害）	警戒レベル 5 「災害発生情報」 阿武隈川、笹原川、逢瀬川、谷田川流域に、警戒レベル 5 「災害発生情報」を発令しました。阿武隈川、笹原川、逢瀬川、谷田川の堤防を越水し、非常に危険な状況です。緊急に屋内の安全な場所に避難するなど命を守るための最善の行動をとってください。	
1:09	警戒レベル 5 相当「氾濫発生情報」	国土交通省東北地方整備局より阿武隈川の阿久津町地先（阿久津橋下流右岸）付近で河川の水が堤防を越えて流れ出ているとの発表
2:01	警戒レベル 5 相当「氾濫発生情報」	国土交通省東北地方整備局より阿武隈川の郡山市石湊町地先（行合橋左岸下流）付近で河川の水が堤防を越えて流れ出ているとの発表

日 時	避難区分	地区名
7:35	警戒レベル5「災害発生情報」	阿武隈川小原田二丁目付近漏水
災害発生情報（水害）	<p>警戒レベル5「災害発生情報」</p> <p>阿武隈川の小原田二丁目地区に、警戒レベル5「災害発生情報」を発令しました。阿武隈川の小原田二丁目地区付近から漏水しているとの情報がありました。決壊の恐れがあるので、ただちに避難するか、緊急に屋内の安全な場所に避難するなど命を守るための最善の行動をとってください。</p> <p>【地 区】阿武隈川流域の浸水想定区域全域</p>	
8:07	警戒レベル5「災害発生情報」	阿武隈川流域各所漏水
災害発生情報（水害）	<p>阿武隈川の流域に、警戒レベル5「災害発生情報」を発令しました。阿武隈川の各所から漏水しているとの情報がありました。決壊の恐れがあるので、ただちに避難するか、緊急に屋内の安全な場所に避難するなど命を守るための最善の行動をとってください。</p> <p>【地 区】阿武隈川流域の浸水想定区域全域</p>	
10:23	警戒レベル5「災害発生情報」	逢瀬川流域各所漏水
災害発生情報（水害）	<p>警戒レベル5「災害発生情報」</p> <p>逢瀬川の内環状線から下流地域において、漏水しているとの、情報がありました。決壊の恐れがあるので、ただちに避難するか、緊急に屋内の安全な場所に避難するなど、命を守るための、最善の行動をとってください。絶対に近づかないでください。</p> <p>【地 区】逢瀬川の内環状線から下流の浸水想定区域</p>	
10/14（月） 19:00	市内に発令していた避難指示（緊急）を解除※ ¹	市内全地域
市内全域の避難勧告・避難指示（緊急）の一斉解除について	<p>市内に発令しておりました洪水害及び土砂災害の避難勧告及び避難指示（緊急）を、全て一斉に解除いたしました。</p> <p>なお、今後も気象情報や災害情報を、油断なくあらゆる手段で御確認ください。</p>	

※¹ 市内全域の避難勧告・避難指示（緊急）の一斉解除はエリアメールではない。

②土砂災害

日 時	避難区分	地区名
10/12 (土) 17:50	警戒レベル4「避難勧告」(土砂災害)	土砂災害の警戒区域・特別警戒区域内(旧市内、安積町、三穂田町、逢瀬町、片平町、喜久田町、日和田町、富久山町、湖南町、熱海町、田村町、西田町、中田町)
避難勧告(土砂災害)	<p>警戒レベル4 全員避難</p> <p>こちらは郡山市です。土砂災害の危険性が高まっているため、17時50分に以下の地区に避難勧告を発令しました。該当地区にお住まいの方は、直ちに全員避難を開始してください。避難所への避難が危険な場合は、近くの安全な場所に避難してください。</p> <p>【地 区】土砂災害の警戒区域・特別警戒区域内</p> <p>【避難所】TVや市ウェブサイト(郡山市防災ウェブサイト)等で御確認ください。</p>	
10/13 (日) 8:34	警戒レベル4「避難指示(緊急)」(土砂災害)	田村町・中田町・舞木町
避難指示(緊急)(土砂災害)	<p>警戒レベル4 直ちに避難</p> <p>土砂災害の危険性が極めて高まっているため、警戒レベル4「避難指示(緊急)」を発令しました。こちらの地区にお住まいの方で、未だ避難できていない方は緊急に避難をしてください。</p> <p>【地 区】舞木町、中田町、田村町地区の土砂災害警戒区域・特別警戒区域</p>	
10/14 (月) 19:00	市内に発令していた避難指示(緊急)を解除※ ²	市内全地域
市内全域の避難勧告・避難指示(緊急)の一斉解除について	<p>市内に発令しておりました洪水害及び土砂災害の避難勧告及び避難指示(緊急)を、全て一斉に解除いたしました。</p> <p>なお、今後も気象情報や災害情報を、油断なくあらゆる手段で御確認ください。</p>	

※² 市内全域の避難勧告・避難指示(緊急)の一斉解除はエリアメールではない。

(2) 防災情報伝達システムによる情報発信状況(令和元年10月9日から11月16日)

- ・防災行政無線 27 件
- ・メールマガジン 52 件
- ・防災ウェブサイト 60 件
- ・SNS(フェイスブック・Twitter) 40 件
- ・電話ガイダンス 33 件

(3) ふれあい F A X 送信状況

	送信日	件 名	枚数	担当課
1	10月11日(金)	1 台風第19号情報	1	防災危機管理課
		2 自主避難所開設情報		防災危機管理課
		3 「防災メールマガジン」の登録をお願いします！		防災危機管理課
2	10月12日(土)	1 避難所開設情報	1	防災危機管理課
3	10月14日(月)	1 台風第19号に係る災害ごみの取扱いについて	1	3R推進課
4	10月16日(水)	1 総合相談窓口を開設しました	1	政策開発課
		2 災害ごみの収集を開始しました		3R推進課
		3 消石灰の配布及び消毒を行います		保健所総務課
5	10月17日(木)	1 災害ボランティアの受付について	1	保健福祉総務課
		2 福島交通の運行状況について		総合交通政策課
6	10月18日(金) 第1号	1 各種支援制度について	1	政策開発課
		2 保険証がなくても医療機関を受診できます		国民健康保険課
		3 JR東日本(在来線)運行について		総合交通政策課
7	10月18日(金) 第2号	1 自衛隊による入浴支援について	1	災害対策本部
		2 今週末り災証明申請等を3行政センターでも受け付けます		総務法務課
8	10月18日(金) 第3号	1 大雨による自主避難所を開設しています	1	防災危機管理課
		2 り災証明等の電子申請の受付を開始しました		資産税課、保健所総務課
9	10月19日(土)	1 民間入浴施設が無料で利用できます！	1	観光課
10	10月21日(月)	1 大雨による自主避難所を開設しています	1	防災危機管理課
		2 「広報こおりやま11月号」の配送が遅れます		広聴広報課
11	10月22日(火) 第1号	1 医療機関受診における窓口での支払いについて(R1.10.18現在)	1	国民健康保険課
		2 「家庭ごみの出し方」にご協力ください		3R推進課
12	10月22日(火) 第2号	1 大雨による避難所を開設しています	1	防災危機管理課
13	10月23日(水)	1 家庭ごみの減量にご協力ください	1	3R推進課
		2 り災認定に伴う現地調査について		資産税課
14	10月24日(木)	1 大雨による避難所を開設しています	1	防災危機管理課
		2 民間入浴施設の無料利用が拡大しました		観光課
15	10月25日(金)	1 大雨による避難所を開設しています	1	防災危機管理課
16	10月29日(火)	1 住宅に係る各種支援について	1	住宅政策課
		2 福島県議会議員選挙の投票所が一部変更になります		選挙管理委員会事務局
17	10月31日(木)	1 り災証明申請の代行及び各種相談について	1	総務法務課
		2 避難所からユラックス熱海までの送迎を行います		健康長寿課
		3 無料入浴が可能な民間施設が追加になりました		観光課

8 避難所開設及び避難者の状況

- ・避難所は 42 箇所開設し、最大で 3,973 人（13 日 1 時時点）が避難した。

※12 月 25 日 18 時 00 分 全避難所閉所

【避難者最大受入れ時（10 月 13 日 1 時）の指定避難所の状況】

NO	施設名	合計	備 考
1	総合福祉センター	153	10/11 15:00 開設
2	芳賀地域公民館	173	10/11 15:00 開設
3	安積総合学習センター	398	10/11 15:00 開設
4	富久山総合学習センター	465	10/11 16:30 開設
5	田村公民館	134	10/11 16:30 開設
6	逢瀬コミュニティセンター	21	10/12 13:00 開設
7	日和田地域交流センター	34	10/12 13:00 開設
8	熱海多目的交流施設ほっとあたま	33	10/12 13:00 開設
9	西田ふれあいセンター	37	10/12 13:00 開設
10	中田ふれあいセンター	31	10/12 13:00 開設
11	高倉小学校（19:30 から高倉分館）	2	10/12 13:00 開設
12	日和田公民館梅沢分館	14	10/12 13:00 開設
13	日和田公民館八丁目分館	11	10/12 13:00 開設
14	西田地域交流センター	10	10/12 13:00 開設
15	白岩小学校	25	10/12 13:00 開設
16	東芳小学校	52	10/12 13:24 開設
17	小原田小学校	130	10/12 13:30 開設
18	桜小学校	61	10/12 13:00 開設
19	安積第一小学校	274	10/12 13:00 開設
20	高瀬小学校（11/21 から高瀬公民館）	406	10/12 13:00 開設
21	芳賀小学校	272	10/12 13:00 開設
22	障害者福祉センター	68	10/12 13:15 開設
23	小原田地域公民館	82	10/12 14:20 開設
24	中央公民館	171	10/12 16:18 開設
25	ニコニコこども館	149	10/12 16:30 開設
26	御代田小学校	192	10/12 15:30 開設
27	富久山公民館富久山分室	85	10/12 16:30 開設
28	行健小学校	63	10/12 18:50 開設
29	金透小学校	18	10/12 17:20 開設
30	郡山第五中学校	126	10/12 16:47 開設
31	三穂田ふれあいセンター	5	10/12 17:00 開設
32	片平ふれあいセンター	3	10/12 17:45 開設
33	喜久田ふれあいセンター	10	10/12 18:50 開設
34	サン・サン・グリーン湖南	4	10/12 18:50 開設
35	清水台地域公民館	8	10/12 18:20 開設
36	安積第三小学校	26	10/12 18:00 開設
37	行徳小学校	95	10/12 22:00 開設
38	大島小学校	57	10/12 22:05 開設
39	守山小学校	55	10/12 22:15 開設
40	守山中学校	5	10/12 22:45 開設
41	芳山小学校	0	10/12 23:00 開設
42	橘小学校	15	10/12 22:50 開設
合 計		3,973	

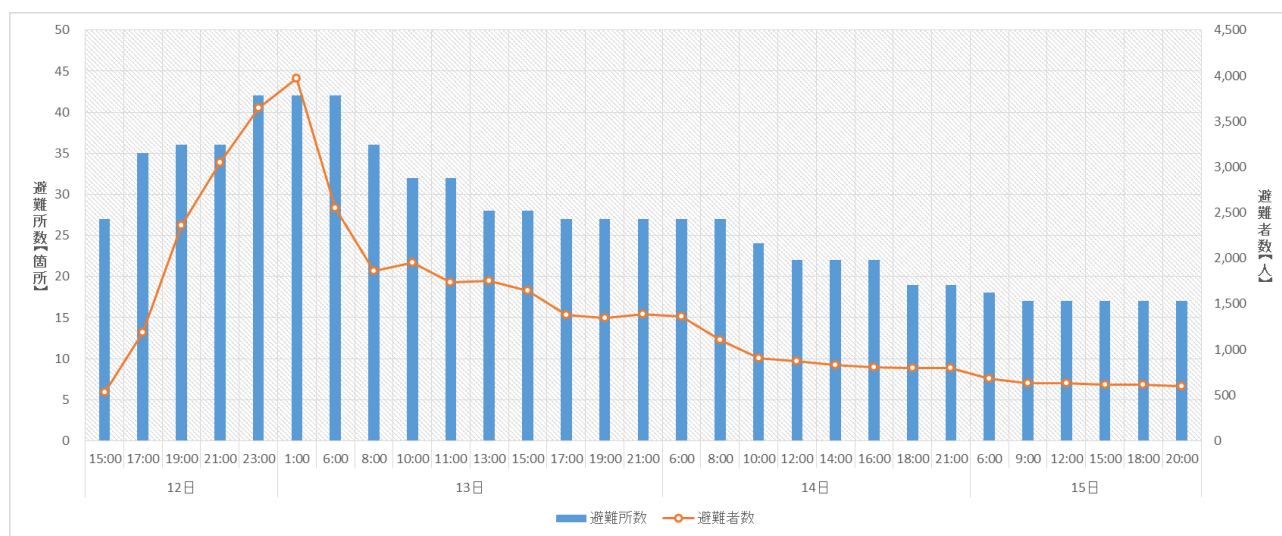
【令和元年東日本台風における開設避難所数と避難者数の推移】

(指定避難所開設 10月12日(土)14時～12月25日(水)18時)

① 指定避難所の時間帯別の推移 (10月12日14時～10月15日20時)

	12日					13日									
	15:00	17:00	19:00	21:00	23:00	1:00	6:00	8:00	10:00	11:00	13:00	15:00	17:00	19:00	21:00
避難所数	27	35	36	36	42	42	42	36	32	32	28	28	27	27	27
避難者数	529	1,190	2,355	3,045	3,644	3,973	2,549	1,861	1,951	1,735	1,752	1,644	1,380	1,348	1,388

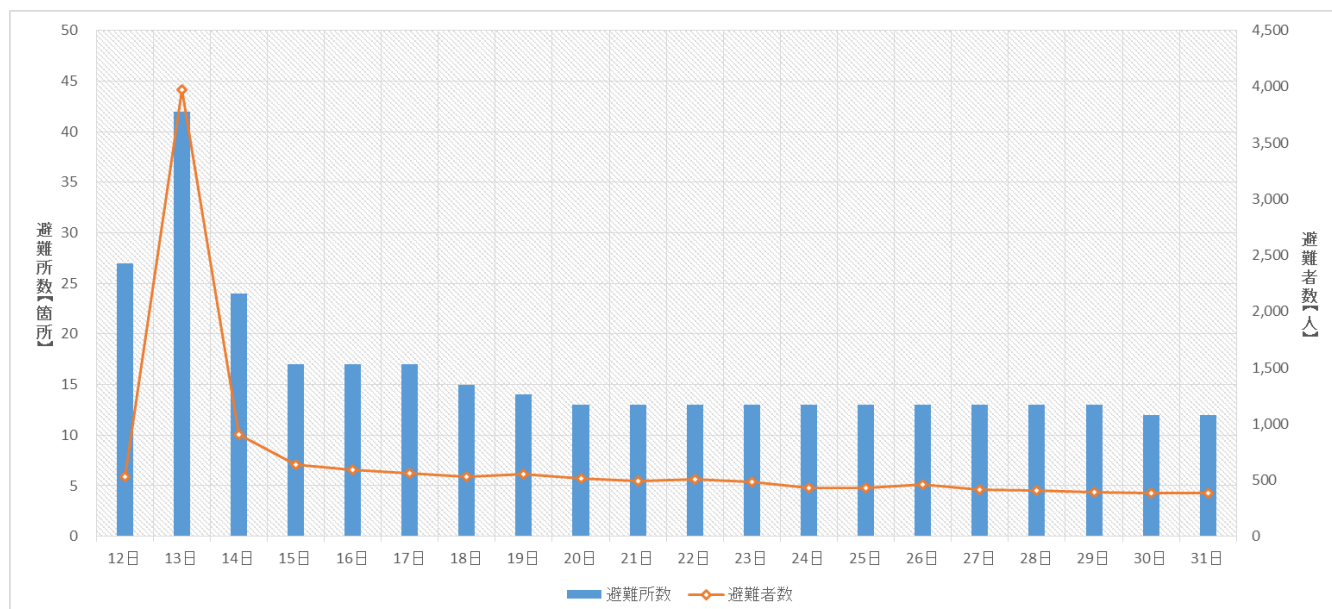
	14日								15日					
	6:00	8:00	10:00	12:00	14:00	16:00	18:00	21:00	6:00	9:00	12:00	15:00	18:00	20:00
避難所数	27	27	24	22	22	22	19	19	18	17	17	17	17	17
避難者数	1,366	1,105	908	876	830	805	800	796	681	635	628	612	614	598



② 指定避難所の日別推移

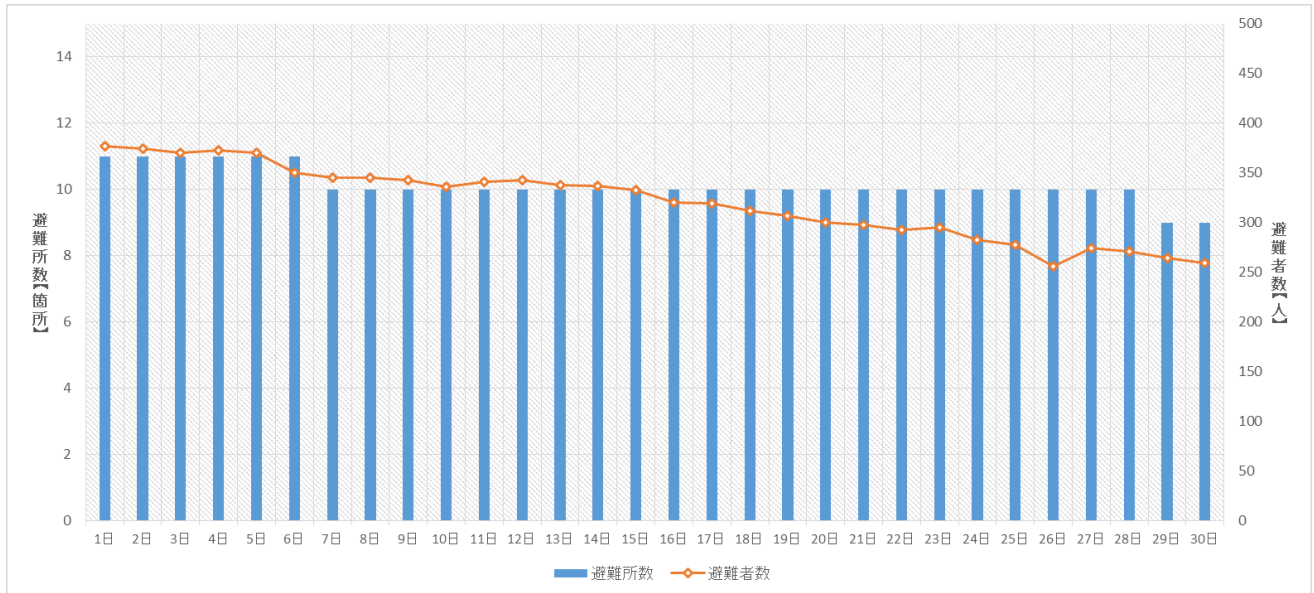
【10月】※各日午前10時時点 (12日は午後3時時点、13日は午前1時時点、15日は午前9時時点)

	12日	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日	21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日	30日	31日
避難所数	27	42	24	17	17	17	15	14	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	12	12
避難者数	529	3,973	908	635	589	563	529	552	518	495	509	486	434	429	462	414	405	394	387	384



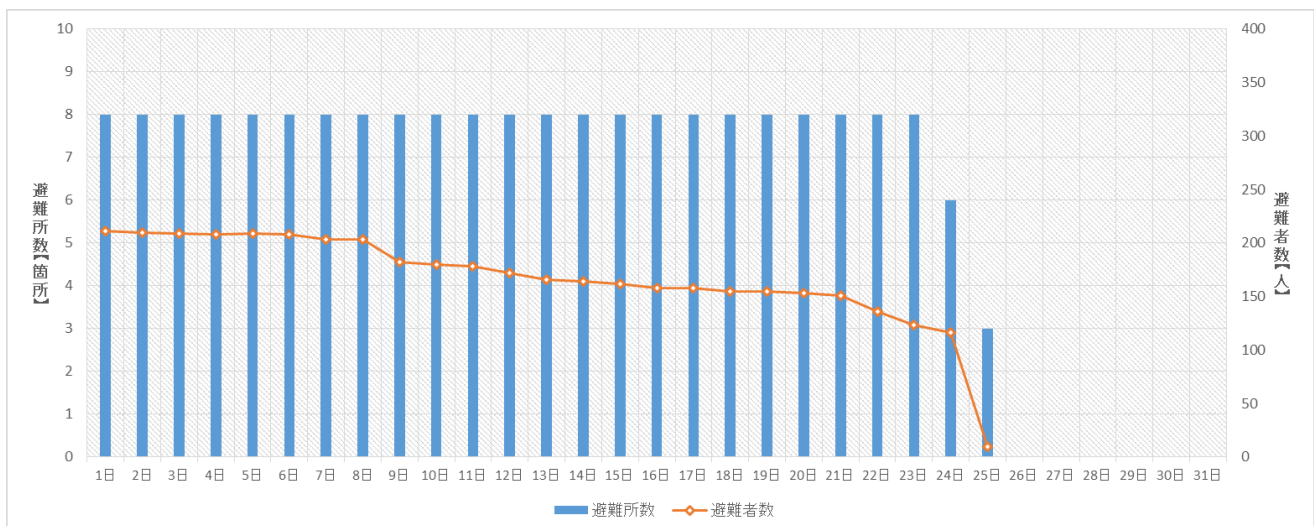
【11月】 ※各日午前10時時点

	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日
避難所数	11	11	11	11	11	11	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
避難者数	377	374	370	373	370	350	345	345	343	336	341	343	338	337	333	320	319	312	307	300
	21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日	30日										
避難所数	10	10	10	10	10	10	10	10	9	9										
避難者数	298	293	295	283	278	256	274	271	264	259										



【12月】 ※各日午前10時時点

	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日
避難所数	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8
避難者数	211	210	209	208	209	208	203	203	182	180	178	172	166	164	162	158	158	155	155	153
	21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日	30日	31日									
避難所数	8	8	8	6	3															
避難者数	151	136	123	116	10															



9 総合相談窓口等対応件数（令和元年 10 月 15 日から令和 2 年 3 月 31 日）

・窓口時間は 8 時 30 分～17 時 15 分(10/15 のみ 10 時開場、1/13 は窓口休止)

【項目別相談者数一覧表】

[人]

支援分野	1 り災証明書	2 見舞金・貸付金	3 税・国民健康 保険等	4 子育て・教育	5 上下水道	6 住宅関係	7 産業・農業	8 衛生・健康 家屋解体	9 その他	合計 (延べ人数) ※
累 計	3,489	3,678	2,472	70	2,364	3,246	181	1,841	92	17,433

※複数窓口での相談があるため、合計は延べ人数となります。



【令和元年東日本台風時の郡山市総合相談窓口】
(2019 年 10/16 広聴広報課撮影)

10 被害状況（令和2年12月21日現在）

（1）人的被害

- ・死者 6名（10月13日2名、14日2名、15日1名、18日1名）
- ・負傷者 1名

（2）住家被害 ※り災調査による

全壊	649
大規模半壊	989
半壊	3,223
一部損壊	2,870
計	7,731件

（3）非住家被害 ※り災調査による

全壊	244
大規模半壊	342
半壊	1,225
一部損壊	197
計	2,008件

（4）浸水の状況

①浸水区域

- ・14.37km²／440.83km²（山林除く）約3.26%（割合）

阿武隈川より 東側9.18km² 西側5.19km²

※東京ドーム312個分 目黒区の面積とほぼ同じ

②被害を受けた世帯数・人口（旧郡山・安積・富久山・田村・日和田・西田）

- ・21,331世帯（推計）／142,884世帯 14.9%（割合）
- ・46,263人（推計）／331,967人 13.9%（割合）



2019年10/13 6時頃 若葉町地内
（郡山地方広域消防組合撮影）



2019年10/13 15時30分頃 田村町金屋地内
（郡山地方広域消防組合撮影）

(5) 河川の被害状況

①国土交通省管理河川

河川名	被害状況	箇所数	被害箇所
一級河川 阿武隈川	越水	6	阿久津町、石湊町 外
	溢水	1	田村町御代田・徳定地内
一級河川 笹原川	越水	1	安積町日出山

②福島県管理河川

河川名	被害状況	箇所数	被害箇所
一級河川 谷田川	決壊	2	田村町上行合・下行合地内
一級河川 藤田川	決壊	1	日和田町八丁目地内
一級河川 逢瀬川	越水	-	若葉町・富久山町久保田付近 (※市確認)
一級河川 笹原川	越水	-	安積一丁目付近 (※市確認)

③河川施設被害（護岸崩れ、法面崩れ等）

・郡山市管理河川

河川名	被害状況	箇所数	備考
準用河川 亀田川外	倒木	11	
普通河川 宮南川外	護岸及び法面崩れ	109	—
準用河川 荒川外	管理施設損壊	3	フェンス倒壊
準用河川 徳定川	オイル漏れ	1	古川池
普通河川 大槻川外	災害ゴミ	2	
	計	126	

(6) 市道被害

・合計 530 件

(道路陥没等 109 件、法面崩壊 270 件、橋りょう損傷 15 件、冠水 71 件、その他 65 件)

河川被災状況



蛇石川(中田町)2019 年 10/16 河川課撮影

道路被災状況



福原八丁目線(日和田町)2019 年 10/15 道路維持課撮影

(7) 農作物等被害 (R2 年 12 月 21 日現在)

分 類	品 目	被害数量	被害金額・復 旧額(千円)	被害箇所
農作物	水稻	76ha	20,307	田村町、西田町、富久山町、日和田町
	野菜・果樹等	26ha	87,776	阿久津、安原、横川、横塚、田村町、西田町、逢瀬町、富久山町、中田町
	菌床 (しいたけ)	65,400 個	18,312	日和田町
畜産物	乳牛	19 頭	6,878	田村町
	牛舎	1 棟	5,000	田村町
農業施設	農道・水路等	315 箇所	446,807	安積町、三穂田町、逢瀬町、片平町、喜久田町、日和田町、富久山町、湖南町、熱海町、田村町、西田町、中田町、旧市内
	揚水機・頭首工	19 箇所	172,700	田村町、西田町、安積町、日和田町、中田町
	ため池	3 箇所	16,600	安積町、三穂田町、旧市内
	農地	673 箇所	565,494	大槻町、安積町、三穂田町、逢瀬町、片平町、喜久田町、日和田町、富久山町、湖南町、田村町、西田町、中田町、旧市内
	その他	48 箇所	103,000	東部地区改良区、安積疏水土地改良区
林道	18 路線	34 箇所	15,280	逢瀬町、湖南町、田村町、中田町、三穂田町
その他農業施設等	パイプハウス等	71 箇所	391,200	阿久津、横塚、田村町、日和田町、富久山町
	納屋・作業小屋	5 棟	62,493	阿久津、安原、日和田町、中田町
機械等	コンバイントラクター等	478 台	545,751	旧市内、田村町、西田町、富久山町、日和田町、中田町
被害金額 合計			2,457,598	

(8) 商工業関係の被害状況

(郡山市産業政策課「令和元年東日本台風被災事業者調査結果」R2年10月23日公表より)

(単位：百万円)

団 体 名	R 2 年 9 月 30 日 時 点			
	被災事業者数	被 害 額		
			資産被害	注1 営業被害
郡山中央工業団地	271	52,884	36,696	16,188
うち団地会	132	42,588	29,236	13,352
郡山食品工業団地協同組合	5	706	23	683
郡山商工会議所	39	5,603	3,892	1,711
郡山地区商工会広域協議会	217	3,369	2,414	955
うち安積町商工会	98	1,727	1,188	539
うち富久山町商工会	39	1,173	902	271
うち田村町商工会	59	341	305	36
合 計	532	62,562	43,025	19,537

(注1) 今回の「営業」被害額は、新型コロナによる影響を含む。

(9) 市公共施設の被害状況（浸水被害等）

①庁舎

- ・安積行政センター

②学校・保育所等

- ・永盛小学校（及び児童クラブ） ・小泉小学校 ・赤木小学校（及び児童クラブ）
- ・永盛保育所

③文化・スポーツ施設等

- ・美術館
- ・安積公民館安積分室
- ・富久山公民館小泉分館
- ・東部勤労者研修センター
- ・東部体育館
- ・永盛地域公民館
- ・富久山公民館富久山分室
- ・富久山スポーツ広場
- ・赤木地域公民館
- ・日和田公民館高倉分館
- ・東部スポーツ広場
- ・弓道場

④衛生施設

- ・富久山クリーンセンター
- ・衛生処理センター
- ・リサイクルプラザ

⑤下水道処理施設

- ・下水道管理センター
- ・行合橋中継ポンプ場
- ・マンホールポンプ場（市内各所）
- ・木村・小泉地区農業集落排水処理施設
- ・阿久津地区農業集落排水処理施設
- ・三町目地区農業集落排水処理施設
- ・梅田ポンプ場
- ・水門町真空ステーション
- ・水門町ポンプ場

⑥水道施設

- ・給水管（橋梁添架）破損 3 件（田村町谷田川地内、舞木町地内、田村町上道渡地内）
- ・配水管破損 1 件（西田町鬼生田地内）
- ・給水管露出 1 件（横塚六丁目地内）
- ・配水管露出 1 件（向河原町地内）

⑦公園

- ・笹原公園
- ・若葉公園

⑧消防詰所

- ・日和田町梅沢地内、富久山町北小泉地内、田村町徳定地内、西田町鬼生田地内

(10) 公共的施設の被害状況（浸水被害）

①保育施設

- ・ほしのご保育園 ・大町キッズスペース
- ・学校法人尚志学園 尚志幼稚園

②医療施設

- ・公益財団法人 星総合病院

③福祉施設

<障がい>

- | | |
|--------------------|----------------|
| ・ケアセンター楽笑 | ・デイセンターにんじん倶楽部 |
| ・心和（sweet hot 出張所） | ・かるみあ |
| ・ほほえみの間 | ・グループホーム笑 |
| ・グループホーム陽 | ・放課後等デイサービスれいる |
| ・安積愛育園パローネ | ・ゆったり |
| ・プリムラ | ・げんき |

<介護>

- | | |
|-------------------------------------|-------------------|
| ・居宅介護支援事業所 あんず | ・あいセルフ居宅介護支援事業所 |
| ・福澤整形外科クリニック（通りハ） | ・さかえグリーンハート美術館通り |
| ・ひでのやま機能訓練リハビリデイサービス | |
| ・デイサービスセンターらぱーす | ・デイサービス 未来 郡山 |
| ・レコードブック郡山さくら通り | |
| ・小規模多機能型居宅介護・グループホーム 輝 たむら | |
| ・小規模多機能型居宅介護・グループホーム 輝 たむら 2 号館 | |

<救護>

- ・郡山せいわ園

1 1 災害対策本部会議等開催状況

(1) 緊急庁内防災会議

- ・第1回 緊急庁内防災会議開催 10月10日(木) 16:00
- ・第2回 緊急庁内防災会議開催 10月11日(金) 14:30

(2) 災害対策本部会議

- ・第1回 災害対策本部会議開催 10月12日(土) 14:00
- ・第2回 災害対策本部会議開催 10月12日(土) 19:30
- ・第3回 災害対策本部会議開催 10月13日(日) 6:00
- ・第4回 災害対策本部会議開催 10月13日(日) 14:30
- ・第5回 災害対策本部会議開催 10月14日(月) 14:00
- ・第6回 災害対策本部会議開催 10月15日(火) 12:50
- ・第7回 災害対策本部会議開催 10月16日(水) 13:30
- ・第8回 災害対策本部会議開催 10月17日(木) 13:30
- ・第9回 災害対策本部会議開催 10月18日(金) 13:30
- ・第10回 災害対策本部会議開催 10月19日(土) 13:30
- ・第11回 災害対策本部会議開催 10月20日(日) 13:30
- ・第12回 災害対策本部会議開催 10月21日(月) 13:30
- ・第13回 災害対策本部会議開催 10月22日(火) 13:30
- ・第14回 災害対策本部会議開催 10月23日(水) 13:30
- ・第15回 災害対策本部会議開催 10月24日(木) 13:30
- ・第16回 災害対策本部会議開催 10月25日(金) 13:30
- ・第17回 災害対策本部会議開催 10月28日(月) 15:00
- ・第18回 災害対策本部会議開催 10月31日(木) 13:30
- ・第19回 災害対策本部会議開催 11月5日(火) 13:30
- ・第20回 災害対策本部会議開催 11月7日(木) 13:30
- ・第21回 災害対策本部会議開催 11月11日(月) 13:30
- ・第22回 災害対策本部会議開催 11月14日(木) 13:30
- ・第23回 災害対策本部会議開催 11月18日(月) 13:30
- ・第24回 災害対策本部会議開催 11月21日(木) 13:30
- ・第25回 災害対策本部会議開催 11月28日(木) 13:30
- ・第26回 災害対策本部会議開催 11月2日(月) 13:30
- ・第27回 災害対策本部会議開催 12月5日(木) 13:30
- ・第28回 災害対策本部会議開催 12月12日(木) 16:00
- ・第29回 災害対策本部会議開催 12月16日(月) 13:30
- ・第30回 災害対策本部会議開催 12月19日(木) 13:30
- ・第31回 災害対策本部会議開催 12月23日(月) 11:00
- ・第32回 災害対策本部会議開催 12月26日(木) 13:30
- ・第33回 災害対策本部会議開催 1月14日(火) 13:30
- ・第34回 災害対策本部会議開催 1月20日(月) 13:30
- ・第35回 災害対策本部会議開催 1月27日(月) 13:00
- ・第36回 災害対策本部会議開催 2月3日(月) 13:30
- ・第37回 災害対策本部会議開催 2月10日(月) 13:00

- ・第38回 災害対策本部会議開催 2月17日(月) 14:00
- ・第39回 災害対策本部会議開催 3月18日(水) 13:30
- ・第40回 災害対策本部会議開催 4月6日(月) 13:30
- ・第41回 災害対策本部会議開催 4月13日(月) 13:30
- ・第42回 災害対策本部会議開催 4月20日(月) 13:30
- ・第43回 災害対策本部会議開催 5月11日(月) 13:30
- ・第44回 災害対策本部会議開催 6月1日(月) 13:30
- ・第45回 災害対策本部会議開催 7月13日(月) 13:30
- ・第46回 災害対策本部会議開催 8月3日(月) 13:30
- ・第47回 災害対策本部会議開催 9月30日(月) 10:00
- ・第48回 災害対策本部会議開催 11月2日(月) 14:00

12 関係機関との連携

(1) 自衛隊(10月13日から11月4日)

- ・活動人員延べ 4,165名
- ・主な活動内容
 - ①偵察(ドローン)
 - ②入浴支援
 - ③人命救助(約400名救助)
 - ④道路警戒
 - ⑤公共施設の機能回復
 - ⑥災害廃棄物の撤去
 - ⑦プッシュ型物資の輸送

(2) 郡山消防署(10月12日から10月15日)

- ・活動人員延べ 572名
- ・救助活動 救助人数 283名

(3) 郡山市消防団(10月12日から10月14日)

- ・活動人員延べ 2,456名
- ・救助活動 救助人数 約150名

(4) 他自治体等からの応援

①福島県及び県内市町村

- ・延べ 1,582名(うち県職員1,294名)
- ・主な活動内容 避難所対応、保健師業務、り災家屋調査、り災証明発行
応急仮設住宅入居業務、農地等災害復旧事業査定 等

②新潟県及び新潟県内自治体

- ・延べ 893名
- ・主な活動内容 り災家屋調査

③上記以外自治体等

- ・延べ 1, 401 名
- ・主な活動内容 避難所対応、保健師業務、屋内消毒、災害ゴミ処分誘導、
り災証明発行、農地等災害復旧事業査定 等

1.3 協定に基づく支援（協定締結団体との連携）

- (1) 活用した協定 59 協定
- (2) 主な内容 生活必需物資等の提供協力（避難所食料品・消毒用石灰）、
駐車場の提供 等

【協定等に基づく台風第 19 号に係る支援提供状況】

<人的支援関係>

No.	協定(連携)の名称	締結（連携）先	災害支援・連携状況 等
1	災害時の情報交換に関する協定	国土交通省東北地方整備局	・郡山市役所にて災害対応
2	災害派遣に関する協定	陸上自衛隊郡山駐屯地	・災害派遣による救助等
3	特設公衆電話の設置・利用に関する覚書	東日本電信電話株式会社 福島支店	・リエゾン派遣
4	連携中枢都市圏形成に係る連携協約 (災害対策基本法に基づく相互応援協定)	田村市	・郡山市へ職員派遣（避難所対応）延べ 56 名 ・郡山市へ職員派遣（県議選投票所）延べ 6 名
5	薬剤処方適正化に向けた連携に関する協定	一般社団法人郡山薬剤師会	・避難所訪問・被災者対応
6	市民の生活習慣病予防に向けた取組に関する包括連携協定	公益財団法人福島県保健衛生協会	・避難所救護対応による生活習慣病対策等への支援

<物的支援関係>

No.	協定(連携)の名称	締結(連携)先	災害支援・連携状況 等
1	生活必需物資等の供給協力に関する協定	(株)商工給食	・避難所への弁当配食支援
2	生活必需物資等の供給協力に関する協定	(株)ヨークベニマル	・避難所へのパン配食支援
3	原子力災害時における日立市民の県外広域避難に関する協定	日立市	・支援物資(食料品)
4	災害対策基本法に基づく相互応援協定	奈良市	・支援物資(食料品)
5	災害対策基本法に基づく相互応援協定	鳥取市	・支援物資(食料品)
6	生活必需物資等の供給協力に関する協定	NPO 法人コメリ災害対策センター	・浸水家屋消毒のための消石灰調達
7	災害時における緊急・救援輸送に関する協定	社団法人福島県トラック協会郡山支部	・避難所への物資の運輸(日通郡山運輸(株))
8	生活必需物資等の供給協力に関する協定	福島県石油業組合郡山支部	・ポンプ場用A重油納入開始

<避難所支援関係>

No.	協定(連携)の名称	締結(連携)先	災害支援・連携状況 等
1	災害時における福祉避難所の設置運営協力	(福)南東北福祉事業団	・南東北グランプラス八山田に福祉避難所開設
2	災害時における福祉避難所の設置運営協力	社会福祉法人いずみ福祉会	・スプリングガーデンあさかに福祉避難所開設
3	災害時における防災活動協力	イオンタウン株式会社	・一時退避場所として駐車場の開放
4	災害時等におけるバス車両退避に関する協定書	保土谷化学工業株式会社、福島交通株式会社郡山支社	・バス車両退避(保土谷化学工業 32 台)

<災害ごみ収集・土砂撤去等支援>

No.	協定(連携)の名称	締結(連携)先	災害支援・連携状況 等
1	災害時における災害ごみ収集運搬業務の協力に関する協定	協同組合郡山市環境保全公社	・災害ごみの収集
2	災害時における災害ごみ収集運搬業務の協力に関する協定	グンダスト事業協同組合	・災害ごみの収集
3	災害時における災害ごみ収集運搬業務の協力に関する協定	郡山ダストクリーン協業組合	・災害ごみの収集
4	災害時における災害ごみ収集運搬業務の協力に関する協定	郡山市エコ・サービス協業組合	・災害ごみの収集
5	災害時における応援対策業務の支援に関する協定書	一般社団法人こおりやま建設協会	・災害ごみの収集 ・土砂撤去
6	災害時における応援対策業務の支援に関する協定書	福島県建設業協会郡山支部	・災害ごみの収集 ・土砂撤去
7	災害時における応援対策業務の支援に関する協定書	福島県造園建設業協会郡山支部	・道路の土砂撤去・路面清掃・運搬
8	災害時における応援対策業務の支援に関する協定書	郡山建設業者同友会	・道路の土砂撤去・路面清掃・運搬 ・災害ごみ収集・運搬、仮置場設置及び運営
9	災害時の応急対策業務の支援	福島県住環境復興事業協同組合	・災害ごみ収集・運搬、仮置場設置及び運営

<応急対策支援>

No.	協定(連携)の名称	締結(連携)先	災害支援・連携状況 等
1	災害時における応急対策業務の支援に関する協定	郡山電設業者協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・学校施設の被害状況把握 ・学校施設の仮設復旧対応 ・学校施設の応急復旧対応
2	災害時における応急対策業務の支援に関する協定	県中通信情報設備協同組合	<ul style="list-style-type: none"> ・学校施設の被害状況把握 ・学校施設の仮設復旧対応
3	災害時における応急対策業務の支援に関する協定	郡山市管工事協同組合	<ul style="list-style-type: none"> ・学校施設の被害状況把握 ・学校施設の仮設復旧対応
4	災害時における上下水道下水道施設応急対策の支援に関する協定	郡山建設業者同友会	<ul style="list-style-type: none"> ・土のう配布 ・樋門操作 ・ガレキ撤去
5	災害時における上下水道施設の応急対策の支援に関する協定	郡山市管工事協同組合	<ul style="list-style-type: none"> ・市内各所の応急給水活動及び応急復旧工事
6	災害時における応急対策業務の支援	協同組合ミズテック	<ul style="list-style-type: none"> ・機能停止のマンホールポンプ場等の汚水搬送開始
7	災害時における応急対策業務の支援	公益社団法人日本下水道管路管理業協会	<ul style="list-style-type: none"> ・雨水幹線調査、汚水吸引・運搬
8	災害時の応急対策業務の支援	第一環境(株)東北支社	<ul style="list-style-type: none"> ・電話対応、窓口対応に係る業務
9	災害時の応急対策業務の支援	一般社団法人こおりやま建設協会	<ul style="list-style-type: none"> ・土のう配布 ・排水ポンプ・樋門操作

<情報関係支援>

No.	協定(連携)の名称	締結(連携)先	災害支援・連携状況 等
1	災害時の情報収集等に関する協定	郡山市民アマチュア無線実行委員会	・災害情報等の提供
2	災害時における報道に関する協定	福島テレビ株式会社	・災害時の放送
3	災害時における報道に関する協定	日本放送協会福島放送局	・災害時の放送 ・避難所へのテレビの設置(芳賀小・高瀬小)
4	災害時における報道に関する協定	株式会社テレビユー福島	・災害時の放送
5	災害時における報道に関する協定	株式会社福島放送	・災害時の放送
6	災害時における報道に関する協定	株式会社福島中央テレビ	・災害時の放送
7	災害時における報道に関する協定	株式会社ラジオ福島	・災害時の放送
8	災害時における報道に関する協定	株式会社エフエム福島	・災害時の放送
9	災害時における報道に関する協定	株式会社郡山コミュニティ放送	・災害時の放送
10	災害情報に関する協定	(株)ウェザーニューズ	・協定締結時より「減災プロジェクト」を実施中
11	ドローン利活用	株式会社スペースワン	・ドローンによる被災状況調査
12	包括連携協定	株式会社 東邦銀行	・郡山市内各支店に「各種支援制度のご案内」を設置 ・被災職員向け住居等の復興応援・相談会を開催
13	郡山市番号案内表示モニターの無償提供等に関する協定	長田広告株式会社	・災害義援金周知広告の放映
14	郡山市と日本政策金融公庫との連携・協力に関する包括協定	日本政策金融公庫 福島支店 日本政策金融公庫 郡山支店	・日本政策金融公庫の貸付制度について、本市ウェブサイトに掲示、情報の周知を図った

<その他支援>

No.	協定(連携)の名称	締結(連携)先	災害支援・連携状況 等
1	郡山市と日本郵便株式会社郡山市内郵便局との包括連携協定	日本郵便株式会社郡山市内郵便局	・罹災証明書の集配業務
2	防災啓発情報の発信強化支援	NTT タウンページ株式会社	・協定締結時より防災タウンページの配布を実施中
3	災害時における地図製品等の供給等に関する協定	株式会社ゼンリン	・住宅地図の提供



自衛隊による救助（安積町日出山地内）
2019 年 10/13 10 時頃 郡山地方広域消防組合



郡山消防署による救助（田村町金屋地内）
2019 年 10/13 8 時頃 郡山地方広域消防組合撮影

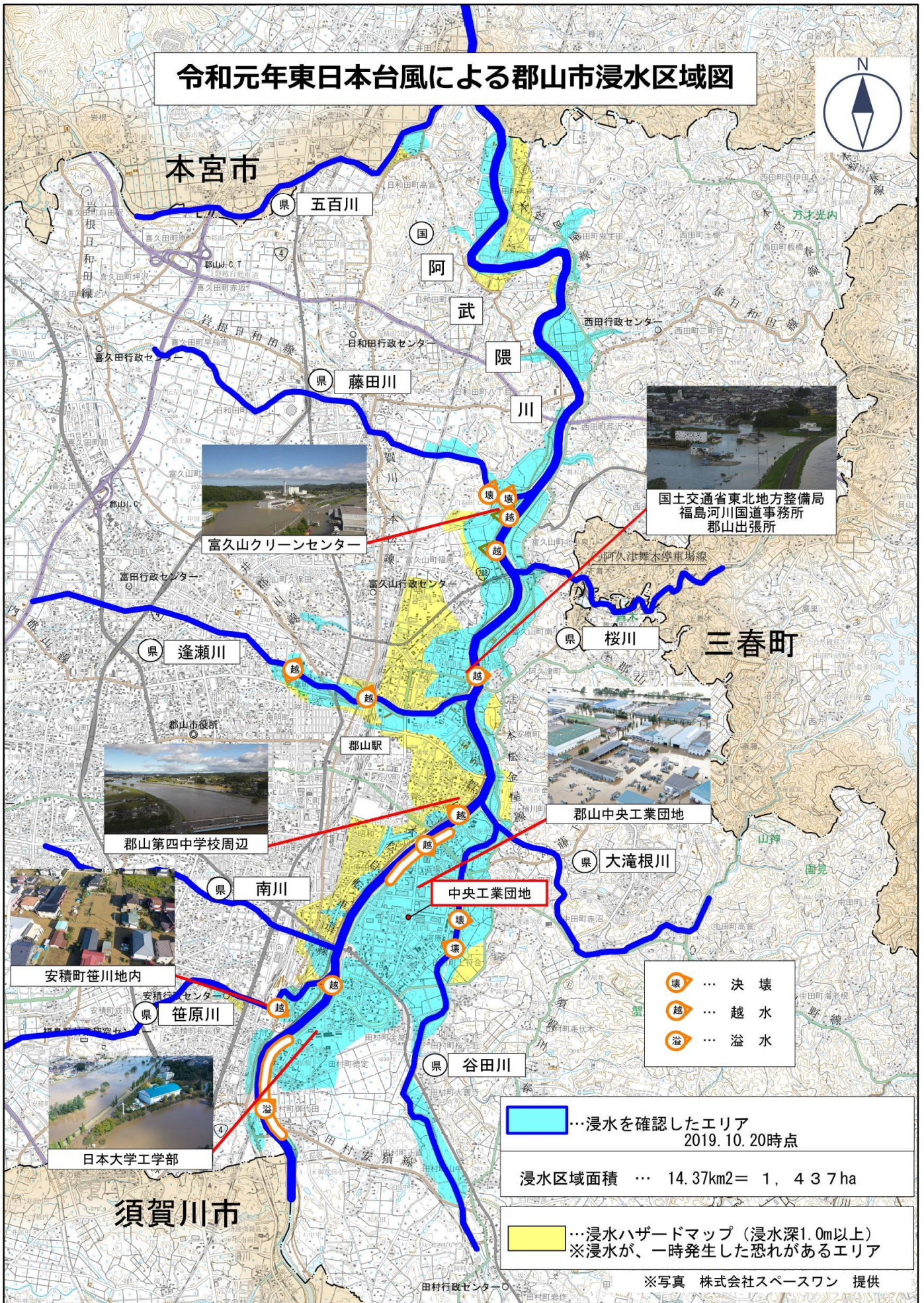


消防団のボート活動①（若葉町地内）
2019 年 10/13 4 時頃 郡山市消防団撮影



消防団のボート活動②（富久山町梅田地内）
2019 年 10/13 15 時頃 広聴広報課撮影

令和元年東日本台風による郡山市浸水区域図



■第3章 関係団体・町内会との意見交換会

【全体概要】

開催期日	団体名	意見・課題等	対応状況 (■は対応済又は対応中)
令和2年 1月8日	郡山市自主防災 連絡会役員会	<ul style="list-style-type: none"> ・地域により、命を守る「緊急避難所」として、「垂直避難」に対応できる避難所の確保が必要。 ・浸水エリアとそれ以外のエリアの自主防災会とで、意識や行動についての差があった。 ・過去に被害に遭っていない高齢者に、避難行動を起こさせるのに苦労した。 ・要配慮者の存在が把握できておらず、災害時に避難させられるか不安。 ・災害時に速やかな行動をとれるよう、平時から避難所の周知や各団体の協力体制を構築しておくことが重要。 	<p>■「垂直避難」対応避難所として、日本大学工学部、帝京安積高等学校、ケイセンビジネス公務員カレッジ、こおりやま東都学園と協定締結済。</p> <p>○自主防災会の中で対口支援を検討中。</p> <p>■「郡山市避難行動要支援者避難支援制度」の制度改正により、支援者として地域包括支援センター、社会福祉協議会を追加し支援を充実。</p> <p>○各行政センターにおいて、災害時の団体の連携方法について検討。</p>
令和2年 1月14日	郡山市セーフコミュニティ推進協議会「分野別委員会」	<ul style="list-style-type: none"> ・市の情報発信のタイミングが良かったことから、早めの避難につながった。 ・自助・共助・公助の連携が適切に図られていたか検証が必要。 ・高齢者で避難をしない人を説得するのが大変だった。広報車等を活用した避難の呼びかけも検討してはどうか。 ・避難所においては、食事面が重要。 ・道路冠水等により、公共交通機関が使えないなど、避難について課題が残った。 ・浸水ハザードマップのウェブサイトがアクセス集中により、閲覧できない時間帯があった。 ・クリーンセンターの稼働停止に伴いごみの削減に努めたが実施できてなかった。 	<p>■わかりやすい避難情報発信の在り方について、さらに検討。</p> <p>■道路冠水等交通状況を迅速に情報発信するため、ラジオ福島と「防災・災害対策緊急情報生告知に関する覚書」締結済。</p> <p>■災害状況等を投稿する「減災プロジェクト」の活用について周知を図っていく。</p> <p>○災害時のウェブサイトの強化について検討。</p>
令和2年 1月30日	町内会長と市長との懇談会	<ul style="list-style-type: none"> ・堤防かさ上げや河道掘削等を速やかに進め、今後被害が出ないようにしてほしい。 ・垂直避難場所の確保が必要。 ・避難する際のことを考えて、避難訓練など平時からの備えが重要である。 ・避難生活が長くなるとご飯が食べたくないので配慮願いたい。 ・避難者が少人数の場合は、暖房等避難所の環境が厳しい。 ・水害の時は、替えの衣類が一番必要になる。 	<p>■国、県、市それぞれの役割のもと、河川整備、河川カメラ等の水害対策を実施。</p> <p>■「垂直避難」対応避難所として、日本大学工学部、帝京安積高等学校、ケイセンビジネス公務員カレッジ、こおりやま東都学園と協定締結済。</p> <p>■災害備蓄品や避難の際の携行品、避難経路の確認等、事前準備について「わが家の防災ハンドブック」で周知。</p> <p>■ダンボールベッド等を購入済。暖房等については、適宜対応。</p>

開催期日	団体名	意見・課題等	対応状況 (■は対応済又は対応中)
令和 2 年 2 月 3 日	女性グループ 連絡会と市長 との懇談会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平常時に地域連携や体制整備をしておかないと非常時に対応できない。 ・ 災害情報、避難情報はきめ細かに発信されていた。 ・ 雨の中で、防災行政無線が聞き取りにくいため、高齢者への情報伝達手段についての検討が必要である。 ・ 隣近所に声掛けをすることが、「誰一人取り残さない」という SDGs につながる。 	<p>○ 平時からの各地域団体の連携について検討する。</p> <p>■ わかりやすい避難情報発信の在り方について、さらに検討。</p> <p>■ 高齢者等への情報伝達手段について、引き続き検討。</p>
令和 2 年 2 月 3 日	民生委員協議 会会長と市長 との懇談会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 道路が冠水し、以前作成した「防災マップ」が活用できなかった。 ・ 被害のあった阿武隈川の東側と被害のなかった西側では、かなりの温度差があった。 ・ 多くのボランティアに協力していただいたが、それでも人手が足りなかったので、平常時から共助を意識したコミュニティ形成を図ることが必要。 ・ 民生委員だけでは、対応できることに限界があるので、平常時から、他団体と協力体制が得られるような基盤づくりが必要。 ・ 避難所では、関係職員やボランティアが一生懸命対応してくれた。 	<p>○ 民生委員を含めた地域の対口支援のしくみについて検討。</p> <p>○ 日頃から各団体間の連携と情報共有を図っておく。</p>
令和 2 年 10 月 15 日	町内会長と市 長との懇談会 (北地区)	<p>○ 各地区における防災活動等の紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地区で指定されている避難所が川に隣接しており、東日本台風時も河川の水位が満水まで約 1 m と迫ったところから、今後は地区の避難所の在り方も含め地域での意見交換をするなど災害発生時の安全確保に努める必要がある。 ・ 東日本台風での避難所での経験より、助け合いの一つとして炊き出しを実施することを想定した訓練を実施した。 	<p>○ 地域や地区での防災地図の作成。</p> <p>○ 地域での災害に備えた訓練。</p> <p>○ 自治会や地区防災組織などでの連携。</p>

開催期日	団体名	意見・課題等	対応状況 (■は対応済又は対応中)
令和 2 年 10 月 27 日	町内会長と市長との懇談会 (南地区)	<p>○各地区における防災活動等の紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「自助・共助・公助」の考えに基づき、地区内の共助を改めて見直し、被害発生未然防止や小規模被害の復旧体制を検討している。 ・地区の住民の半数が高齢者となっており、防災無線や SNS 等での災害情報取得が難しいなどの情報弱者への情報手段の確保が喫緊の課題である。 ・様々な災害に対して、地域住民一人ひとりが「自分たちの地域は自分たちで守る」という意識をもち、自助、共助、公助の連携による防災活動は年々重要性を増していることから、継続して自主防災活動を進めていく。 	<p>○地区での命を守る避難所の確保。</p> <p>○地域内の各種団体との連携。</p>

1 自主防災連絡会役員会

日 時：令和2年1月8日（水）午前10時～正午

出席者：國分晴朗会長ほか7名

：事務局（防災危機管理課）

☆令和元年台風第19号に係る各役員による活動報告及び今後の対応について各役員で意見を交換した。

【主な意見】

◇A（安積町）

○オール安積として行政や町内会と協力し、4個所で炊き出しを実施した。

○日出山地区の住民の避難所は、一部の人は小原田小学校に避難したほうが近いことから、日出山の人で避難に間に合わなかった方が、急遽避難して命を守ることができる避難所として受け入れしていただけるように、学校長に協議していきたいと考えている。

○避難所も『命を守る避難所』と『生活する避難所』と分けする必要があると考えており、例えば河川の警戒水域を何mか超えたら、いずれ浸水する避難所であったとしても命を守るための最善の策として、命を守る緊急避難所として避難させるとか、地域で判断していけるように今後変えていきたいと考えている。（帝京安積高校での垂直避難など）

◇B（芳賀地区）

○8年前の2011年での経験があったことから、3つのことを実施した。1つ目は14日に町内会長を集めて被害状況の確認。2つ目は電気・ガス・水道などのライフラインの状況確認。3つ目は災害ごみの状況の確認である。

○避難については、12日の朝から水門町の住民を早めに避難させ、13日には水門町には誰もいない状況で、約100名程度を一旦芳賀小学校に避難させたが、状況が変わってきたことから、その後最終的には芳賀地域公民館に避難させた。

◇C（富久山地区）

- 12 日夕方に行政センターに詰めて、行政センターの指示を仰ぎながら対応するつもりであったが、待機していただけになった。
- 13 日昼に行政センターに詰めたが、自主防災組織の会員からの要請が無く、自発的な行動は無かった。
- 13 日昼から被害の状況確認のため各地域を巡回し、消防団から要請があれば、自主防災組織で活動を行おうと考えていたが、要請が無かった。

◇D（西田地区）

- 12 日の夜から行政センターに詰めていたが、避難準備、避難勧告、避難指示が順次発令されたため、行政センターの広報車で避難するように広報したが、22 時過ぎに広報しても夜間のため避難出来ないとの話があったことから、避難の仕方をどのように住民に浸透させたら良いかが課題であると感じた。
- 今後、避難情報から、どのように、どの場所に避難するかなど一連の避難行動を起こす体制を作るにあたり、消防や自主防災会、地区住民と話あって作っていかねばならない。そうしなければ、今後は死者が出ないとも限らないと危惧している。
- 避難をしていない高齢者は、過去に浸水被害に遭った経験がなく、今回に関しても被害に遭うことはないと判断されていたため、避難を促すのに大変苦慮したとの話があった。

◇E（東部地区）

- 平時より市から避難情報が発令されたら避難するように各町会長に情報を流して避難することになっていた。
- 避難所としては、白岩小学校と東芳小学校が指定されており、指定避難所が開設される前は、集会所に集合させていたが、指定避難所が小学校に開設されたことを受け、夜間ではあったがそちらに誘導するように指示した。
- 夜間になっても避難していない住民がいたため、自家用車で避難所に輸送した。

【検証結果】

- 阿武隈川の河川近くの自主防災組織は、過去の経験から避難行動を開始するなど速やかな初動をとった組織がある一方、浸水想定区域ではない西部の地区に関しては、平時より水害による災害を意識していないこともあり、地域での温度差があった。
- 浸水想定区域にある自主防災組織は、町内会も含め結束力を固めて避難行動をとっていた。
- 町内会にも加入していない世帯は、避難させる必要がある人がいるのかも分からず、逃げ遅れが懸念される。
- 避難所のあり方について、それぞれの地域の実態を踏まえながら、垂直避難所の確保等、更なる確保に努めていく必要がある。

2 郡山市セーフコミュニティ推進協議会「第 34 回分野別対策委員会」

日 時：令和2年1月14日（水）午前10時～正午

出席者：國分晴朗委員長ほか9名

：事務局（セーフコミュニティ課）・庶務担当課（防災危機管理課）

ワークショップ

令和元年台風第19号による被害に対する各委員の対応と今後の対策について

【各団体の意見】

○郡山市婦人団体協議会（安部副会長）

- ・10月13日（日）に炊き出しで芳賀小、芳賀地域公民館に120名分の朝食を提供した。温かいご飯、みそ汁が欲しいとの要望があったため、温かい食事を重視した。避難所での食事朝はパン、昼はカップ麺、夜は冷たい弁当であったため、温かいご飯を作って水曜日にも提供した。
- ・当日の3時半に友人からの電話により避難をした。今まで浸水被害にあったことはなかったが、床上浸水により大事な書類や写真、電気製品が駄目になった。避難する前に大事な物は2階にあげるなどしておけば良かった。

○郡山労働基準協会（鈴木専務理事）

- ・自助、共助、公助の連携は適切に図られたのか。
- ・市の情報配信のタイミングは良かった。早めの避難に繋がったと感じる。

○郡山市自治会連合会（松崎副会長）

- ・阿武隈川の支流がいたるところで冠水するなど行き場を失ったことから、避難準備、高齢者等避難開始が市から発令された時点ですぐに避難させるべきだった。
- ・息子世帯は避難したが、自分自身の家であり、今までに被害にあったことも無いことを理由に、自分だけが残ることにした高齢者がいたが、浸水により救助する事態となれば、救助に来る多くの消防団員が危険に晒されてしまうことを説明した。高齢者で避難しない人を説得することが大変であり、また、重要であると感じた。
- ・行政センターと協力し、広報車等を活用して避難をしない人を無くしていかなければいけない。

○福島さくら農業協同組合（営農企画課 大山氏）

- ・高齢者の中でも 8.5 水害よりは被害は大きくならないだろうと思っていた人が避難が遅れたものと考えられる。
- ・発災後から時間が経ってからにはなってしまったが、女性部で芳賀小学校で炊き出しを行った。
- ・浸水被害からの営農再開に向けた取り組みについて、補助事業含め市と協議をしていく。
- ・農地への堆積物については、全国農業協同組合連合会と協力をしながら対応していく。

○郡山市消防団（二瓶副団長）

- ・当日も溢水した場合は、避難するよう巡回し広報していたが、住民の方は、今までそのようなことにはなかったことがないとされていて避難しない方が多かった。阿武隈川の水位が氾濫危険水位を超える状況になってきたため、命の危険が差し迫ったことと判断し、消防団には撤退するように指示した。撤退から 15 分後に救助の要請の連絡が入り、垂直避難するように指示したケースがあった。深夜での救助は危険があることから、次の日の朝に、自衛隊のボートやヘリと協力して、救助活動をした。
- ・H23 年の被害を経験して、警戒はしていた方が多かったと思われるが、高齢者の人で雨戸をしめ、テレビを高音にし、消防団の広報が聞き取れなかったとお叱りを受けたケースもあった。また、「まさかこんなに水が上がるとは」という声が多く聞かれ、そのような方々には避難をしていただけなかった。
- ・避難時に非常用持ち出し袋などを準備していない人が多かった。準備されている方は、避難訓練に参加していて常に玄関などに準備している方だと思われるが、準備していなかった方は、このような災害が起こると想定していなかった方なのではないかと思われた。気候変動で今後近い将来に同様の災害が起こるとして対策しなければならないと考える。

○郡山市明るいまちづくり推進委員会協議会（七海副会長）

- ・富久山クリーンセンターの浸水被害による稼働停止があり、ゴミの削減を求める回覧を回したにも関わらず、ゴミの削減が全然図られていなかった。

○河川課

- ・ 浸水ハザードマップのウェブサイトがアクセスの集中により閲覧ができない時間帯があり、今後の課題である。

○上下水道局

- ・ ポンプ場の一部が浸水被害にあった。内水被害は想定しているが、河川からの被害により稼働できなくなったのは想定外であった。今後は国・県でポンプ場に河川の水がいかないように対策を進めていく予定である。
- ・ 内水と外水の2種類のハザードマップがあることが市民に認識されておらず、それぞれ違う想定の手ザードマップであることを周知していく必要がある。

○郡山市自主防災連絡会

- ・ 富久山クリーンセンターの稼働停止の件もあり、ふれあいFAXでなるべく生ゴミなどを出さないように住民に周知したが、なかにはルールを守らない方がいた。ゴミの削減はモラルの問題である。

【検証結果】

○避難所生活においては、食事面が重要であるとの意見があった。

○市の避難に関する情報配信のタイミングは良かったとの意見があるものの、レベル3が発令されたタイミングで避難を促すべきであったなどの意見もあった。

○過去の水害より被害は大きくなると判断し、避難しなかった方が多かった。

○公共交通機関が使えないなど、想定外のことが起こり、避難に課題が残った。



3 町内会長等と市長との懇談会「台風第 19 号に伴う水害に関する意見交換会」

日 時：令和 2 年 1 月 30 日（木）午後 3 時から午後 4 時 30 分

場 所：市役所 特別会議室

出席者：大槻中央地区町内会連合会 鈴木光二会長ほか 36 名

市長、副市長、教育長、上下水道事業化管理者 各部局長 各センター所長

■被災方部からの報告（要望等）：3 地区

赤木方部町内会連合会：若葉東町内会 武田会長

○逢瀬川流域で結成されている被害のあった町会と逢瀬川連合会で結成されている団体で、県知事に要望書を提出した。内容は、今回の台風被害・対策として阿武隈川、逢瀬川の掘削、逢瀬川の拡張完了や嵩上げ工事などの早期完成をお願いしたところである。

○また、市への要望としては、下記の 4 つがある。

①市長と被害者住民との懇談会の開催。

②全壊家屋の片付けの継続。

③逢瀬川嵩上げ工事及び新咲田橋の架け替え工事の早期着手。

④土手より高い排水ポンプの設置。

○町内会の反省点と教訓としては、台風など事前に分かればできるだけ電子機器を 2 階にあげることや、メインブレーカーを落とすなどをしてすぐに避難所に逃げればよいのではないかと考えている。避難所には実体験より両手を空けるようにしていった方が良かったと思った。また、寒い時期であったことから毛布を 1 枚背負っていった方が良かったかなと感じた。

安積町自治会長会：神明下町内会 長沼会長

○今までの様な災害が起きないようにするには、堤防から越水しないことが大前提であると考えている。阿武隈川は 1 級河川であるので、国が中心になって、県・市に協力願いしながら、今後同様なことが起きないように要望したい。

○安積町自治会長会からも現金支援や支援物資をいただき、感謝している。

○今回の経験を活かし、日大と帝京安積高校であれば 3.4 階の避難場所をもっているのが有効に活用すれば良いと考える。

田村町自治会：猪俣会長

- 高瀬小学校に風呂を設置していただき感謝している。
- 食べ物も飲み物もあったが、避難所生活が長くなると、やはり米のご飯が食べたい状況となることから、是非おにぎりの用意もお願いしたいと思う。
- なかなか復旧が進まない状況においては、補修費用が少額の場合は地元の市の指定業者以外の業者もいるわけであるから、そういう業者を使うという方法もあるのではないかと考える。

他意見交換

- ボランティアとして若い人たちが駆けつけてくれた。重いものとか家具、テレビ、畳など、高齢者が運び出せないものを一生懸命になって運び出してくれた。
- 各地域と避難訓練をできるような体制を自主防災組織の会長にもお願いして、できればやっていきたい。
- 水害のときは下着、替えの上着が1番欲しい。
- 阿武隈川の堤防をきちんと整備していただければ越水とか氾濫とかはなくなると思う。
- 阿久津から富久山町小泉の方が全面的に浸水したことで、小泉の交差点付近を流れている桜川の整備をお願いしたい。
- 小学校の体育館等に避難所を設けているが、何百人も収容するのであれば体育館でもいいが、2～30人であれば体育館は季節的にも気温的にも避難するための設備が整っていない。
- 中央工業団地から多くの工場が撤退していくことは何としても避けなくてはならない。そのようなところも十分に考えていただきたい。
- 行合橋は堤防が低いので水門町のほとんどである300件ぐらいが被害にあった。是非、被害に遭わないような対策をとっていただきたい。

- 今回の意見の中で、現行制度でできるもの、条例などを改正しないと無理なもの、あるいは国に制度改革の要求をしないとできないものなどもあるので、よく分類してご回答申し上げたいと思います。
- 次の災害に備えても次に災害がいつ来るかも分からないので、できるだけ緊急措置でできるものはどんどん実施していきたいと考えています。来年度予算や、来年度予算で間に合わなければ補正予算で、できるだけ早めに対応していきたいと思います。
- 医療の世界では治療から予防へ方針の転換が求められており、災害対策においても災害防止という予防で対策をどんどん実施していきたいと思いますので、お互いに知恵を出し合って今後取り組んでいただければと考えております。

【検証結果】

- 避難する際のことを考え、避難訓練など平時からの準備が重要である。
- 今回被害があった地域からは、河川の改修により堤防の嵩上げなどのハード整備を実施して、被害が出ないように対策して欲しいとの要望が多かった。
- 被害に遭った方は、ボランティアを含め、支援を受けたことに大変感謝しているとの声が多かった。
- 垂直避難所の確保や避難所の環境整備が重要である。



4 令和元年度郡山市女性グループ連絡会と市長との懇談会

日 時：令和2年2月3日 午前10時30分～正午

場 所：郡山市役所 正庁

出席者：郡山市女性グループ連絡会 吉成夏子会長ほか 19 名

：郡山市長、総務部長、政策開発部長、保健福祉部長、こども部長、
建設交通部長、教育総務部長、学校教育部長、市民部長、市民部次長、
男女共同参画課長ほか

福島県磐青の会郡山支部

- 今回の台風 19 号接近時の避難に当たって、私たちにできることに目を向け、誰一人も取り残さないという視点に立てば、自分自身のほか、隣近所に声掛けをすることが SDGs に繋がるのではと感じている。
- 今回の対応については、被災が想定されていた地域に避難しなければならない状況であるということがきめ細やかに発信されていたと思う。
- 会員の方にはなかなか連絡が取れない人もおり、災害時だけでなく平常時においても地域連携を図らないと、いざという時に対応できないのではないかとつくづく感じた。
- 東日本大震災後に民生委員をしていた際に、高齢者世帯にアンケートを取ったことがある。避難指示がでてでも避難しないと答えた方がおり、理由を聞いたところ、どういふ状況かつかめなければ避難することはできないとの回答があったり、どこに避難するか分かるかとの質問に、わからないと回答した方が大半であり、自治防災を通して、各町内会にそういうことを伝えていかなければならないと感じている。平常時の体制整備が一番大事だと思う。

郡山市婦人団体協議会

- 婦人団体では、東部、方八町、下川原などが大きく被害を受け、特に下川原の婦人会は会員 36 名のうち 32 名は浸水に見舞われる被害であった。市議会議員も来てもらいたい時にいなかった。
- 雨の中、防災行政無線が聞きとりにくいという話があった。一人暮らしの人、特にスマホを持っていない高齢者にとって、危険を知らせる方法があればいいなと考える。

○浸水被害に遭った学校に私物を取りにいった際に、個人情報散乱してしまっているのを目撃されたとの話があった。今後、浸水被害を受けたときに、個人情報の取扱いに配慮してほしいと思う。

福島県退職女性教職員あけぼの会郡山支部

○今回の阿武隈川の浸水被害で徳定地域の被害が甚大であった。現在も堤防工事に着手しているが、水害が大きくならないように早く工事が進まないかと思っている。もう少し早めの対策をとっていただければいいのになと思う。

【検証結果】

- 平常時における地域連携や体制整備などを充実させておかないと、いざという時に対応できない。
- 災害情報、避難情報などはきめ細やかに発信されていたとの意見がある反面、高齢者への情報伝達手段については、引き続き検討を要する必要がある。
- 隣近所に声がけをすることが「誰一人取り残さない」というSDGsにつながる。



5 民生委員協議会会長と市長との懇談会
「台風第 19 号に伴う水害に関する意見交換会」

日 時：令和 2 年 2 月 3 日 午後 4 時 30 分～5 時

場 所：郡山市総合福祉センター 3 階 研修室 2・3

出席者：郡山市民生委員協議会連合会 山崎久夫会長ほか 33 名

事務局（保健福祉総務課）

郡山市長、総務部長、保健福祉部長、保健福祉部次長兼保健福祉総務課長

芳賀方部民生委員協議会：七海会長

○ボランティアの中で今回被災した方が 4 名いた。10 月 12 日に台風が来るのは分かっていたので、私たちはボランティアであり民生委員でもあるので、特に危険と思われる方のところへは動いていた。

○12 日頃凄い雨が来るという予報であったので、水門町の民生委員の方は、自分が土砂降りに遭いながらも避難所に高齢者を運んでいた。芳賀地区でも自主的に動いていた。

○私は県外におり 14 日頃に戻って来た後、民生委員会長にボランティアだけでは人出が足りないのでお手伝いをお願いされたため、とりあえず動ける人だけであったが、かなりの人数で動いていた。芳賀ボランティアでは、まず「どんな所でどんな手助けが必要か」というビラを、水門町の各世帯に一件ずつ配布した。

- 石湍町の状況は早くにテレビ報道されたが、実際は水門町の方が酷くて、民生委員は高齢者を避難所に連れて行っている間に、自分の家の事が疎かになったという事実もあり、大変な状況であった。石湍町も大変で、そんなに水は上がらなかったが床下浸水など古い家や低いところでは高齢者が特に動けなかったようであった。
- 社協とボランティアの案内係をやった際、民生委員だけでは実際動けないと感じた。民生委員は自分の担当している地区は周れたが、それだけでは間に合わず、沢山のボランティアさんが来て対応にあたってくれた。
- 芳賀地区の対応は、大変温度差があると感じた。私は毎日見に行って手伝っていたが、被害に遭った人と遭わない人は両極端で、何も被害に遭っていない人が歩いているのを見かけると、少しでも良いので手伝いに来てもらえないかと感じた。
- 国道４号から西の方たちはそんなに今回の台風被害を感じていなかったと思っている。芳賀地区、水門町のことはかり頭にあって、赤木町や安積町も大変だったと思うが、他の地区を考えているところではなかった。親戚が多い方はよいのが、単身の方や夫婦のみの人は本当に大変で、倒れてしまうのではないかと心配であった。
- 社協と歩いて回った際に、個人的なことを色々聞いてはいけないと思っていたが、もう倒れそうになっている人は、社協が保健所に連絡してくれた。私も包括支援センターに連絡したり、社協に連絡したり、両方からいろんな支援の仕方があったが、格差もあった。
- 避難所に来ていた包括と連携し、看護師を要請したり、病院からインターンの学生を呼んでもらい、血圧を計ってもらうだけでも違った。病院では被災しているのに、一か月間も炊き出しをしていただいた。
- 市での弁当配布などは、東日本大震災時よりは良くなったが、おにぎりの時は、昼に配達された分を夜食べるので、硬くなってしまい高齢者は食べられないので、おにぎりをほぐして煮てあげたりした。そういう経験もあったが、やはり民生委員だけでは無理だなと思った。
- 自主防災はあまり顔が見えなかった。顔を出してもらえれば頼むこともできたが、どこの町会も自治連合会があり、そのトップが動かなければ動けないとのことであった。もっと人手があればもっと助かった。

- 昭和 61 年の 8.5 の水害は、永盛小学校付近の阿武隈川と笹原川の合流地点は、歩道も埋まって分からなくなってしまうなど、色々課題があった。あれから 30 年以上経って、今回は西部の方は全く影響がなく、12 日に台風が来て、13 日に驚くように増水し、ちょうど前と同じところに川の水が溢れた。
- 今までは神明下地区は問題なかったが、今回は帝京安積高校の一階部分が水没し、集会所も使えず、行くところもなく、高校の二階に避難した。しかし、そういった情報も、私たちのところには無かった。
- ボランティアに行きたいと思っても、国道 4 号から向こうに行けず、帰りの際に行政センターに寄ろうかと思うも、前の道路に水が上がり通れないなど今までにない水害であった。
- 道路が使えないことを直感し、会長に連絡するも、会長宅も床上浸水で外に出ることが困難な状況で、以前東日本大震災時に作成した地区の防災マップや民生委員が作ったマップも活用できず、課題となった。
- 他県での民生委員の実践を基に自分たちでできることを、計画してマップを作ったり、安否確認の仕方、連携の取り方をやってみたりしたが、今回は全く役に立たなかった。
- 何年か前に緊急連絡網も作り直したが、連休を挟んだため、それが功を奏したのは翌日であり、安積方部の民生委員 53 名においても、休日だったので、出かけている方、連絡の取れない方もいて、最後に連絡が取れた方は次の日のお昼であった。
- 神明下の町会長と連絡が取れ、民生委員も被災していることを知った。被災された方で避難所での滞在を余儀なくされた方もおり、民生委員を続けるのは難しい状況の方もいた。
- 安積方部の課題としては、安積方部は国道 4 号より東側には、なかなか手伝いには行けない現状がある。安積方部においても、何でもない地域もあり、話があれば対応に行けたという人もいた。しかし、今回は 12 日以前に、台風が来ると分かっていたにもかかわらず対応ができなかった。
- 当会では、一人暮らしの高齢者にどのように寄り添うか考えるため、4 つの地域部会を立ち上げている。その部会ごとに、エリアごとに分けながらも一度、被災しやすい地域とそうでない地域、全く被災しなかった西部地域ができることは何だろうということを、次回の地域部会の議題にしようと考えている。芳賀地域のように地域一丸となって取り組めるようなやり方を考えていきたいと思っている。

安積方部民生委員協議会：池澤会長

- 私は水田を作っているが、逆流して稲藁が全部予想もつかない方に流れた。道路にも影響があって、なかなか道路も渡れないといった被害もあった。今回治水工事に大きな予算が出たが、それも含めて民生委員もやるべきことをやっていけたらと思う。
- 安積行政センターも水没したが、行政センター所長と社協の職員の二人は本当に一生懸命やってくれた。私たちも次の日に行政センターの中で会議をしたが、電気もつかなくて真っ暗で、なんとか電気を持ち込んで会議をしたが、なかなか人が集まらなかった。それで神明下に自治会長と行政センター所長が自ら一軒ずつ訪ねてくれた。
- 働き方改革というのがあるが、安積町は3万5千人の人口で、1万6千世帯くらいあるが、それをカバーするには、社協の方一人ではなかなか追いつけない。私たちもできることは手伝えるのであるが、どうしても職員が足りない。数年前からいろいろな機関にお願いしているが、社協も市役所の職員も今回は寝ずの夜を何日か過ごしたのではないかなと思う。彼らがいないと、私たちは動けないので、行政センター所長にはセンターに残っていただいて、いろいろ指示命令をしていただきたい。

田村方部民生委員協議会：遠藤会長

- 台風19号は大変降雨量の多い台風であった。加えて阿武隈川の上流地域である白河地方で想定を超える降雨量があり、この想定を超える降雨量が濁流となって阿武隈川を一挙に流下し、郡山地域に到達してきたため、田村町徳定地内の阿武隈川右岸の堤防の未整備の場所から越水をして、日大工学部、日大東北高校の全域、御代田の一部、徳定の一部、下河原の全域が浸水被害を受けた。
- 越水した濁流が旧阿武隈川の河川敷に流れ込み、堤防を越えて金屋第一の一部、金屋第二の全域、中央工業団地の全域が浸水被害を受けた。

- 中央工業団地の東側を流れる谷田川も増水により堤防が決壊したために金屋第二中央工業団地の浸水被害が増大したと思われる。他に、谷田川の氾濫により下行合の一部、山中の一部、守山の一部、守山団地の一部、谷田川の一部、これに二瀬地域の一部など、広範囲に渡り、大きな被害にあった。
- 田村町地内の国道 49 号では 3 か所で全面通行止めが続いた。国道 49 号の谷田川にかかる大善寺橋の橋脚が沈下し、通行止めとなり、片側通行の規制がしばらく続いた。
- 田村町から市街地に通じる県道は冠水の被害によって、全面的に通行止めとなった。しかし、台風 19 号による被害が発生する一か月前の昨年 9 月 15 日に、市道笹川大善寺線が開通していたので、田村町では阿武隈川に架かる橋を渡って市街地に通じる道路が確保されていた。
- 避難所については、田村町の中で避難所に指定されている高瀬小学校の体育館は 10 月 12 日の午後 3 時頃、レベル 4 の避難勧告が出されてから続々と避難者が集まって、そして午後 9 時頃には 500 名を超えるごった返しの状態になった。
- 休むスペース、毛布の配布など不十分な点はあったが、最初の夜は、みんなで励まし合い、協力しながら一夜を過ごしたとの話を聞いた。幾度となく体育館を訪問し、避難所の状況、避難者の状況などを確認したが、体育館で対応している関係機関職員、あるいは協力者など本当に一生懸命汗を流している姿が、今でも脳裏に残っている。
- 民生委員としての災害時の活動としては、田村方部民生委員児童委員 35 名中、台風 19 号により被害を受けた民生委員は 4 名おり、被害状況は床上浸水 2 名、床下浸水 2 名となっている。被害を免れた民生委員はそれぞれの担当地区を巡回しながら、状況の把握や見守りなどを実施した。さらに、床上浸水の被害を免れた知人宅の畳や電化製品、あるいは家具等の搬出や清掃作業を手伝った民生委員もいた。
- 民生委員児童委員として、担当地区での様々な活動を通して地域住民との信頼関係を築くことによって、必要とする情報を得ることができると考えており、今後も地域住民から信頼されるように地道な活動を粘り強く続けて参りたいと思っている。

大成方部民生委員協議会：山崎会長

- 13日には既に氾濫した地域、国道4号より東にはなかなか行けなかったが、先程の話があった永盛駅から大善寺に抜ける道路が唯一通れたので、その橋を歩いて日大、帝京安積高校の方を13日に視察した。被害を受けたところというのは限られており、西の方の民生委員の会長に連絡すると、なぜ予定されていた民生委員の全国大会が中止になったのかというような反応であった。
- 被災直後はボランティアが足りないということで、被害が無かった方部から各2人ずつ土日にボランティアを出そうということで各方部の会長に連絡し、対策をとっていたところだったが、社協から連絡があってボランティアはなんとか確保できたという話があった。
- 全国大会の関係で本部の会長と、県の会長が訪問してきたことから、現地を案内して神明下の集会所に行き、アパートに住んでいる日大生や、帝京安積の高校生が一生懸命ボランティアで手伝ってくれていたと感じた。
- 神明下や一本松の区域や、帝京安積と日大東北のところは割と水が引くのも早かったようであり、溢れたのも早かったようであった。
- 民生委員として、被害を受けてない方部の方から応援に入りたいという話があったが、なんとかボランティアを確保でき、人手は間に合ったということで、対応はそれぞれの区域にお願いすることになった。

赤木方部民生委員協議会：阿部会長

- 各地域から被害状況の報告があったが、被害状況は大体同じような状態の中で、本方部の民生委員は全壊が2名、大規模半壊が1名、床上浸水が2名であった。本方部は、いつも定例会で災害が起きた場合は一人では対応できないから、とにかく自分の身の安全、そして家族の身の安全を守るよう話をしている。今回もそのような形で、避難は若葉東、西、大十、大町はすぐ避難した。
- 一番困ったのは高齢者の方で、民生委員も活動している中で、高齢者宅に行っても居ないという人が何人もいる。どこに行ったのか、身内の人の所に行ったのか、介護施設に行ったのか分からない状況があった。

- 先程、知らんぷりして行ってしまったという人の話があったが、これはあるPTAと保護者と学校の関係の話で、それぞれが気を使い過ぎていたという例もある。災害地では気を使わず手伝いを要請しても良いと考えている。今回、全国のボランティアの方も社会福祉協議会のネットワークで来ていただいており、3.11 時にもそういう文化ができていた。
- 赤木小学校は、学校の歴史年表では所々「水害」と出ており、5 回水害に遭っている。その都度手は打たれたと思われるが 5 回も遭うというのは、抜本的に手を打たなければならないと考える。
- 小泉小学校、赤木小学校、永盛小学校、3 か所とも地形を見れば水が来るのが当然という地形で、こういう地域になぜ学校を造ったということを今更言っても仕方ないので、今後学校が被災しないで済むようにしなければならないと深く認識したところである。
- 河川対策については、ある所から水が入ったために下流のほう助かった所もあり、越水するところが塞がれると、下流の水がそれだけ増えることになるので、一か所良くしたけれども、それで万全というわけにはいかない。阿武隈川流域を一つのシステムとして、少なくとも浸水になっても床下で済むということを最小限の目標にしなければならないと思っている。
- こおりやま広域連携中枢都市圏 16 市町村では、お互いに助け合うシステムがあるほか、新潟県からの対口支援による応援を頂いた。このようなことと同様に、郡山市内でも地域と地域による対口支援が実施できるようなシステムも必要かなと感じている。一か所にみんな行っても困るし、全然来て欲しいのに誰も来ないということも良くないので、パートナー方部、町内会ごとに、あるいは皆さま方のブロックごとに申し合わせしておくということも必要と考える。

【検証結果】

- 阿武隈川の東側と西側など浸水した地域と浸水していない地域などで、かなりの温度差がある。
- 災害発災当初もボランティアを含め、様々な人々が協力し、対応にあたっていたが、まだまだ人手が足りず、協力できる人々も多々いたのではとの意見があり、平時より各団体の連携が図られるコミュニティの形成が必要と考える。
- 民生委員だけでは対応できることに限界があるとの意見があり、災害に備えて、平時から他団体との協力体制が得られるような基盤づくりが必要ではないかと考えられる。



6-1 町内会長等と市長との懇談会「ネット懇談会」

日 時：令和2年10月15日（木）午後2時30分から午後3時40分
（開催地区：郡山中央（北・西・中）片平、喜久田、日和田、富久山、
熱海、西田）

場 所：市役所庁議室及び各行政センター（ウェブ会議）
出席者：郡山中央町内会連合会 鈴木光二会長ほか17名
市長、副市長、上下水道事業化管理者、各部局長

■ネット懇談会（北地区）

片平地区：片平町区長等連絡協議会 鹿又会長

- 片平地区においては、地区内の集会施設の改築や改修が進み、区単位の避難場所の確保ができるようになったことから、平成28年に各区の役員で協議をし、地域の安全・安心を守るため、区単位の防災地図を作成した。
- 実際に地図で「見える化」することで、各区における避難場所や確認が必要な家が分かり、区民の安心感が増すとともに、地図の作成を通じて、携わる役員の防災意識の向上にもつながった。
- 今後は、作成した防災地図を活用し、各区の集会所を中心に、消防署等の協力を得ながら区ごとの防災訓練を実施するほか、いきいきサロン、配食サービス、お茶会、地域防災訓練、各種団体及び消防団の6つの活動を通して、協力依頼や説明会（いのちの大切さの指導会）を行うなど、さらなる町民の安全・安心の向上を図っていく。
- 現在は、感染の拡大が懸念されるコロナ禍において、地域における活動が大幅に縮小されている状況ではありますが、新型コロナウイルスの感染拡大防止のためにも、「新しい生活様式」を積極的に取り入れた活動を展開していく。

市 長

- 避難に大切なこととして、天気予報では雨が降るけれど「まだ大丈夫だろう」ではなく「もう行かなくては」、台風が過ぎたから「もう大丈夫だろう」ではなく「いやまだ」という意識を持って行動することが大切だと考える。防災地図が平面図の場合どこが高くどこに水が流れそうだということがわかりづらいので、標高差を確認した上で、少しでも高台の避難場所を想定していただければと思います。

喜久田地区：喜久田町区長会 千葉会長ほか2名

- 喜久田町における避難所指定は、喜久田ふれあいセンター、喜久田中学校及び喜久田小学校の3か所となっており、喜久田中学校は、藤田川より高台に位置しているため、水害発生時は藤田川北側に居住している住民の喜久田中学校体育館への避難は有効である一方、喜久田ふれあいセンター及び喜久田小学校は藤田川の南側に隣接しているため、ひとたび藤田川が氾濫すると避難所の機能が果たせなくなり、一時避難した住民を別の避難所に誘導しなければならない事態となる。
- 昨年の令和元年東日本台風では、藤田川の水位が満水まで約1メートルに迫ったところであり、喜久田地区における避難所指定の在り方を含め、今後、市当局関係部署をはじめ関係機関の皆様との意見交換を行い、災害発生時における避難住民の安全確保に努めなければならないと考えている。
- 災害発生時における市当局関係部署による避難所設置に際し、感染症対策として、受付時での健常者と体調不良者の動線確保、アルコール消毒液、段ボール製ベッド等の事前準備や避難者全体のソーシャルディスタンスの確保等、避難者の皆様がより安全に避難できる会場設営に努めていただきますようお願いしたい。

市長

- 片平地区同様、標高差の確認をぜひお願いしたいと考えております。また、藤田川の増水時には地域の皆様に「何があっても絶対に川に近づかない」「できるだけ少しでも高いところに避難する」ということを申し合わせていただきたいと思います。

郡山中央（北）地区：郡山中央町内会連合会 坂本副会長

- 「災害に備える」活動を町内会連合会、社協桃見台支部、民生委員、明るいまちづくり推進協議会等各関係団体と連携し、推進している。
 - ①避難場所の整備
 - ②地域マップ作りの推進
 - ③避難訓練・救命救急(AED講習会)の実施
 - ④自主防災役員による危険箇所・消火栓等防火施設の点検の実施
- 桃見台地区は太田西ノ内病院駐車場から桃見台小学校、あさか開成高校の裏側に通じる「せせらぎこみち」沿いの崖が土砂災害警戒区域に指定されていることから、「警戒レベル4」時避難について、市より土砂災害から身を守るための講習会が開催され、地域住民へ防災意識の徹底を図っている。

市 長

○この地域は高台なので、避難することに関して条件は良い方だと思われるが、全国的に見ても土砂災害は多くあり、特に土砂崩れの注意が必要な箇所は普段から斜面の様子を観察することも大事になる。また、夜討川の水位には注意をしていただき、水害や土砂崩れなど危険だと感じる時には速やかに市へ連絡をお願いいたします。

日和田地区：日和田町町内会長協議会 藤橋会長ほか2名

- 主な防災活動としましては、昨年5月26日に開催された、東北地方整備局主催の「阿武隈川上流総合水防演習」への参加が挙げられる。今回の水防演習においては、阿武隈川と合流する五百川流域に所在する町内会のうち、高倉第一町内会、高倉第二町内会、下萱沼町内会、梅沢町内会、八丁目町内会からの計9名の町内会代表者が、郡山市消防団日和田地区隊と共に参加した。
- 概要としては、今回の水防演習は2部構成となっており、第1部では土のうの作成及び積込みによる水防工法訓練や水防技術競技会を見学し、水防活動への意識向上を図り、第2部では「郡山市タイムライン」を活用した情報伝達訓練、避難訓練、内水排除訓練、水難救助訓練及び支援物資輸送訓練が行われ、町内会参加者は、危機管理型水位計の情報を活用した避難訓練に参加した。
- 今回の参加経験に基づき、日和田町町内会長協議会として、台風や前線の接近3日前に始まる防災準備と、阿武隈川阿久津水位観測所からの情報による防災行動の町内周知を積極的に図り、昨年の東日本台風においても日和田町から1人のけが人も出していない。

市 長

○昨年の東日本台風では、梅沢地区の住民の方が避難場所を何か所か変えたという件、藤田川とそれに流れ込む照内川の件が強く印象に残っています。今後、同じような台風が来たときに1度避難したらその後移動する必要のない避難場所はどこなのか、また、藤田川流域の対策について、研究検討してまいりますのでご協力をお願いいたします。

富久山地区：郡山市富久山町連合町内会長連絡協議会 杉岡会長ほか2名

○昨年の東日本台風では、富久山地区では特に豪雨による被害が大きく、多くの家屋が床上浸水し、住民をボートで救助するため消防団富久山地区隊ボート隊が出動しており、10月12日から14日までの3日間で、救助ボート延べ4艘、ボート隊員延べ33人が出動し、住民28人を救助した。

○救助も街中が水没しているため、ガードレール等の構造物やガレキ等が水面下となり確認できず、ボートの船外機のスクリューを破損する恐れがあることから、ボート進行の障害となり、街中の救助で船外機を使用するのが困難であった。また、消防団員も通常装備で水浸しとなり、思うように動けず救助活動に支障をきたした。

○このような状況を踏まえ今後は、富久山地区自主防災会では防災ウェーダー（胴付き長靴）を購入し、水害時緊急の際は、防災ウェーダーを着用し、安全に配慮しながら消防団のボート救出作業のサポートを考えている。また、必要に応じて消防団に防災ウェーダーを貸与し、ボート救出作業に役立ててもらおう等、水害時の円滑な救助作業のサポートをしていきたいと考えている。

市長

○ボートによる救助は、職人技のいる作業であり、ご尽力いただいた皆様に感謝いたします。災害はいつ発生するかわかりませんので、万が一の際に不具合がないよう日頃から点検等をお願いいたします。

郡山中央（中）地区：郡山中央町内会連合会 日下副会長

○東日本台風による水害後の市報告会で、①災害時に自治会や地区防災会等の組織間で助け合いが出来ないだろうか、②避難所での配給メニューはパンが主で飽きがくるといった意見が出た。それらの意見を踏まえ橘地区自主防災会で『災害で開設した避難所へ赴き、炊き出しを行って提供する』形での炊き出し訓練を実施した。

○訓練を行う理由としては、①避難している地域では、地域の方々は避難所運営に忙しく炊き出しまでは手が回らない状況と思われる②片付け応援などのボランティア活動は本来個人が自主的に参加することが望ましく、既存の組織としては、炊き出し等が現実的な助け合いと判断した③温かい食事等を提供することで、避難している方々が少しでも和んでいただければと思ったことにある。

【訓練内容】橘地区自主防災会女性部を中心に橘地域公民館で実施。

（事前検討）：①献立 ②炊き出し工程 ③配給食数など

（訓練実施）：①炊き出し（事前仕込み＋現地想定） ②試食

市 長

○昨年の東日本台風の教訓を活かした炊き出し訓練を実施いただきまして感謝いたします。昨年の避難生活は最初のうちは既製品であるインスタント食等で凌いでいただきましたが、長期化による不満もあったことから、今後は状況に応じて既製品、炊き出しなどどのように食事スケジュールを立てるか市民の皆様に相談しながら検討していきたいと思います。

熱海地区：熱海町行政区長会 後藤会長ほか2名

○熱海町では、自分のまちは自分で守るとの自助共助の考え方のもと、常日頃から道路や側溝の状況を地域住民が見て回ることが習慣となっており、発見した場合は、行政センターと連携し、速やかに対応している。

○具体的な例としては、郡山熱海カントリークラブ東側になる県管理の七瀬川では、河川の法面がわずかではあるが、水流で洗掘されているのを地域住民が発見し、行政センターを通して県に連絡し、応急処置をした。放置すれば河川と並行している道路への影響が懸念されたが、未然に防ぐことができたと考えている。

○熱海町は、「洪水」「内水」ハザードマップでは、いずれの対象地域にも含まれてはいないが、安達太良山火山防災マップでは、特に石筵地区などが地区外への避難が求められていることを、火山防災マップを石筵集会所に掲示し、地域住民へ周知している。

○防災は一朝一夕でできるものではなく、常日頃から家族や地域で天気のことを話題にするなど、防災が日常生活の一部となっていることが大切であるので、これらの取り組みを進めてまいりたいと考えている。

市 長

○七瀬川法面洗掘の状況を的確に捉えていただき感謝いたします。今後とも危険性を感じる場所などがあれば情報提供をお願いいたします。国・県に依頼するべきものもあると思いますが、熱海町の皆様と一緒に七瀬川流域全体にわたって注目してまいりたいと思います。

西田地区：西田町区長会 松崎会長ほか 1 名

○西田地区においては、毎年、郡山市総合防災訓練において、区・町内会及び関係機関・団体で組織する自主防災連絡会が中心となり、地域住民が西田地区防災訓練に参加している。

また、2014 年度から広島県で発生した大規模土砂災害を契機として、区・町内会ごとにハザードマップの浸水想定区域及び土砂災害警戒区域のほか、町内会で把握した危険箇所等を表示した「災害等危険箇所地図」を作成し、情報の把握と共有を図っている。

市 長

○西田地区の災害の発生には、阿武隈川の影響が大きく、地域の皆様のご理解とご協力により河道掘削や土手の樹木伐採が行われておりますが、さらに速やかに流れるよう国に整備を働きかけてまいりたいと考えております。

郡山中央（西）地区：郡山中央町内会連合会 鈴木会長

○大槻中央地区には 39 の町内会及び各種団体が 23 あり、これまではそれらの団体がそれぞれの立場で防災に取り組んでいたが、これを 1 つにし、みんなで対応しようと 2017 年市民安全会議を立ち上げた。その後、2018 年度には応急対策研修会、2019 年度には高齢者声掛け訓練など行政の協力を得て、多くの方の参加をいただいて実施するなど、連携を図っている。

○東日本台風の際には、大槻ふれあいセンターに対策本部を設けて、町内会・各種団体の代表者が午前・午後各 1 回、地域の状況を報告し、その情報を基に対応しました。今後は、新型コロナウイルスの感染状況を考慮しながら、災害時訓練報告などを行い、地域の防災活動に取り組んでまいりたいと考えている。

市 長

○市民安全会議の設置、開催に感謝します。機会があれば市民安全会議の模様をネット中継し、他の地区の皆様に見ていただくことが良いのではないかと思います。

6-2 町内会長等と市長との懇談会「ネット懇談会」

日 時：令和2年10月27日（火）午後2時30分から午後3時40分

（開催地区：郡山中央（東・南）、安積、三穂田、逢瀬、湖南、田村、中田）

場 所：市役所庁議室及び各行政センター（ウェブ会議）

出席者：郡山中央町内会連合会 鈴木光二会長ほか18名

市長、副市長、教育長、上下水道事業化管理者、各部局長

■ネット懇談会（北地区）

安積地区：安積町自治会長会 八代会長ほか2名

○安積町は、これまで何度も災害に見舞われており、昨今ゲリラ豪雨が頻発する中で、緊急に避難できる場所の確保が求められおり、安積町自主防災組織連絡会では、これまで「命を守る避難所」の確保に力を入れ活動してきた。

【1 洪水浸水想定区域内における指定避難所（垂直避難）の指定について】

神明下町内会は、2017年度から帝京安積高校との合同避難訓練を実施し、翌2018年には、災害発生時に学校体育館（2F）を避難所として使用させていただき協定を締結した。東日本台風では、地区の多くが床上浸水等の被害にあったにもかかわらず、人的被害はほぼ0であった。この取り組みにより、今年度改定された洪水ハザードマップでは、同校体育館（2F）が垂直避難用の指定避難所として指定された。

【2 災害時における車両避難場所の指定について】

東日本台風において床上浸水等の被害に加え、車両の水没も多くみられた。また、コロナ禍における感染拡大防止の観点から車両による避難は大変有効なことから、当連絡会では、緊急時などに安積総合学習センター駐車場への車両避難の他、帝京安積高校と協議し、今年笹川地内に新設された同校サッカー場を車両避難場所として利用させていただけることとなった。今後、当連絡会では年1回程度、災害を想定して各地区で避難訓練を実施するとともに、災害が発生した場合の緊急一時避難時の食糧費等の経費について、安積町自治会長会で負担するなどの取り組みを行っていきたいと考えている。

○地球温暖化の影響から災害が頻発することが想定されることから、災害弱者である高齢者等の要支援者を対象とした避難訓練を検討していただくようお願いしたい。

市 長

○帝京安積高校の施設を避難場所として借りることができるということは、地域の方々と学校との日ごろのお付き合いが円滑であることの成果であると思います。今回新たに指定された車両避難所についても、コロナ禍においては感染予防の観点から車での避難が有用であるので、御利用いただきたいと思います。

三穂田地区：三穂田町区長会 小林会長ほか 2 名

- 三穂田町区長会では、10 年前に住宅用火災警報器の注文を各世帯に取り、希望があった数世帯に設置した。しかし、年月が経過し古くなったことや、少子高齢化が進む中、設置していない世帯も数多くあることから、令和 2 年に区長会にて注文書の取りまとめを実施し、現在まで 38 台を設置したところである。
- 今も、会合などの集まりがあった時には火災警報器の設置をお願いしている。また、約 10 年前に作成しました町内の危険箇所等マップの見直しを、8 月から区ごとに実施しており、地区の危険箇所・一人暮らし高齢者や障がい者・空き家などの情報等を収集し、危険意識および災害時に役立つマップを作成中である。今後についても、三穂田町にお住まいの方々が安心・安全な生活ができ、生命の危険を未然に防ぐ取り組みを積極的に実施していく。

市 長

○区長会が地域の方に火災警報器の設置の呼びかけ、注文の取りまとめをし、火災予防に率先して取り組んでいただいていることに感謝します。危険箇所等マップについても、地域としてきめ細かく情報を収集されており、「自助・共助・公助」の役割の中で、今後市がどのように協力出来るか検討させていただきたいと思います。

○近年、逢瀬町では幸いにして大規模な災害に見舞われることなく町民も比較的安心して生活している。しかし、地区内に主な一級河川を4つ（逢瀬川、南川、多田野川、藤田川）、西側に奥羽山脈を抱える地理的な条件から、大雨の影響により土砂災害等が発生する危険がある。昨年の東日本台風においても、道路法面の崩落や農業用水路が壊れるなどの小規模な被害が発生した。

○このような状況の中、逢瀬町区長会としては「自助、共助、公助」の考えに基づき、地区内の「共助」を改めて見直し、被害発生を未然に防ぎ、かつ、小規模な被害を早急に復旧する体制の整備と地区住民の安全に資するため、以下について各種団体と現在検討している。

【1 逢瀬町商工会との連携】

- （1）逢瀬地区には、土木建築業を営む業者が比較的多くあることから、それら業者の協力を得て、小規模災害を早期に復旧する仕組みづくり。
- （2）大規模災害の発生により避難者が多数発生し、逢瀬コミュニティーセンター等既存の避難施設が「3密」となる場合に、地区内にある宿泊施設を一時的な避難所として活用する仕組みづくり。

【2 多田野土地改良区との連携】

- ・多田野土地改良区が管理するため池や水路等について、気象状況により事前放水等を行っているため、それらの情報を共有するとともに、地区住民からため池や水路等の漏水、越水等が確認された場合に速やかに連絡する仕組みづくり。

【3 多田野郵便局との連携（第2層協議体）】

- ・大規模災害発生時に支援が必要な住民等の情報について、行政、社協、民生委の情報に加え、郵便局が持つ情報を提供してもらう仕組みづくり。

【4 逢瀬中学校との連携】

- ・土砂災害ハザードマップにより警戒区域や指定避難所等を生徒に周知し、生徒を通じて地域の防災意識を高める仕組みづくり。

市長

○災害時の応急復旧については、入札等に時間がかかってしまったり、小規模ですと入札を行っても手を挙げる方がいなかったりして、迅速な復旧作業が行えないことがある。市が材料を提供し、地域の方が作業を行っている安積町柴宮地区の土木委員会の取り組みが、災害時の応急復旧の場合にも参考になるかもしれないと考えています。

郡山中央（東）地区：郡山中央町内会連合会 佐藤副会長

- 昨年の東日本台風と直後の大雨が続き、当連合会の水門町町内会が大水害、石湍町内会の一部、東部自治会の一部、尚志幼稚園の一部分に水害が発生した。当地区は、江戸時代から阿武隈川を主として水害が発生しており、近年では昭和60.8.5、平成23.9.21、令和1.10.12であるが今後は毎年発生すると考えている。
- 今後の防災活動として、ハード面では①谷田川の堤防決壊場所の修復、谷田川の浚渫②阿武隈川の河川浚渫、水底の土砂撤収③郡山市の昭和40年代国策による新産業都市として郡山中期発展の基礎となった「中央工業団地」の存続と保障と支援を、それぞれ国、県、市にお願いしたい。
- ソフト面としては、毎年市が行う総合防災訓練、地区自主防災等が実施する防災訓練が基本であり、特に避難について討論することが大事であると考えている。

市 長

- 昨年の東日本台風で大きな被害をもたらした阿武隈川、谷田川は、国・県の管理の河川であり一部土手の樹木の伐採など整備が進められているが、全流域にわたって早期に伐採されるよう市としてさらに国・県に要望します。避難の観点から普段から災害時にどこを通過して避難するかを体験していただくことが大切で、避難所まで実際に歩いてみる「防災さんぽ」を実施していただきたいと思います。

湖南地区：湖南町区長会 小山会長ほか2名

- 湖南地区の防災活動につきましては、以下の3つを実施している。
- ①各地区区長間、消防団との連絡体制の構築
湖南地区では区長全員が携帯電話のショートメールを活用し、地区内区長12名の情報共有を行うとともに、密に連絡を取り合うことで迅速な情報伝達に努めている。
- ②消防団と災害時危険箇所の見回り
大型の台風接近前などに地元消防団と協力しながら過去に被害があった場所やハザードマップを参考にし、災害時危険箇所の見回りを実施している。
- ③避難行動要支援者への訪問、連絡
台風接近前や大雨の時などに状況確認を踏まえつつ、避難行動要支援者宅への訪問や電話連絡により注意喚起し、場合により避難所への誘導を行っている。
- 湖南地区の防災の懸念事項として、住民の半数が高齢者となっている湖南地区では、14基ある防災無線の可聴範囲の問題や、SNS等での災害情報取得に不慣れな方も多いため、高齢者・情報弱者への確実な情報提供手段の確保が、喫緊の課題と考えている。

市 長

○湖南町では大雨の際、水田の水路から水が溢れてトマトハウスが浸水する被害があったと伺った。過去の被害のあった場所、被害状況など情報を提供いただいて、今後の防災対策に活かしたいと思いますので、ご協力をお願いします。

田村地区：田村町自治会 猪俣会長ほか 1 名

○田村町では郡山市総合防災訓練の際には、5つの小学校を会場に持ち回りで実施してきました。地区の防災訓練以外にも各町内会の防災活動として各町内会を中心に防災活動に取り組んでいる。

○昨年の東日本台風による被害が大きかった徳定町内会では、町内会の防災訓練として避難訓練を中心に実施していたが、昨年から「徳定防災まつり」として、地元消防団、子ども育成会、婦人会、老人クラブと協力し、小学生から高齢者が参加する防災訓練を実施した。訓練の内容として、集会所への避難訓練をはじめ、水消火器による消火訓練、ビニール袋を利用した炊き出し訓練等を実施した。防災まつりとして実施することにより、各世代の防災意識を高めることができるとともに、災害の際には集会所へ避難するとの意識付けができることとなる。

○東日本台風の被害の際にも、集会所が床上浸水したにも関わらず、町内の防災対策本部として機能し、町内会役員、消防団員とともに、被害状況の把握、被害住民の要望を取りまとめなど、町内会が窓口となり、災害ゴミ集積所の設置、消防団による排水処理及び広報活動など、市並びに消防団へ要望することが可能となった。

○今年度はコロナの影響により町内会役員だけの研修となったが、今後は、災害時の対応だけでなく避難所での高齢者支援等についても対応できるよう訓練を実施していく。

市 長

○今回の発表は初めて伺う内容であったが、防災の取り組みを「防災まつり」という楽しい行事にして実施するというのはとても良いことだと思いました。また、田村地区には、日大工学部があるので知識や技術を防災に活かしていただくなど市として協力を依頼していきますので、地域の皆様も一緒にお知恵を出していただければと思います。

- 中田町では、郡山市総合防災訓練に合わせて中田地区訓練を実施しているが、災害発生時に住民が自分や家族を守るために、どのように行動すべきか判断し、実際の災害に活用できるよう、中田町の宮城地区（5町内会）、御館地区（8町内会）の2地区において、各町内会の輪番制による自主防災訓練を2007年度から昨年度まで13年間にわたり継続している。例年11月末の日曜日の午前、午後に分けて公民館分館、スポーツ広場、ゲートボール場等を会場として実施している。
- 参加人数、訓練内容は、町内会により異なるが、郡山消防署中田分署の指導をいただき、地域住民をはじめ、市消防団中田地区隊団員等50人から100人程度の参加により、緊急通報・初期消火・炊き出し・放水の各訓練のほか、AEDを使用した救命講習会、また町内会によっては、居宅介護施設入居者の避難を補助する緊急避難訓練も実施している。昨年度に実施した下枝1区町内会での訓練では、訓練終了後、炊き出し訓練で作ったおにぎり等をみんなで召し上がっていただき、町民相互の懇親も図っている。
- 今年度は、住宅火災による死者を出さないことを目的として、中田分署、町内会、消防団との連携協働で、住宅用火災警報器の設置率及び作動調査を実施している。台風、集中豪雨による水害、土砂くずれ、及び火災等の災害に対して、地域住民一人ひとりが「自分たちの地域は自分たちで守る」という意識をもち、自助、共助、公助の連携による防災活動は年々重要性を増しているため、今後とも、地域住民の生命財産を守るため、継続して自主防災活動を進めていく。

市 長

- 地域防災を核として、いろいろな活動を展開されていることを、印象深く受け止めました。中田町は地名が変わると地況が変わる変化が激しいところですので、地区ごとの課題にきめ細かく対応してまいりたいと思います。

- 自然災害に備え、一人一人の暮らしに応じた避難行動への取り組みが必要であり、危険性を平時から理解し、災害が発生する以前に安全な場所へ速やかに避難することが重要であり、日頃から家族と相談し、自宅の場所や自らに合った避難方法、分散、垂直等を含めて意思統一を図ることが必要であり、防災ハンドブックやハザードマップ等の熟読が大切であると考えている。
- 特に自らの命を守るために「避難行動判定フロー」の確認が重要であり警戒レベル1、2相当の時点で情報収集し、特に高齢者等の「早期避難」を促していきたいと考えている。

市 長

- 久留米地域は、入植により歴史が始まっているためか、同志愛などの自助・共助の取り組みを積極的に行っている地域であると認識しています。自然を愛する活動、防災活動、地域を盛り上げる活動を地域一体となって進められていることに敬意を払っております。今後とも各分野の活動で市がどのような協力ができるかコミュニケーションを図ってまいりたいと思います。

■第4章 被災者アンケート

(令和元年台風第19号による災害に関する調査)

調査の目的

令和元年東日本台風の接近に際して市民の皆様がとられた防災対策や避難行動をはじめ、日頃からの災害に対する意識や市の防災対策に対する意見などを把握し、今後の防災対策やまちづくりの参考とするために調査を行った。

調査の設計

- ◆調査対象 令和元年東日本台風（台風第19号）の被害があった旧郡山、安積、富久山、日和田、田村、西田の各地域に居住する住民
- ◆調査件数 2,033 件
- ◆抽出方法 住民基本台帳（令和2年2月現在）からの年代、地域、被害状況を考慮した無作為抽出
- ◆調査方法 郵送による調査票の配布・回収、インターネットでの返信
- ◆調査期間 令和2年2月27日～令和2年3月19日（22日間）
- ◆調査項目
 - ①居住地、居住形態、携帯電話及びテレビの所有等の基本項目
 - ②日頃の防災対策
 - ③避難所、ハザードマップ等の認知状況
 - ④台風情報、避難情報の取得方法
 - ⑤避難行動の状況及び理由
 - ⑥今後の防災対策 など38項目について調査

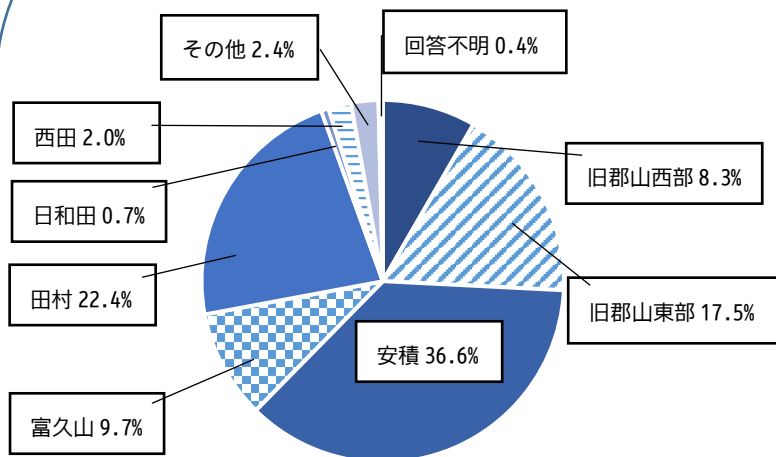
（注）グラフの比率について：各設問で比率を算出するための分母はnで表しています。
回答率について：複数選択の設問は、比率合計が100.0%になりません。

調査結果

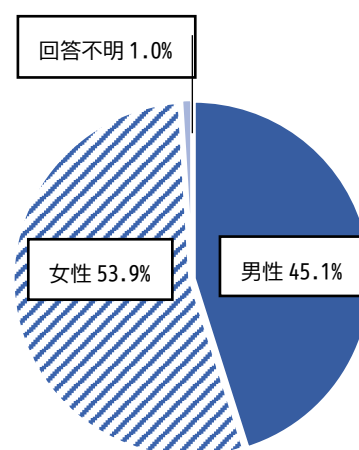
- ◆発送数 2,033 件
- ◆回答数 1,031 件
- ◆回答率 50.7%

【回答者の基本項目（1/3）】

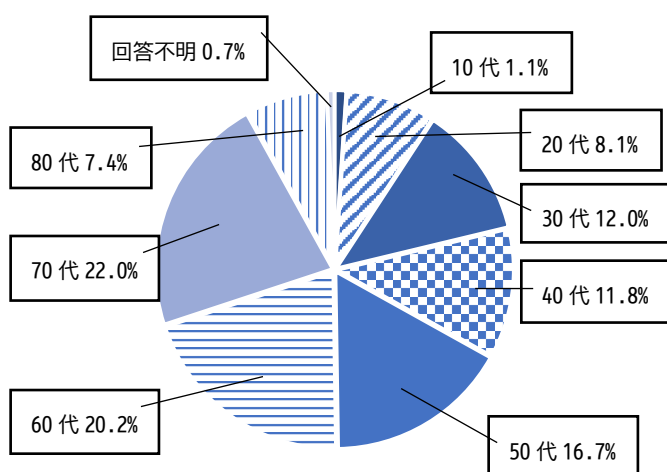
◎居住地別（n=1,031人）



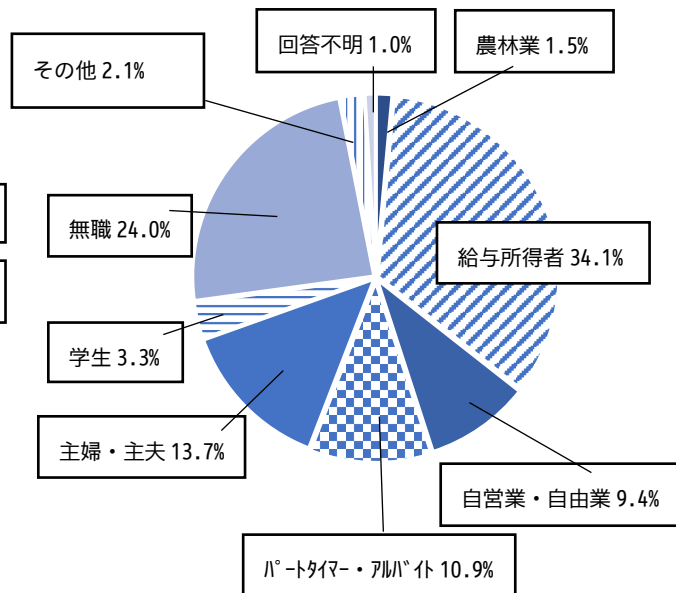
◎性別（n=1,031人）



◎年代別（n=1,031人）

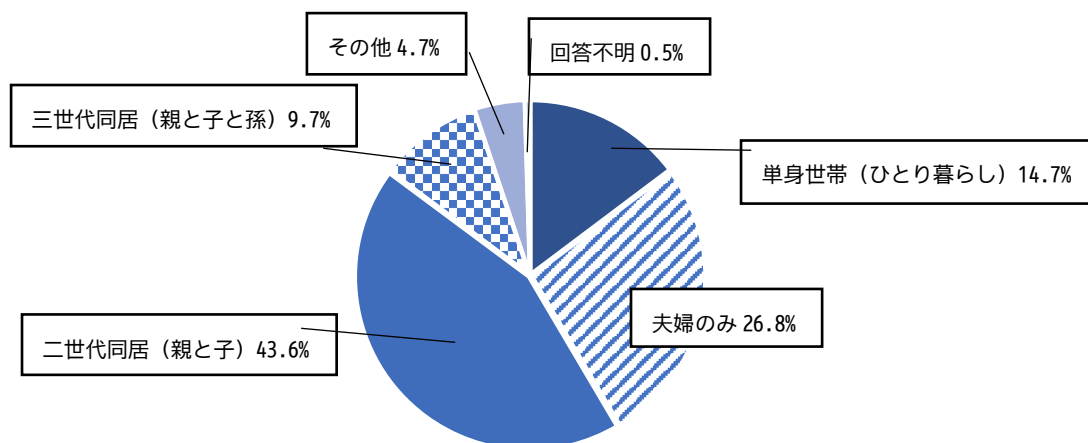


◎職業別（n=1,031人）



【回答者の基本項目（2/3）】

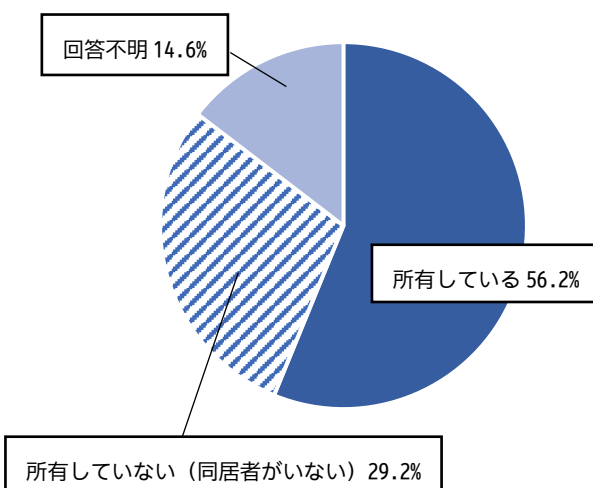
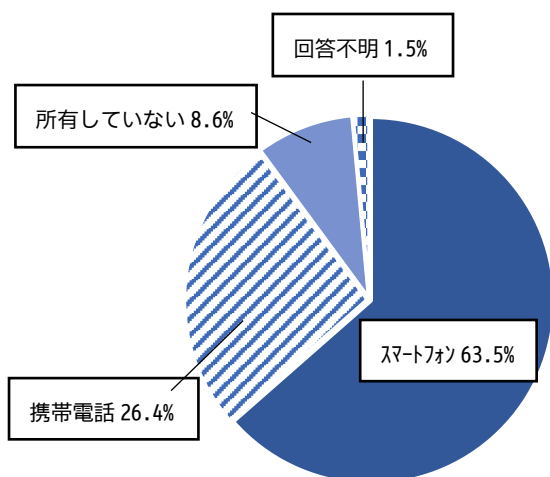
◎家族構成別（n=1,031人）



◎携帯電話又はスマートフォンの所有（n=1,031人）

左の設問で「所有していない」（8.6%）と回答された方への設問

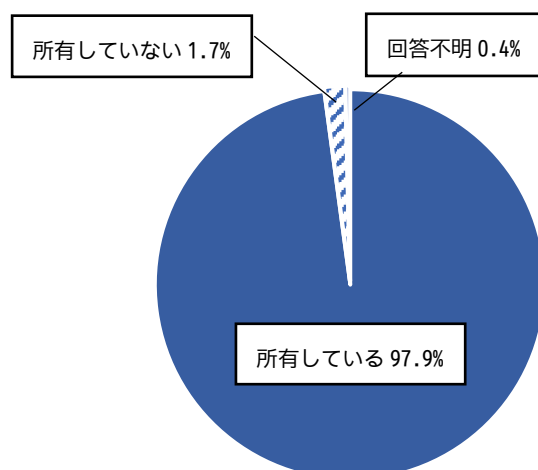
☆同居者は携帯電話又はスマートフォンを所有していますか？



⇒回答者全体の89.9%が「携帯電話又はスマートフォンを所有している」と回答。
「携帯電話又はスマートフォンを所有していない」と回答した方は8.6%であった。

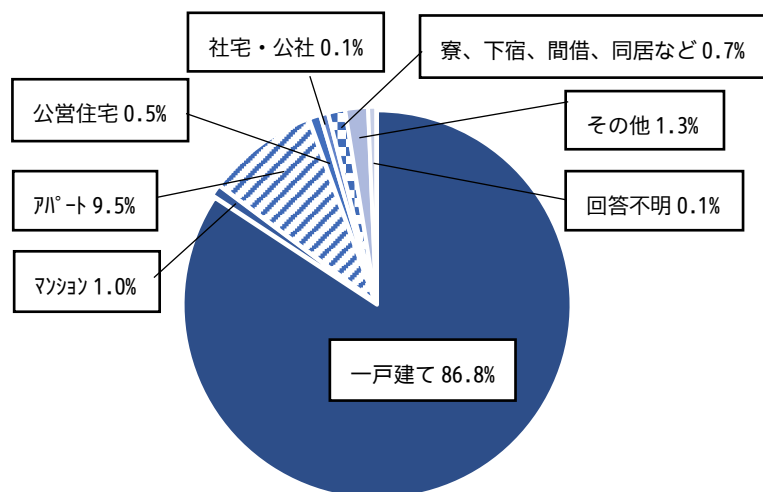
【回答者の基本項目（3/3）】

◎テレビの所有（n=1,031人）

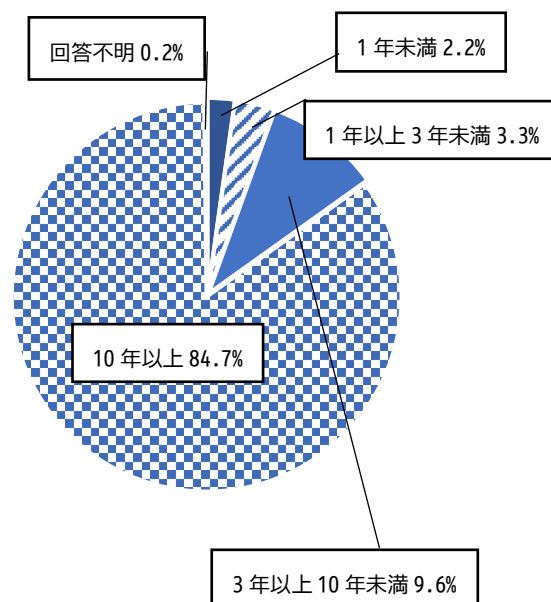


⇒97.9%の方が「テレビを所有している」と回答。
「テレビを所有していない」と回答した方は1.7%であった。

◎居住形態別（n=1,031人）



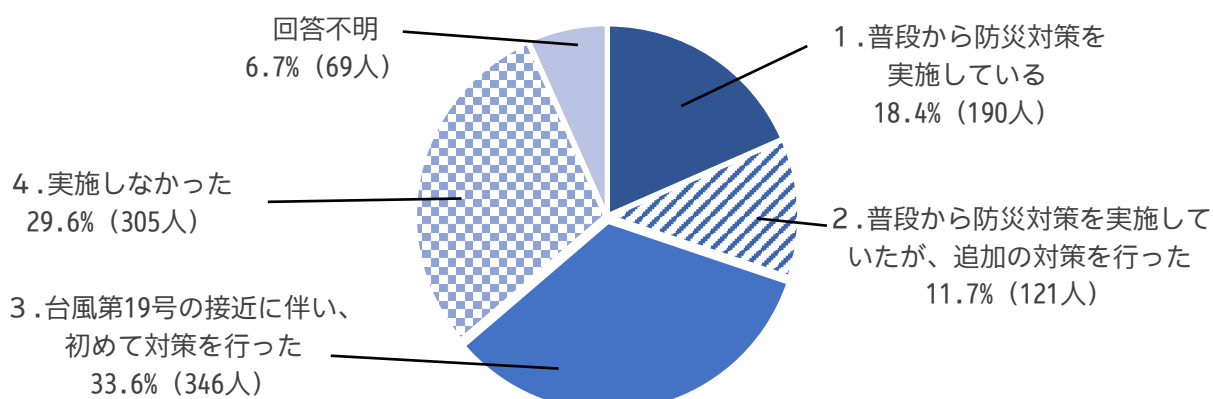
◎居住年数別（n=1,031人）



目次

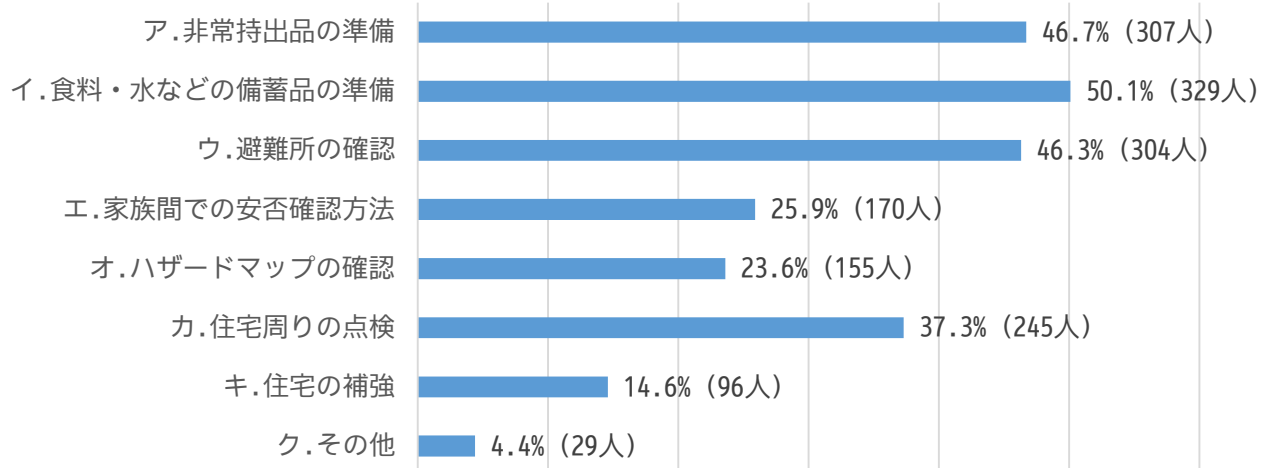
アンケート項目調査	
問 1	今回の台風第 19 号の接近に伴い、何か防災対策を実施しましたか
問 2	災害時の近くの指定避難所の場所を知っていましたか
問 3	郡山市ではハザードマップを作成していますが、知っていますか また、自宅の状況を確認していますか
問 4	災害時に地域の自治会（町内会等）に加入していましたか
問 5	これまで市や地域が行う防災に関する訓練に参加したことがありましたか
問 6	今回の台風第 19 号によるお住まいの被害状況を教えてください
問 7	今回の台風第 19 号以前に郡山市内で浸水被害を受けたことがありますか
問 8	国の『避難勧告等に関するガイドライン』の改定（平成 31 年 3 月改定）により、市町村が発令する避難勧告等については、住民が取るべき避難行動を示す「警戒レベル」を用いた情報発信を実施するようになりましたが、台風第 19 号発生以前より知っていましたか
問 9	郡山市が台風第 19 号に関する最初の避難情報（警戒レベル 3：避難準備・高齢者等避難開始）を出した 10 月 12 日（土）の 13 時頃、あなたはどちらにいましたか
問 10	今回の台風第 19 号の情報をどのような方法で取得しましたか
問 11	今回の台風第 19 号の避難情報（警戒レベル 3～5 までの避難勧告などの発令情報）を知ることができましたか
問 12	今回の台風第 19 号の避難情報などにより避難をしましたか
問 13（1）	避難した一番の理由は何ですか
問 13（2）	避難した場所を選んだ理由は何ですか
問 13（3）	いつ避難を開始しましたか
問 13（4）	どのような方法（主な移動手段）で避難しましたか
問 13（5）	避難は、どなたと一緒に避難しましたか
問 13（6）	ご自身を含め、ご家族に酔う配慮者など、誰かの助けを借りて避難した人はいましたか
問 13（7）	今回の指定避難所の開設場所をどのような方法で知りましたか
問 14	自宅の 2 階以上に避難した理由は何ですか
問 15	避難できなかった理由は何ですか
問 16	避難しなかった理由は何ですか
問 17（1）	避難される際に持っていかれたものは何ですか
問 17（2）	避難所で改善が必要と感じたことはありましたか
問 18	今後の生活圏（居住圏）はどのように考えていますか
問 19	今般の台風第 19 号での災害の経験を経て、今後、避難する上で気になっていることはありますか
問 20	今後の災害において、あなたが、より避難しやすくするために、どのような取り組みが必要だと思いますか
問 21	郡山市の今後の防災対策で必要と考える対策は何ですか

問1 今回の台風第19号の接近に伴い、何か防災対策を実施しましたか？
(n=1,031人)



⇒回答者全体の63.7%が「実施した」と回答。「実施しなかった」と回答した方は29.6%であった。

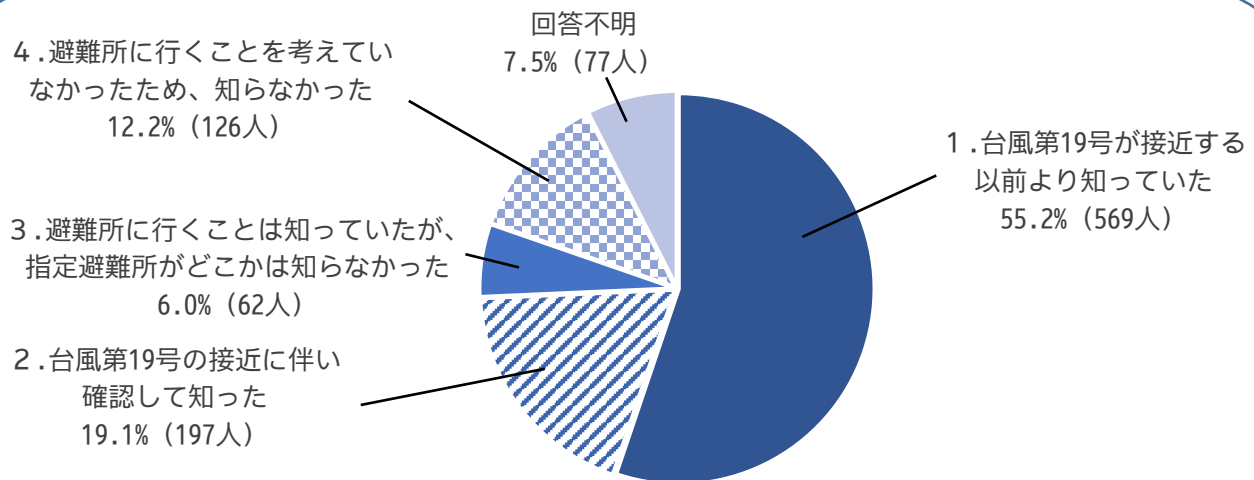
問1で「1」～「3」を選択された方に伺います。
どのような対策を実施しましたか？（複数選択可）
(n=657人（台風第19号の接近に伴い防災対策を実施したと回答した方）)



⇒50.1%の方が「食料・水などの備蓄品の準備」と回答しており最も多かった。
次いで、「非常持出品の準備」（46.7%）、「避難所の確認」（46.3%）となっている。

問2 災害時の近くの指定避難所の場所を知っていましたか？

(n=1,031人)

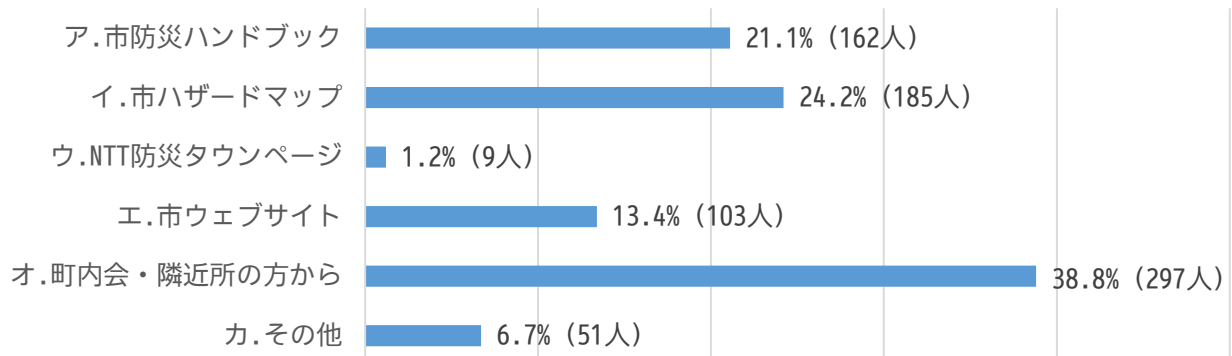


⇒回答者全体の74.3%が「知っていた」（台風第19号の接近に伴い確認した方を含む。）と回答。「知らなかった」と回答した方は18.2%であった。

問2で「1」～「2」を選択された方に伺います。

指定避難所をどのような方法で知りましたか？（複数選択可）

(n=766人（災害時の近くの指定避難所の場所を知っていたと回答した方）)

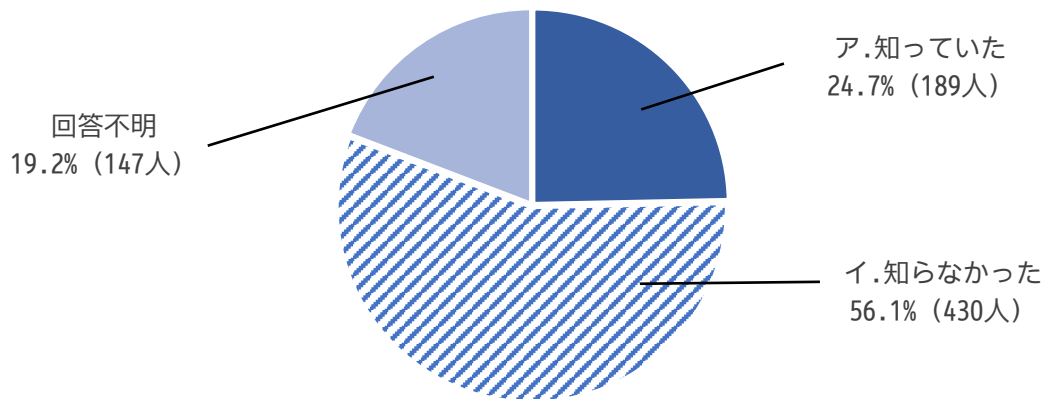


⇒38.8%の方が「町内会・隣近所の方」と回答しており最も多かった。

次いで、「市ハザードマップ」（24.2%）、「市防災ハンドブック」（21.1%）となっている。

問2で「1」～「2」を選択された方に伺います。

避難所は災害規模や周辺の被害状況等に応じて開設場所が違う場合があること
（毎回同じ指定避難所が開設されることではないこと）を知っていましたか？
（n=766人（災害時の近くの指定避難所の場所を知っていたと回答した方））



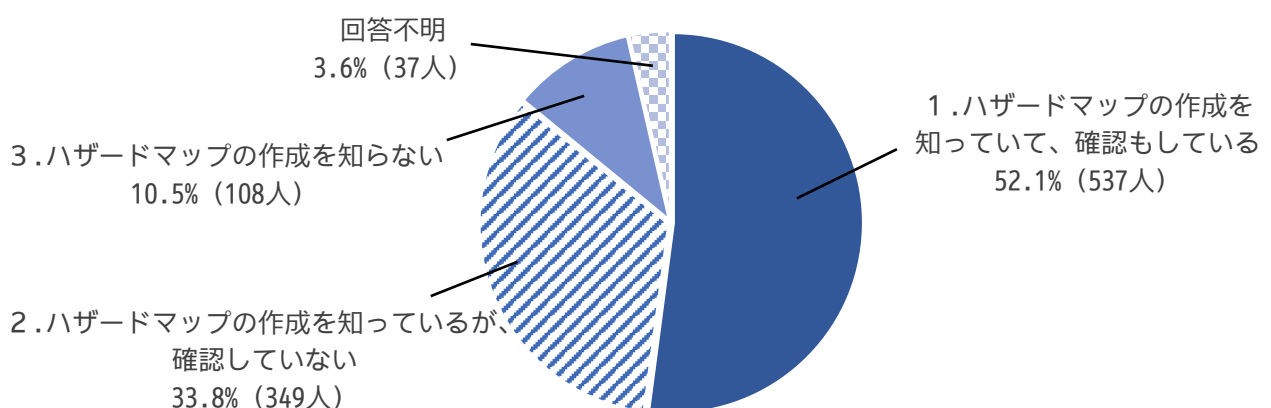
⇒24.7%の方が「知っていた」と回答。「知らなかった」と回答した方は56.1%であった。

問3 郡山市ハザードマップの作成を知っていますか？

また、自宅の状況を確認していますか？

（n=1,031人）

ハザードマップとは・・・集中豪雨や台風などの影響による浸水が想定される範囲と
深さ及び避難場所などを表示した地図のこと

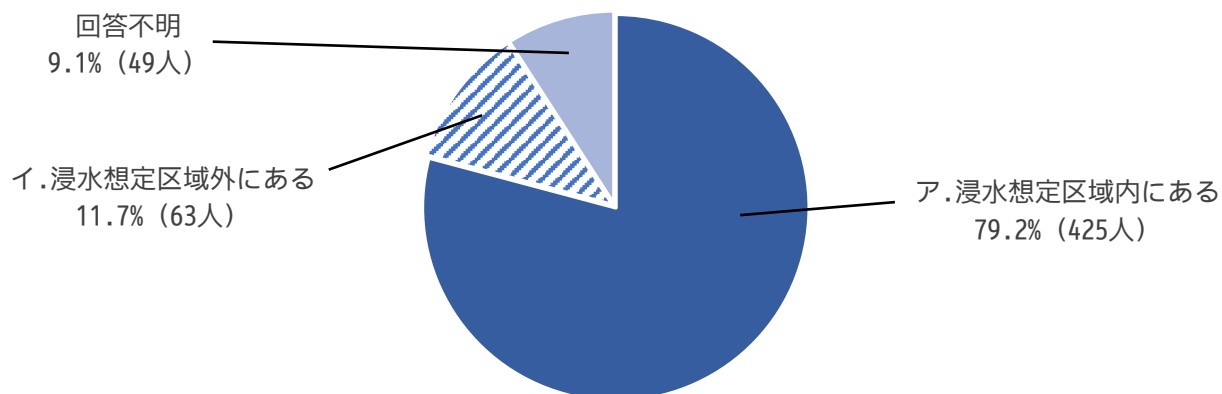


⇒回答者全体の85.9%が「知っている」と回答。そのうち、確認もしている方は52.1%であった。
「知らない」と回答した方は10.5%であった。

問3で「1」を選択された方に伺います。

自宅はハザードマップ上での浸水想定区域に含まれていますか？

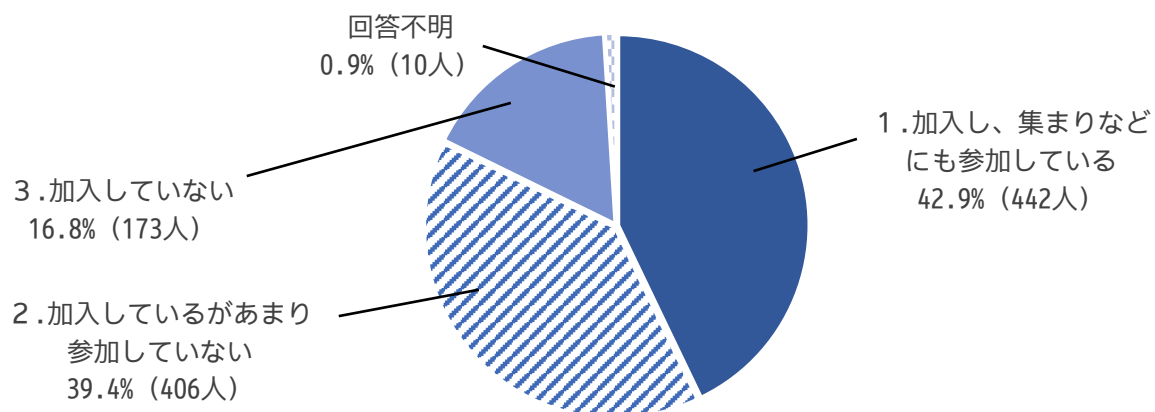
(n=537人(ハザードマップの作成を知っていて、確認もしていると回答した方))



⇒79.2%の方が「浸水想定区域内」と回答。「浸水想定区域外」と回答した方は11.7%であった。

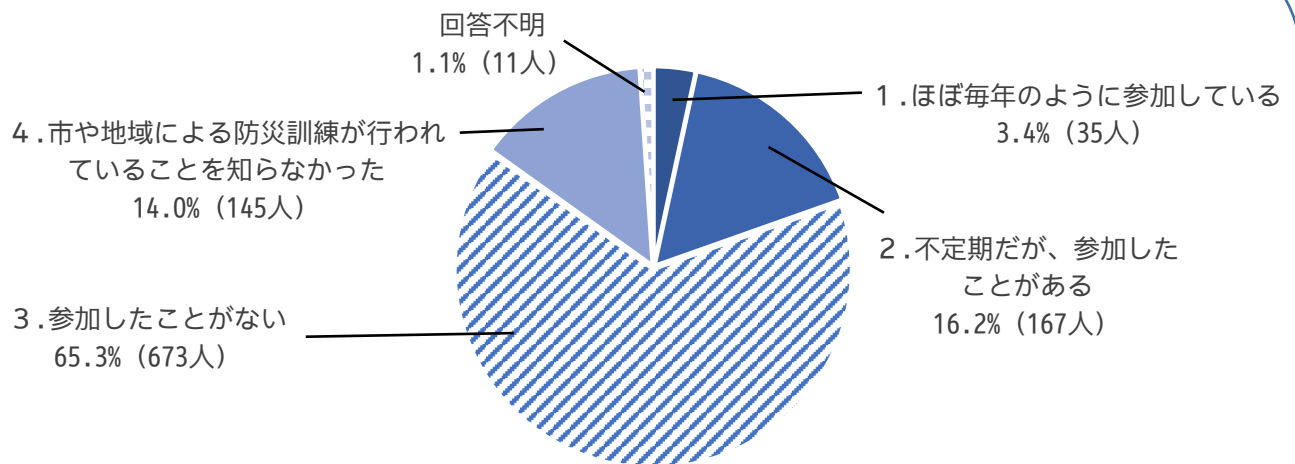
問4 災害時の地域の自治会（町内会等）に加入していましたか？

(n=1,031人)



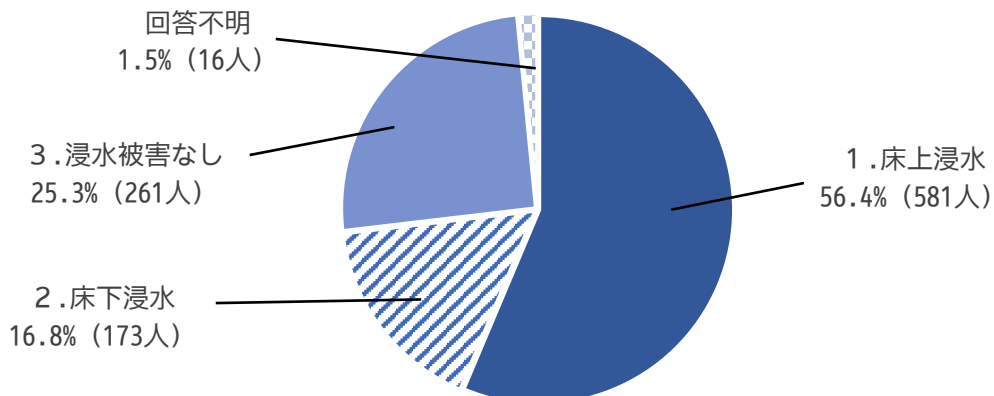
⇒回答者全体の82.3%が「加入している」と回答。そのうち、集まりなどにも参加している方は42.9%であった。「加入していない」と回答した方は16.8%であった。

問5 これまで市や地域が行う防災に関する訓練に参加したことがありましたか？
(n=1,031人)



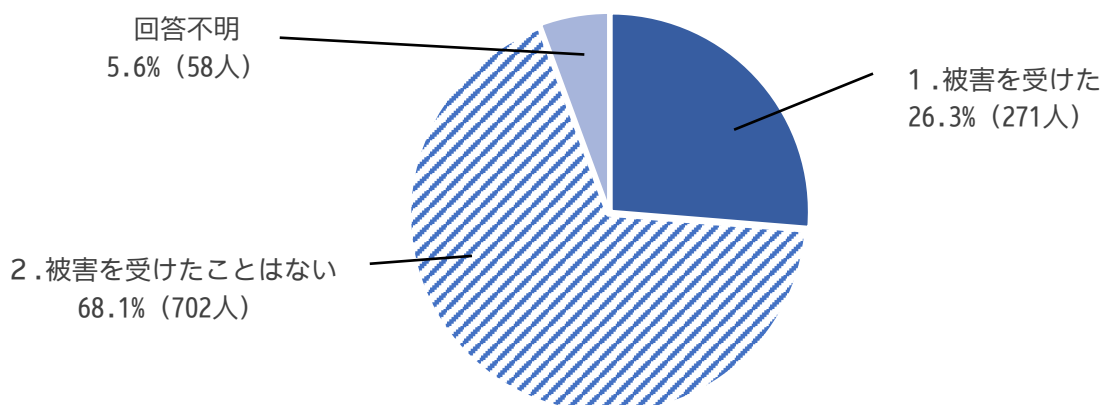
⇒回答者全体の79.3%が「参加したことがない、知らなかった」と回答。
「参加したことがある」と回答した方は19.6%であった。

問6 今回の台風第19号によるお住いの被害状況を教えてください。
(n=1,031人)



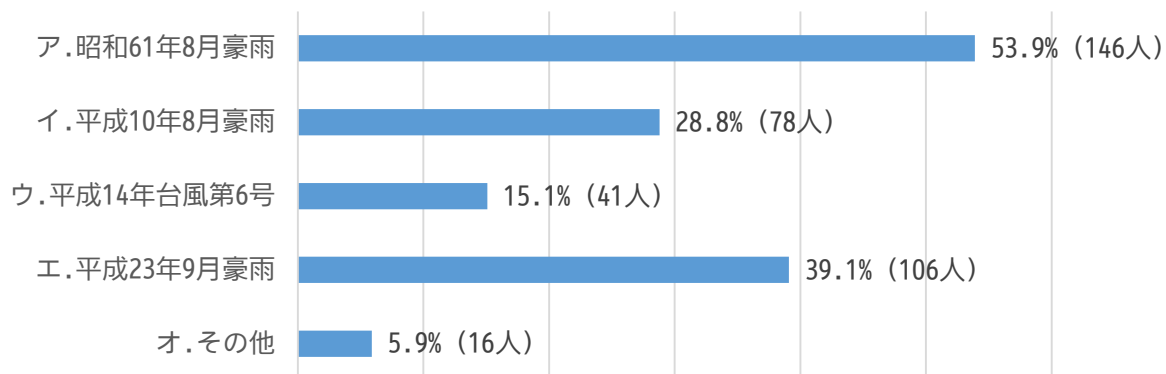
⇒回答者全体の73.2%が「浸水被害あり（床上・床下浸水）」と回答。
「浸水被害なし」と回答した方は25.3%であった。

問7 今回の台風第19号以前に郡山市内で浸水被害を受けたことがありましたか？
(n=1,031人)



⇒26.3%の方が「被害を受けた」と回答。
「被害を受けたことはない」と回答した方は68.1%であった。

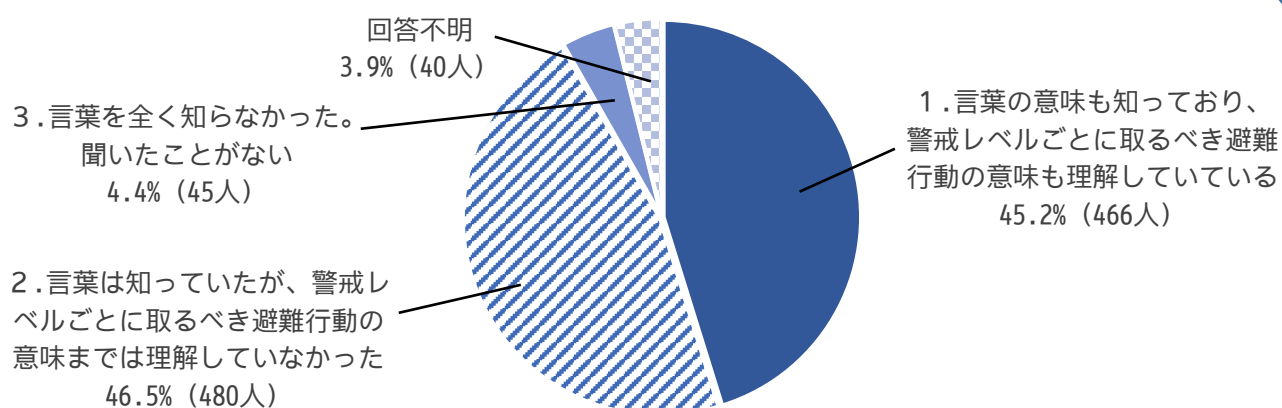
問7で「1」を選択された方に伺います。
被害を受けた過去の災害を教えてください。(複数選択可)
(n=271人(台風第19号以前に郡山市内で浸水被害を受けたことがあると回答した方))



⇒過去に受けた災害は、「昭和61年8月豪雨」(53.9%)、「平成23年9月豪雨」(39.1%)
「平成10年8月豪雨」(28.8%)の順であった。

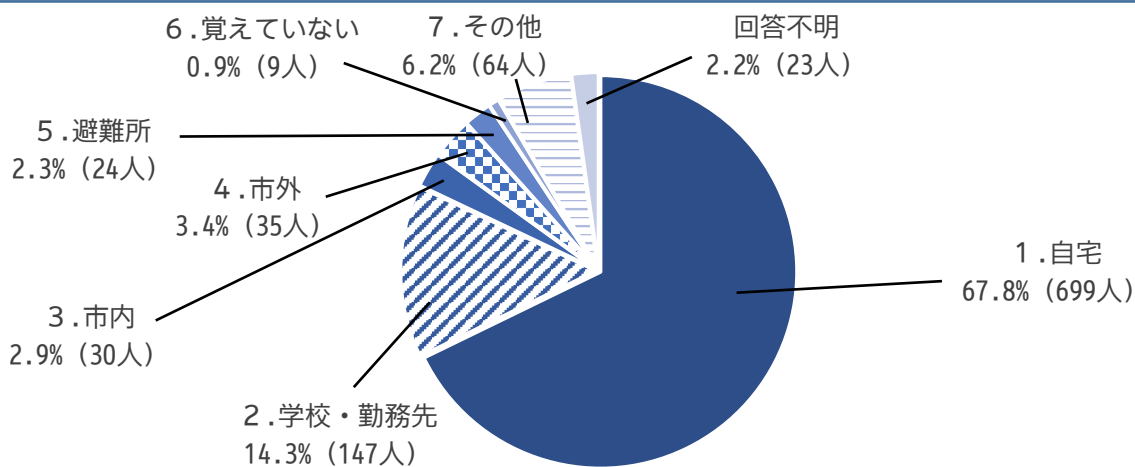
問8 国の「避難勧告等に関するガイドライン」の改定（平成31年3月改定）により、市町村が発令する避難勧告等については、住民が取るべき避難行動を示す「警戒レベル」を用いた情報発信を実施するようになりましたが、台風第19号以前より知っていましたか？（n=1,031人）

警戒レベル3：避難準備・高齢者等避難開始（⇒高齢者等は避難を開始）
 警戒レベル4：避難勧告、避難指示（緊急）（⇒全員避難を開始）
 警戒レベル5：災害発生情報（⇒命を守る最善の行動を）



⇒回答者全体の91.7%が「知っていた」と回答。そのうち、警戒レベルごと取るべき避難行動の意味も理解している方は45.2%であった。「知らなかった」と回答した方は4.4%であった。

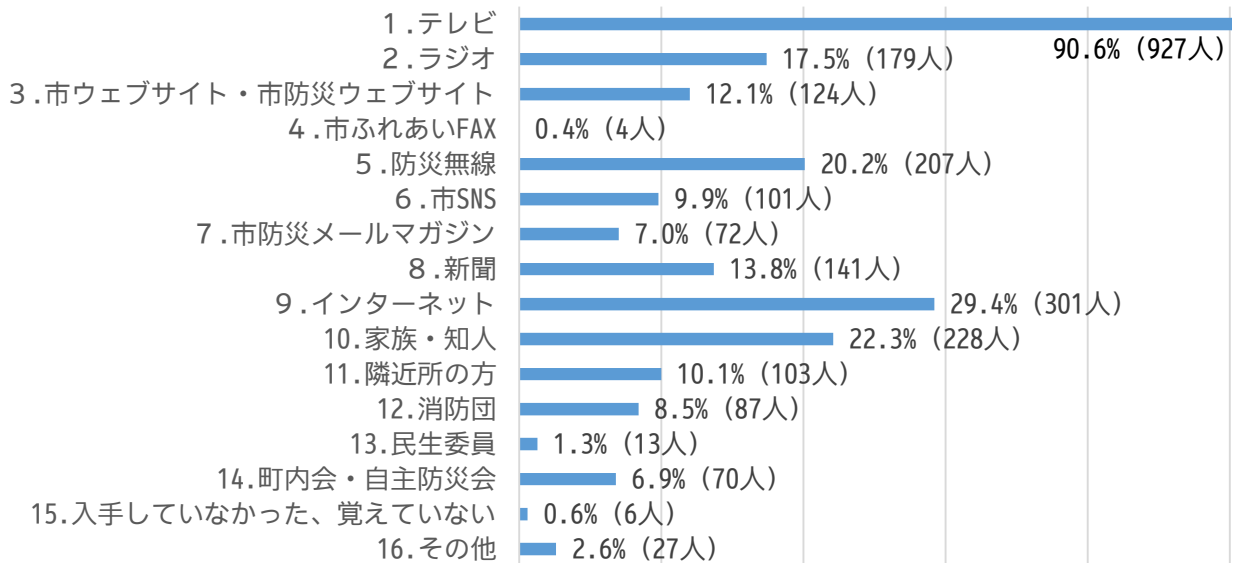
問9 郡山市が台風第19号に関する最初の避難情報（警戒レベル3：避難準備・高齢者等避難開始）を出した10月12日（土）の13時頃、あなたはどちらにいましたか？（n=1,031人）



⇒「自宅」が67.8%で最も多く、次いで、「学校・勤務先」（14.3%）となっている。

問 10 台風第 19 号の情報をどのような方法で取得しましたか？（複数選択可）

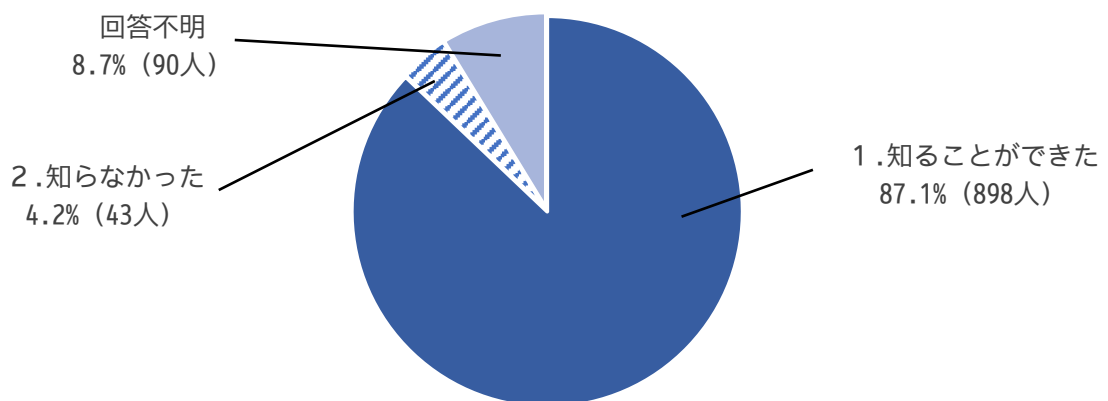
（n=1,023 人（問 10 を回答した数））



⇒90.6%の方が「テレビ」と回答しており最も多かった。次いで、「インターネット」(29.4%)、「家族・知人」(22.3%)、「防災無線」(20.2%)となっている。

問 11 今回の台風第 19 号の避難情報（警戒レベル 3～5 までの避難勧告などの発令情報）を知ることができましたか？

（n=1,031 人）

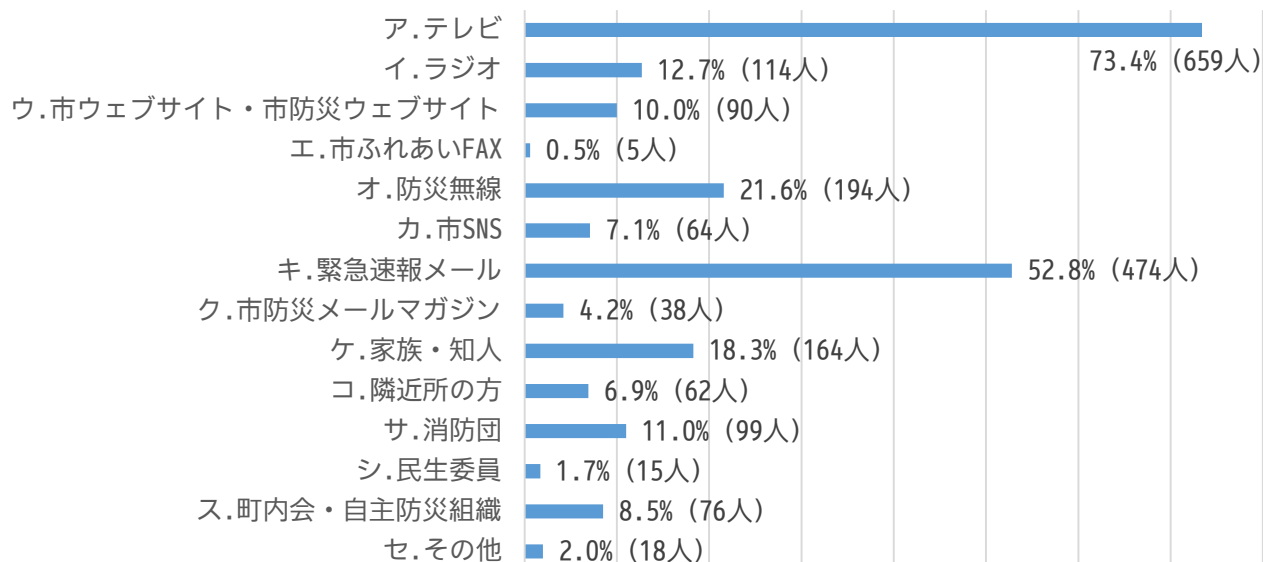


⇒87.1%の方が「知ることができた」と回答。「知らなかった」と回答した方は 4.2%であった。

問 11 で「1」を選択された方に伺います。

どのような方法で知りましたか？（複数選択可）

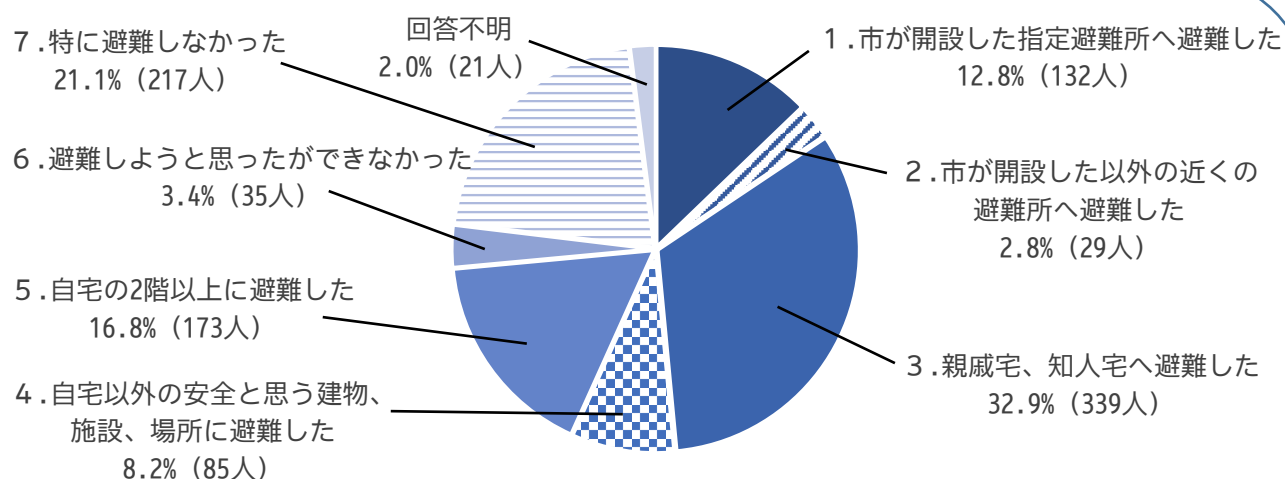
（n=898 人（台風第 19 号の避難情報を知ることができたと回答した方））



⇒73.4%の方が「テレビ」と回答しており最も多かった。次いで、「緊急速報メール」（52.8%）、「防災無線」（21.6%）、「家族・知人などの連絡」（18.3%）となっている。

問 12 今回の台風第 19 号の避難情報などにより避難をしましたか？

（n=1,031 人）

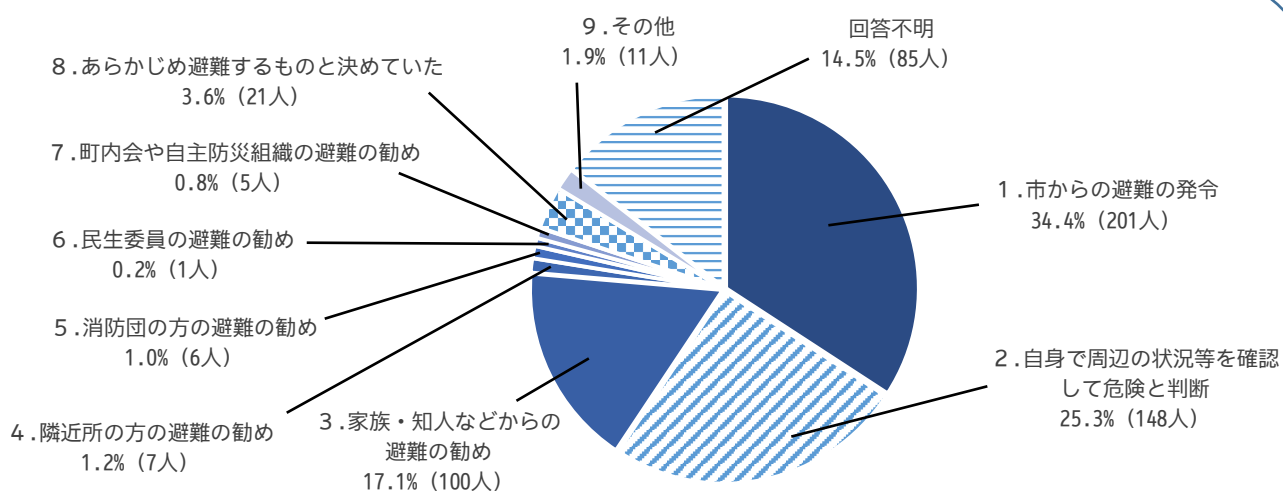


⇒自宅以外（避難所、親戚・知人宅、その他安全な施設等）へ避難した方は 56.7%であった。その中で最も多かったのは「親戚宅・知人宅」で 32.9%であった。自宅の2階以上に避難した方も 16.8%いた。

問 12 で「1」～「4」を選択された方に伺います。

問 13（1） 避難した一番の理由は何ですか？

（n＝585 人（台風第 19 号の避難情報などにより避難したと回答した方））

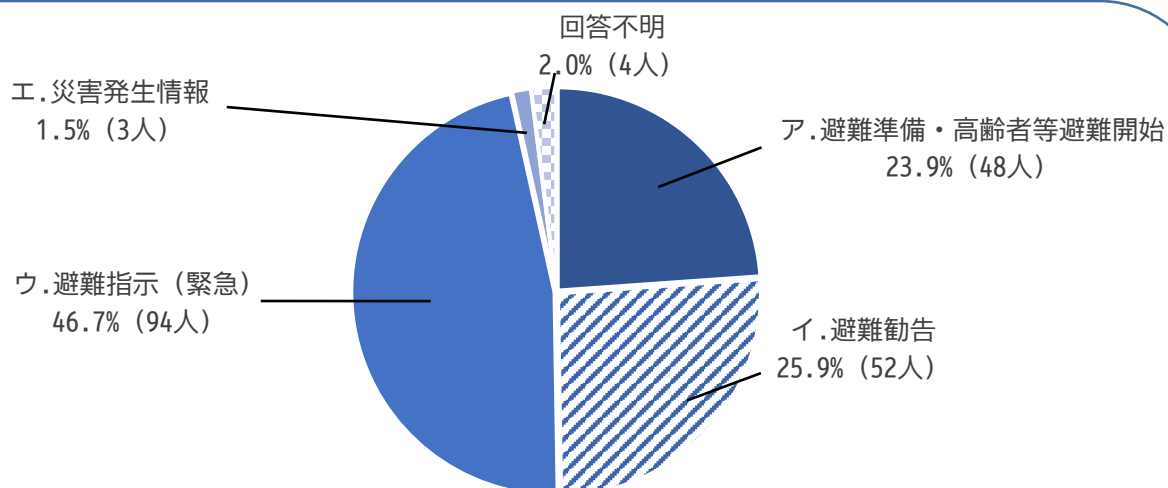


⇒「市からの避難の発令」が 34.4%で最も多く、次いで、「自身で周辺の状況等を確認して危険と判断」（25.3%）、「家族・知人などからの避難の勧め」（17.1%）となっている。

問 13（1）で「1」を選択された方に伺います。

どの時点で避難行動を起こしましたか？

（n＝201 人（市からの避難の発令により避難したと回答した方））

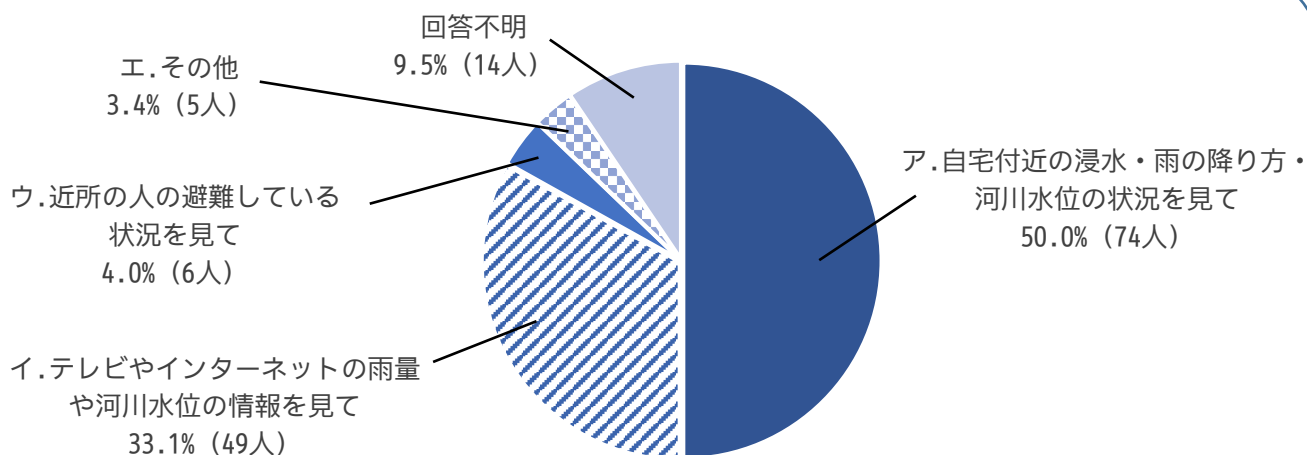


⇒46.7%の方が「避難指示（緊急）」と回答しており最も多かった。次いで、「避難勧告」（25.9%）、「避難準備・高齢者等避難開始」（23.9%）となっている。

問 13（１）で「２」を選択された方に伺います。

どのような方法で確認しましたか？

（n=148 人（自身で周辺の状況等を確認して避難したと回答した方））

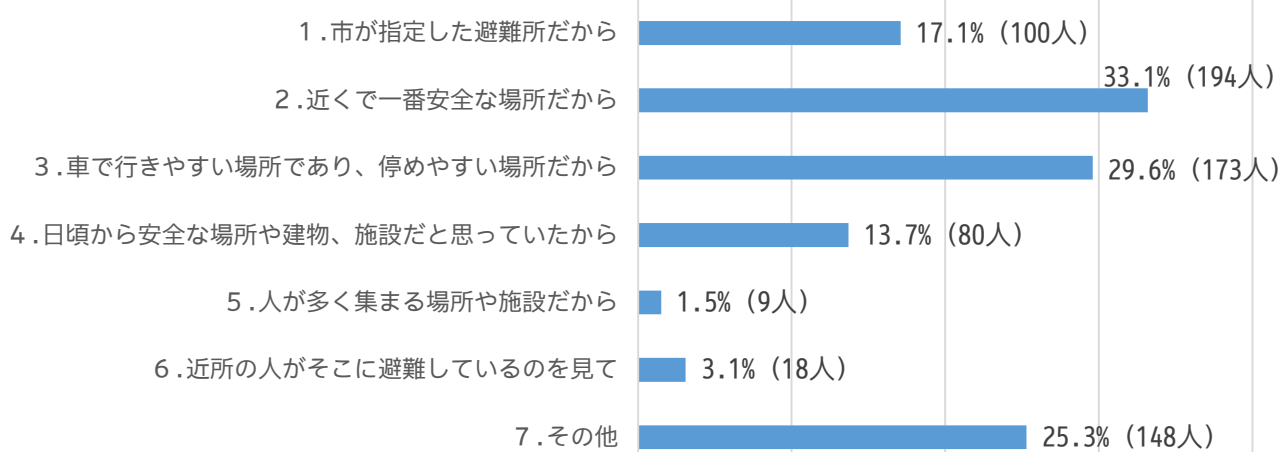


⇒50.0%の方が「自宅付近の浸水等状況を見て」と回答しており最も多かった。次いで、「テレビやインターネットの雨量等情報を見て」（33.1%）、「近所の人の避難状況を見て」（4.0%）となっている。

問 12 で「１」～「４」を選択された方に伺います。

問 13（２） 避難した場所を選んだ理由は何ですか？（複数選択可）

（n=585 人（台風第 19 号の避難情報などにより避難したと回答した方））



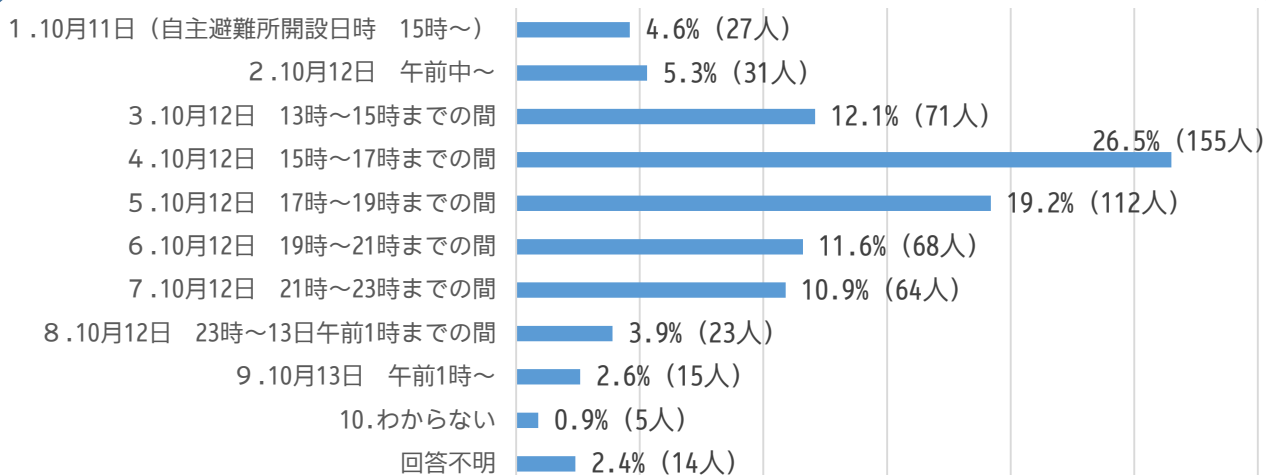
⇒「近くで一番安全な場所だから」（33.1%）と回答した方が最も多かった。

次いで、「車で行きやすい場所であり、停めやすい場所だから」（29.6%）となっている。

問 12 で「1」～「4」を選択された方に伺います。

問 13（3） いつ避難を開始しましたか？

（n＝585 人（台風第 19 号の避難情報などにより避難したと回答した方））

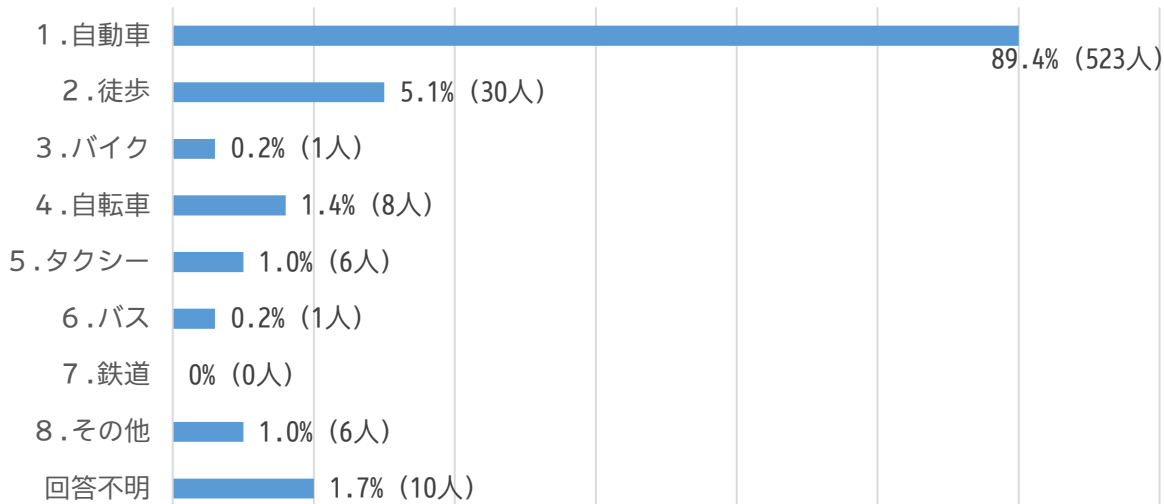


⇒26.5%の方が「10月12日15時～17時までの間」と回答しており最も多かった。次いで、「同日17時～19時までの間」（19.2%）、「同日13時～15時までの間」（12.1%）となっている。

問 12 で「1」～「4」を選択された方に伺います。

問 13（4） どのような方法（主な移動手段）で避難しましたか？

（n＝585 人（台風第 19 号の避難情報などにより避難したと回答した方））

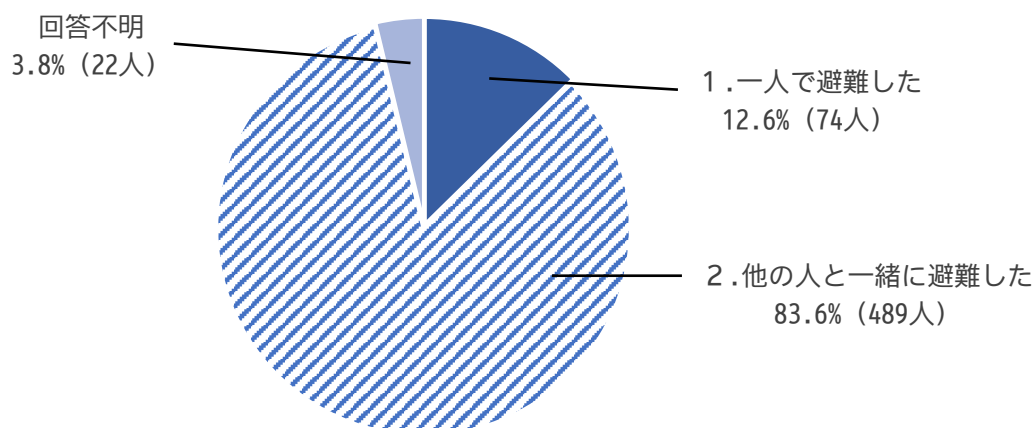


⇒回答者全体の 89.4%が、「自動車」と回答。「徒歩」と回答した方は 5.1%であった。

問 12 で「1」～「4」を選択された方に伺います。

問 13（5） どなたと一緒に避難しましたか？

（n = 585 人（台風第 19 号の避難情報などにより避難したと回答した方））



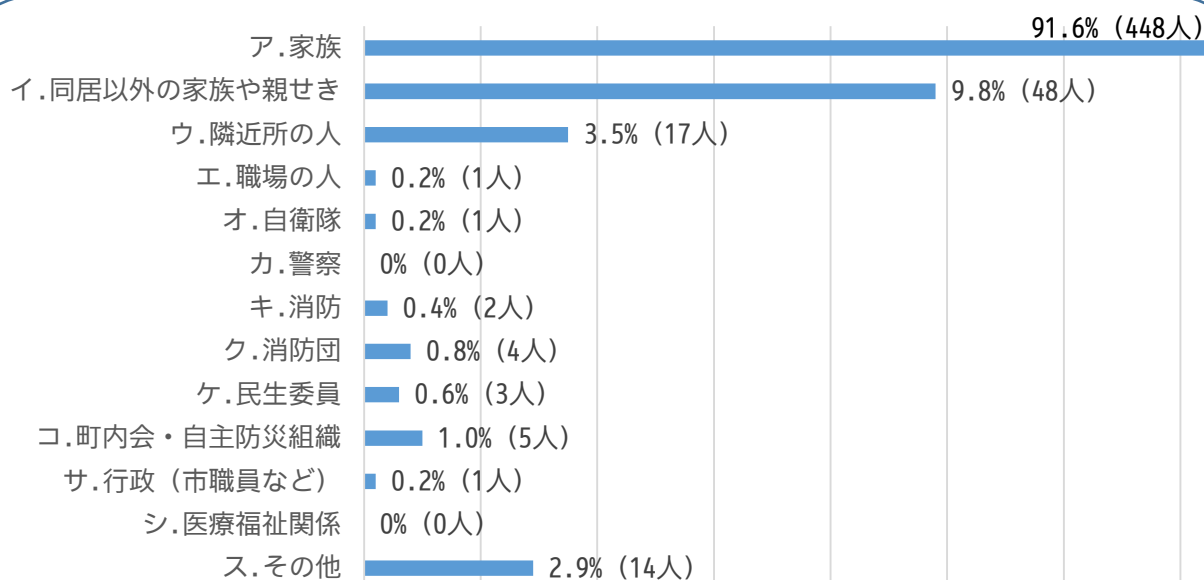
⇒回答者全体の 83.6%が「他の人と一緒に避難した」と回答。

「一人で避難した」と回答した方は 12.6%であった。

問 13（5）で「2」を選択された方に伺います。

あなたは誰と一緒に避難しましたか？（複数選択可）

（n = 489 人（他の人と一緒に避難したと回答した方））



⇒91.6%の方が「家族」と回答しており最も多かった。次いで、「同居以外の家族や親せき」

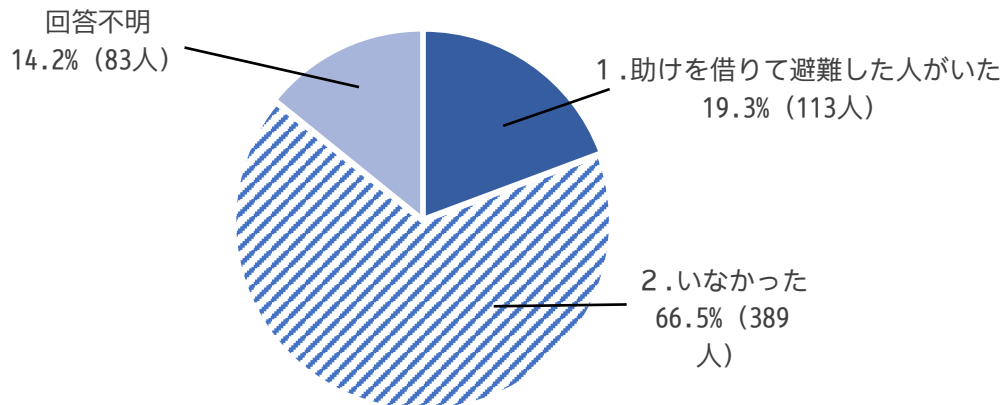
（9.8%）、「隣近所の人」（3.5%）となっている。

問12で「1」～「4」を選択された方に伺います

問13（6） ご自身を含め、ご家族に要配慮者など、誰かの助けを借りて避難をした人はいましたか

（n＝585人（台風第19号の避難情報などにより避難したと回答した方））

要配慮者とは・・・主として高齢者、障害者、乳幼児その他の特に配慮を要する方



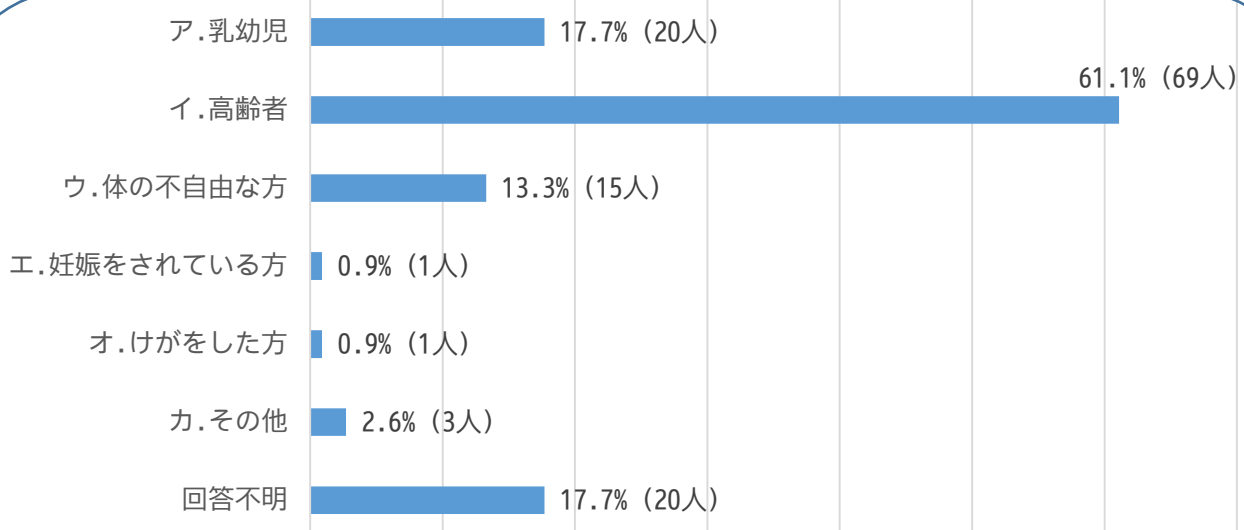
⇒19.3%の方が「誰かの助けを借りて避難した人」と回答。

「いなかった」と回答した方は 66.5%であった。

問13（6）で「1」を選択された方に伺います。

助けを借りて避難された方はどのような方ですか？（複数選択可）

（n＝113人（ご自身を含め、ご家族の要配慮者など誰かの助けを借りて避難したと回答した方））

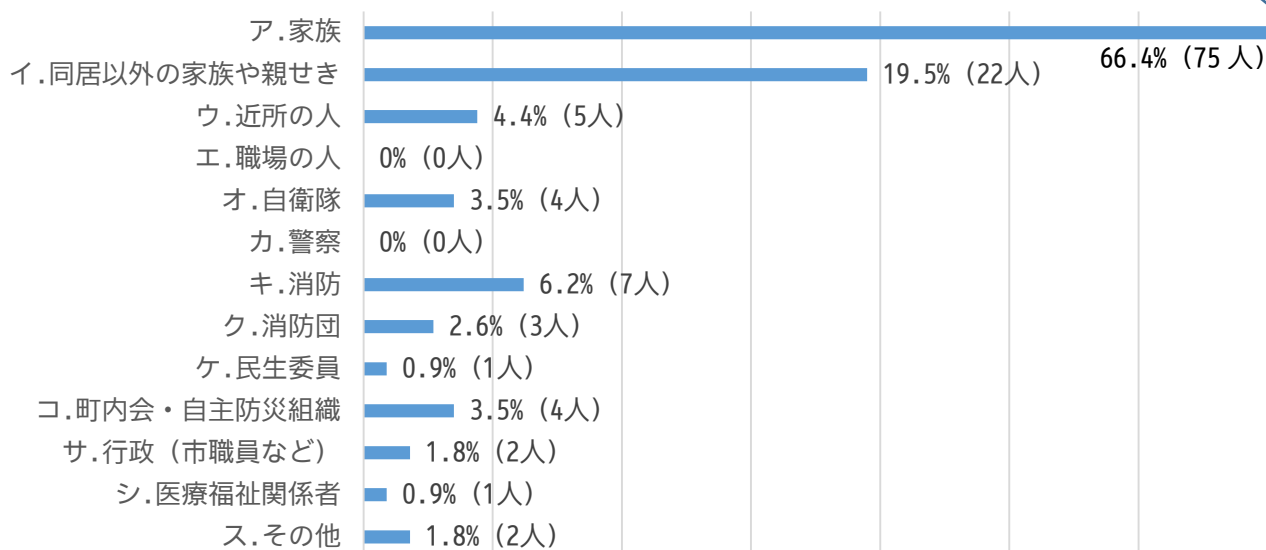


⇒61.1%の方が「高齢者」と回答しており最も多かった。次いで、「乳幼児」（17.7%）、「体の不自由な人」（13.3%）となっている。

問 13（6）で「1」を選択された方に伺います。

その際、どなたの助けを借りましたか？（複数選択可）

（n=113 人（ご自身を含め、ご家族の要配慮者など誰かの助けを借りて避難したと回答した方））

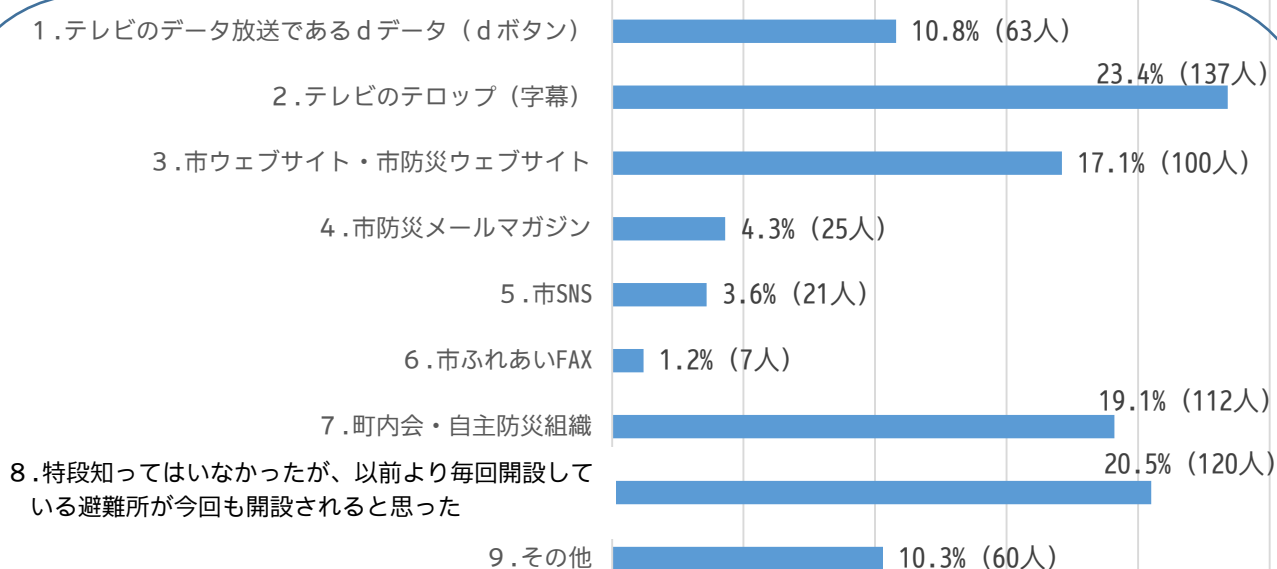


⇒66.4%の方が「家族」と回答しており最も多かった。次いで、「同居以外の家族や親せき」（19.5%）となっている。

問 12 で「1」～「4」を選択された方に伺います。

問 13（7）指定避難所の開設場所をどのような方法で知りましたか？（複数選択可）

（n=585 人（台風第 19 号の避難情報などにより避難したと回答した方））

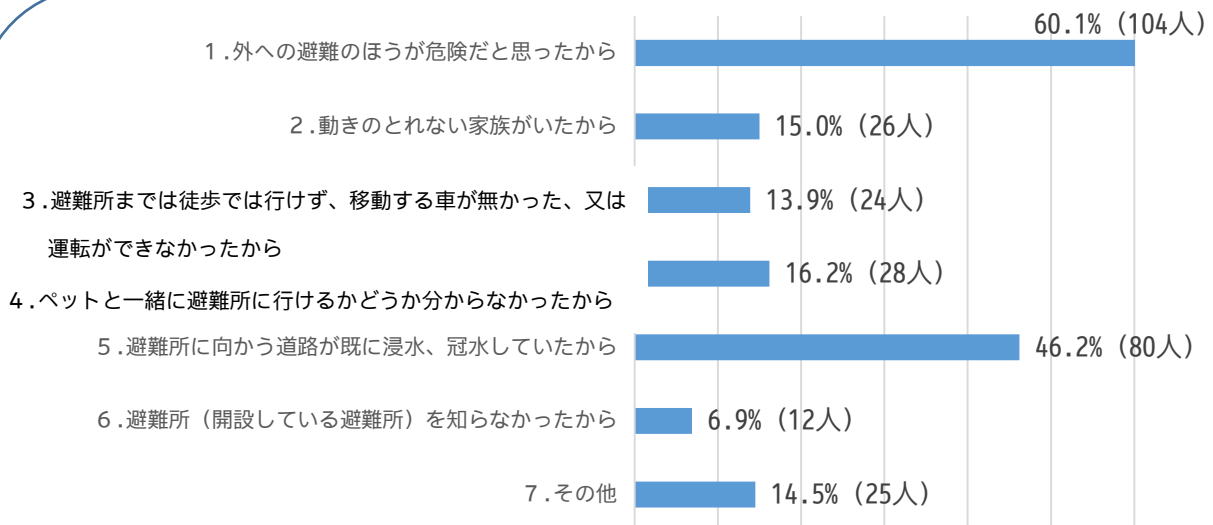


⇒23.4%の方が「テレビのテロップ」と回答しており最も多かった。次いで、「以前より毎回開設している避難所が今回も開設されると思った」（20.5%）、「町内会・自主防災組織」（19.1%）となっている。

問 12 で「5」を選択された方に伺います。

問 14 自宅の2階以上に避難した理由は何ですか？（複数選択可）

（n=173 人（自宅の2階以上に避難したと回答した方））

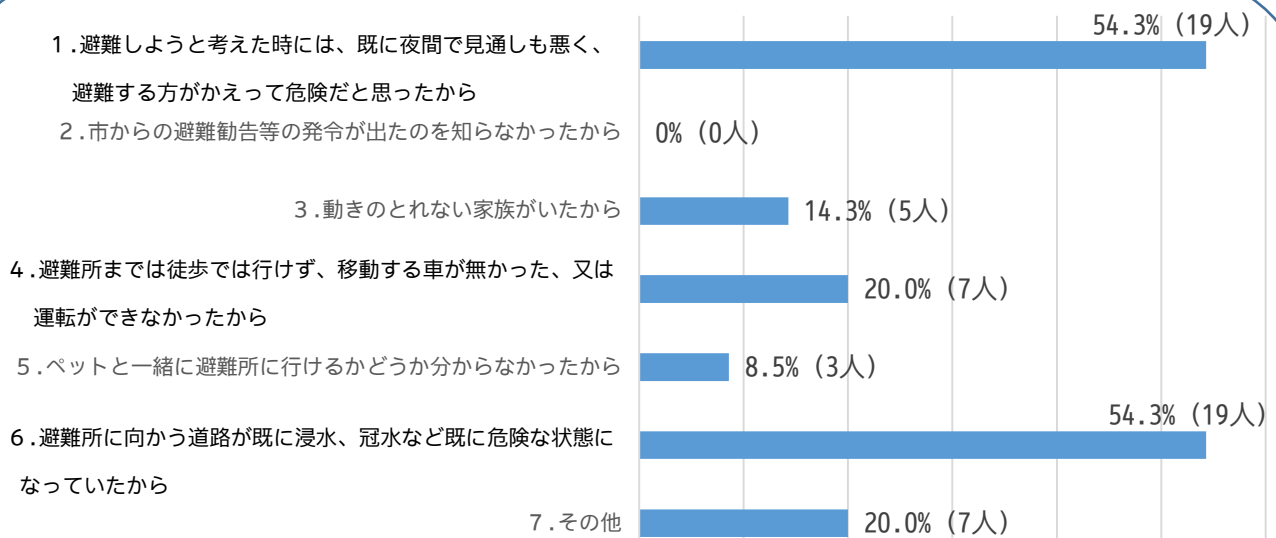


⇒60.1%の方が「外への避難のほうが危険だと思ったから」と回答しており最も多かった。
次いで、「避難所に向かう途中の道路が浸水、冠水していたから」（46.2%）となっている。

問 12 で「6」を選択された方に伺います。

問 15 避難できなかった理由は何ですか？（複数選択可）

（n=35 人（避難しようと思ったができなかったと回答した方））

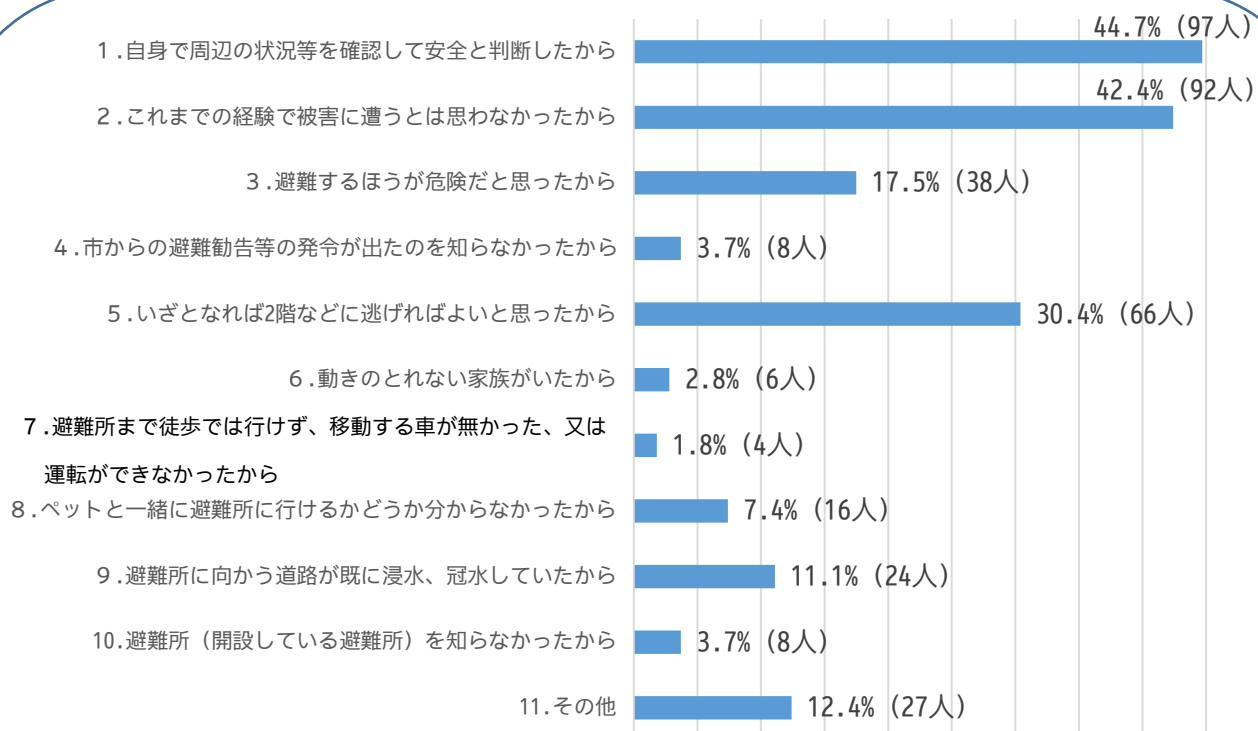


⇒「避難しようと思った時には、既に夜間で見通しも悪く、避難する方がかえって危険だと思ったから」、「避難所に向かう道路が既に浸水、冠水など既に危険な状態になっていたから」と回答した方がともに 54.3%であった。

問 12 で「7」を選択された方に伺います。

問 16 避難しなかった理由は何ですか？（複数選択可）

（n=217 人（特に避難しなかったと回答した方））



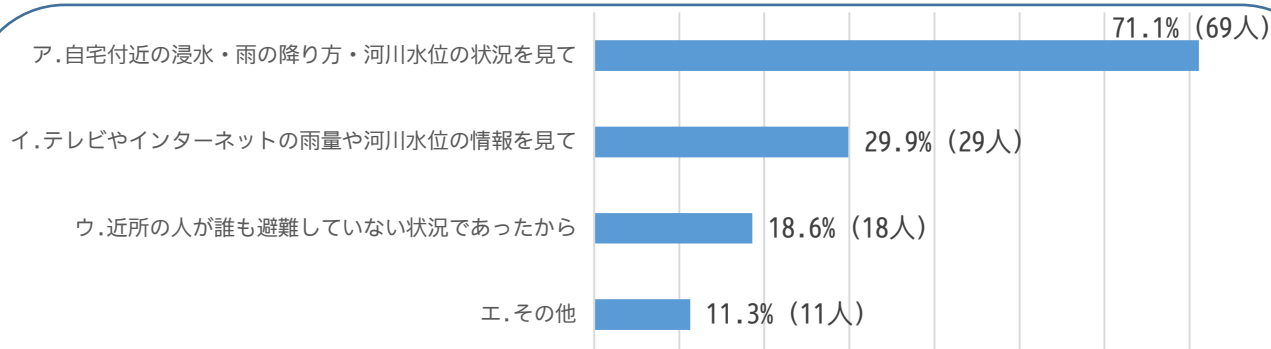
⇒44.7%の方が「自身で周辺の状況等を確認して安全と判断」と回答しており最も多かった。

次いで、「これまでの経験で被害に遭うとは思わなかった」（44.2%）、「いざとなれば2階などに逃げればよいと思った」（30.4%）となっている。

問 16 で「1」を選択された方に伺います。

どのような方法で知りましたか？（複数選択可）

（n=97 人（自身で周辺の状況等を確認して安全と判断したからと回答した方））



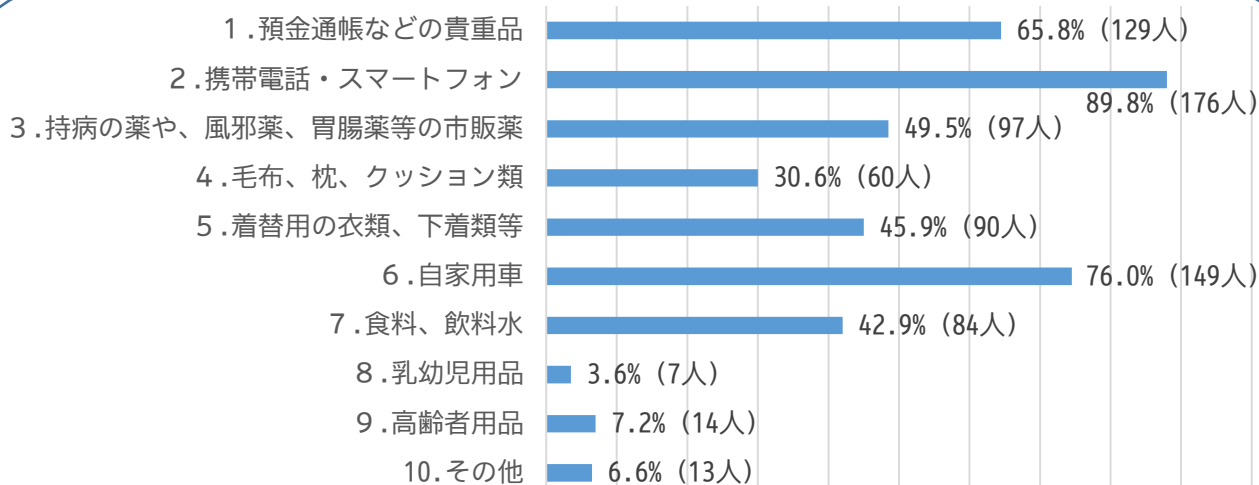
⇒71.1%の方が「自宅付近の浸水等状況を見て」と回答しており最も多かった。

次いで、「テレビやインターネットの雨量等情報を見て」（29.9%）となっている。

指定避難所に1泊以上避難された方に伺います。

問17(1) 避難される際に持っていかれたものは何ですか？

(n=196人(問17(1)を回答した数))



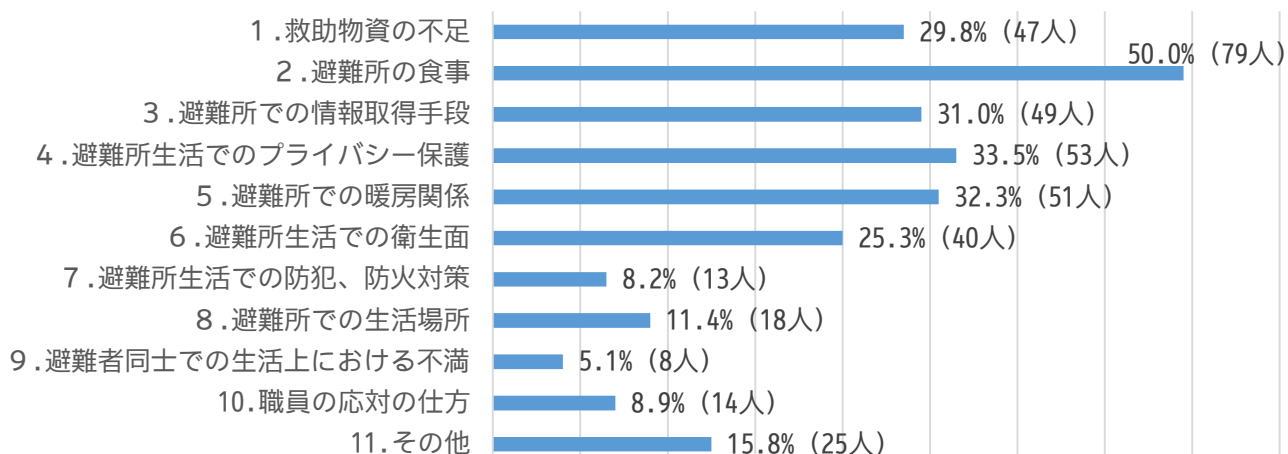
⇒89.8%の方が「携帯電話・スマートフォン」と回答しており最も多かった。

次いで、「自家用車」(76.0%)「預金通帳などの貴重品」(65.8%)となっている。

指定避難所に1泊以上避難された方に伺います。

問17(2) 避難所で改善が必要だと感じたことはありましたか？(複数選択可)

(n=158人(問17(2)を回答した数))



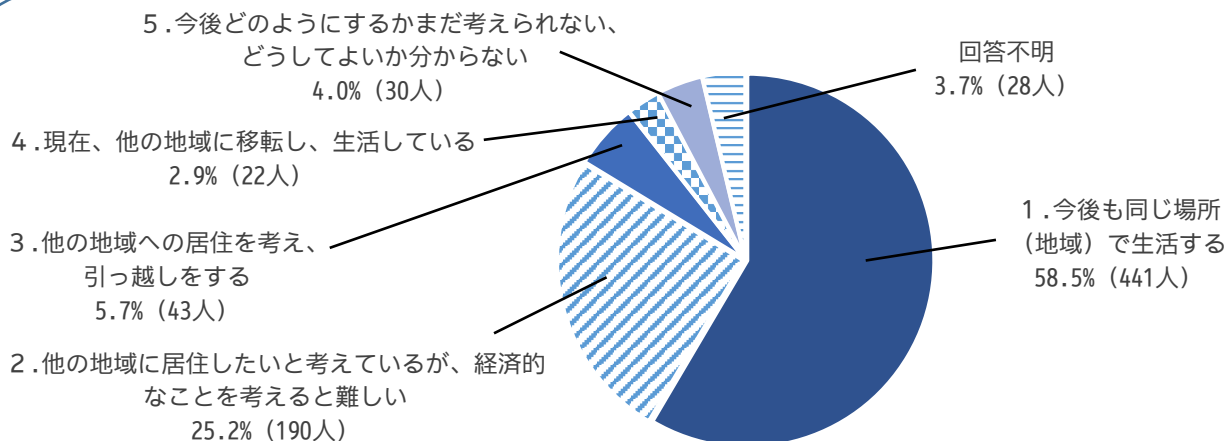
⇒50.0%の方が「避難所の食事」と回答しており最も多かった。

次いで、「避難所生活でのプライバシー保護」(33.5%)「避難所での暖房関係」(32.3%)となっている。

今回浸水被害にあった方に伺います。

問 18 今後の生活圏を（居住圏）はどのように考えていますか？

（n=754 人（台風第 19 号に起因してお住まいが床上・床下の浸水被害にあったと回答した方））



⇒58.5%の方が「今後も同じ場所で生活する」と回答しており最も多かった。次いで、「他の地域に居住したいと考えているが、経済的なことを考えると難しい」（25.2%）となっている。

問 19 今般の台風第 19 号での災害の経験を経て、今後、避難する上で気になっていることはありますか？（複数選択可）

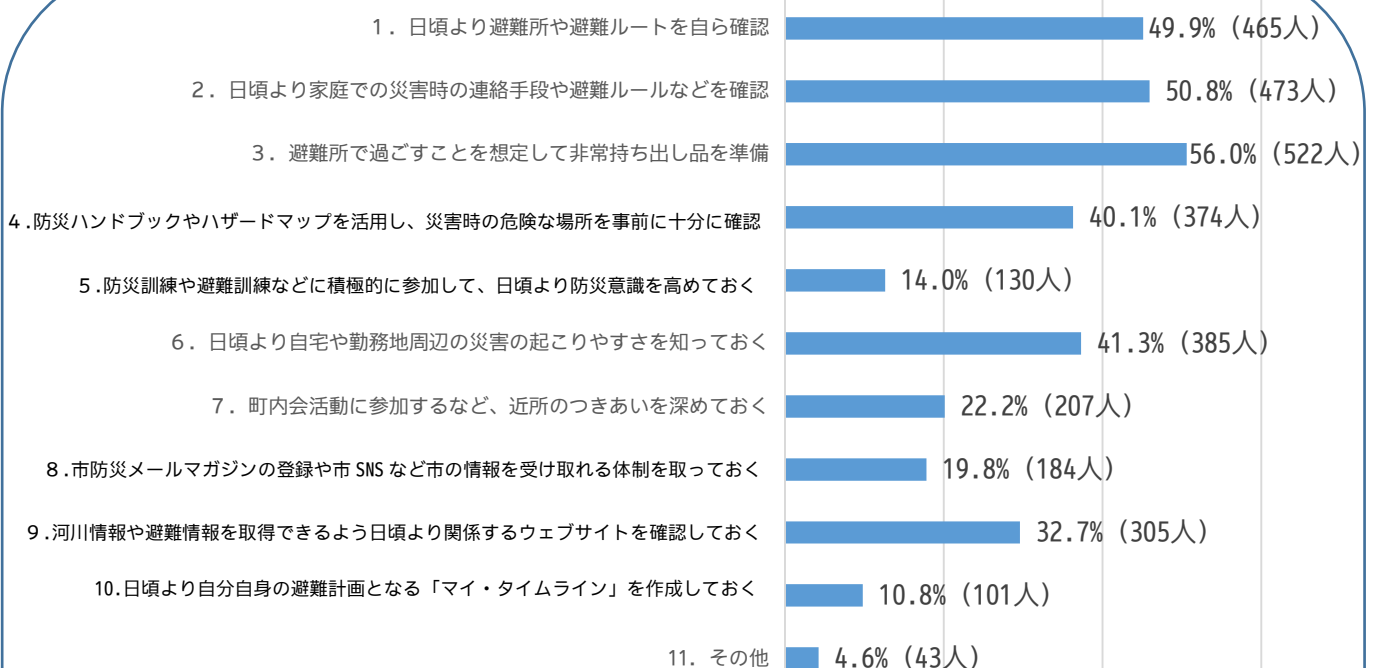
（n=884 人（問 19 を回答した数））



⇒37.8%の方が「避難所では知らない人が多かったり、プライバシーが少ないなどで不安」と回答しており最も多かった。次いで、「指定の避難所や避難ルートが浸水・冠水しやすい、道が狭いなど避難しにくい」（30.4%）となっている。

問 20 今後の災害において、あなたが、より避難しやすくするために、どのような取り組みが必要だと思いますか？（複数選択可）

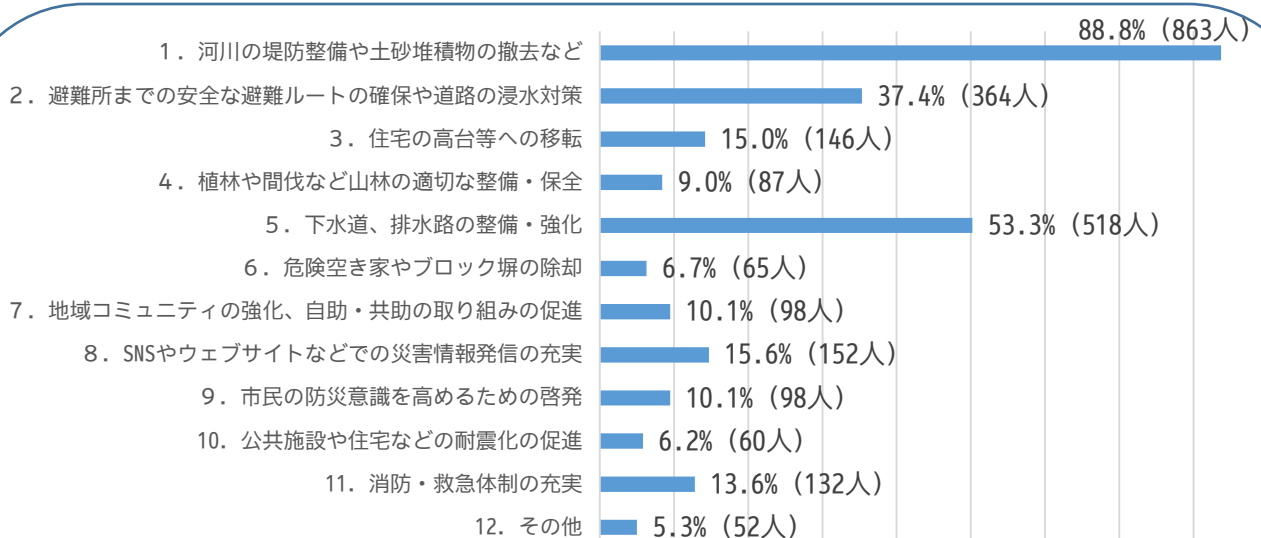
（n=932 人（問 20 を回答した数））



⇒56.0%の方が「避難所で過ごすことを想定して非常持ち出し品を準備」と回答しており最も多かった。次いで、「日頃より家庭での災害時の連絡手段や避難ルールなどを確認」（50.8%）、「日頃より避難所や避難ルートを自ら確認」（49.9%）となっている。

問 21 郡山市の今後の防災対策で必要だと考える対策は何ですか（複数選択可）

（n=972 人（問 21 を回答した数））



⇒88.8%の方が「河川の堤防整備や土砂堆積物の撤去など」と回答しており最も多かった。次いで、「下水道、排水路の整備・強化」（53.3%）、「避難所までの安全な避難ルートの確保や道路の浸水対策」（37.4%）となっている。

■第5章 災害対応の検証

～災害対応検証ワーキンググループ（庁内）による検証～

1 検証の概要

災害対応を検証し、今後の災害対応に活かすため、「災害対応検証ワーキンググループ」を設置し、以下の5つの視点から検証を行った。

（1）初動体制及び災害対策本部のあり方

- ・ 庁内（行政センター含む）での連携体制について
- ・ 災害対策本部の運営について
- ・ 関係機関（民間団体含む）との連携について
- ・ 備蓄品及び備蓄倉庫について

（2）情報収集及び発信のあり方

- ・ 避難情報の判断基準と情報伝達について
- ・ 情報集約について
- ・ 障がい者の方々や外国人の方々への情報発信について

（3）避難対策のあり方

- ・ 避難所の開設と運営について
- ・ 避難されている方々への食糧等支援物資の配給について
- ・ 避難されている方々の良好な避難所環境の確保について
- ・ 救援物資の受け入れ等について
- ・ 要支援者の方々（外国人等の方々も含む）などの対応について

（4）被災者支援のあり方

- ・ 被災者（事業所も含む）支援について
- ・ り災証明書の発行について
- ・ 住宅対策等について

（5）浸水対策（ハード対策）あり方

- ・ 河川改修について
- ・ 浸水被害と今後の対策について

2 視点1 初動体制及び災害対策本部のあり方
(その1)

検証項目	東日本台風における 教訓及び課題	今後の対応策	対応状況 (■は対応済又は対応中)
災害対策本部 の運営	<p>○気象情報等の収集・発信や避難情報発令、被害報告、物資輸送、電話対応等の業務が本部事務局に集中したことから体制強化が必要。</p> <p>○本部設置スペース及び通信回線等の確保について検討が必要。</p>	<p>○本部事務局員を増員するとともに、業務マニュアルを作成し分担を明確化する。</p> <p>○本部連絡員等を本部に常駐させ、情報の共有と対応の迅速化を図る。</p> <p>○災害対策本部(事務局)の設置は正庁が望ましいことから機器及び回線等の常設化、電源強化を検討する。</p>	<p>■地域防災計画を修正し、本部体制を強化。</p> <p>○正庁の電話回線、常時敷設、災害対策室の回線多重化を検討。</p> <p>■正庁の総合行政ネットワーク(通信回線)の無線化対応中。</p>
庁内連携体制 (行政センター含む)	<p>○災害対応の初期段階において、事務分掌の周知が不十分な部局があり、また、部局による業務量の多寡が見られた。</p> <p>○地区本部となる安積行政センターで電気設備が水没し停電したことから、予備電源の確保が必要。</p> <p>○管内の被害規模が大きかった行政センターの応援体制が整うまでに時間を要した。</p> <p>○行政センターは地区本部となることから本部との情報共有、連携を密にすることが必要。</p>	<p>○地域防災計画に対する職員の理解を深めるため、研修会を開催するとともに、ガールーン掲示板を活用して職員間の情報共有に努める。</p> <p>○各部局の事務分掌の見直しを行い、業務の平準化に努める。</p> <p>○分電盤を高い位置に移設するとともに、予備電源の確保を図る。</p> <p>○行政センター間の対口支援体制を構築する。</p> <p>○事前に確認事項を共有するとともに、各センターにおいて、地区レベルの参集体制を整備する。</p>	<p>■ガールーン掲示板活用は試験運用中。試験運用の状況を踏まえ、研修会を実施予定。また、地域防災計画を修正し業務の平準化を図った。</p> <p>■分電盤(SOG制御装置)の位置変更は2020年2月に対応済。</p> <p>■富田・大槻を除く各行政センターに発電機1台追加配備。対応機能のさらなる向上に向け対応中。</p> <p>■行政センター間対口支援体制を7月に構築済。</p>

(その2)

検証項目	東日本台風における 教訓及び課題	今後の対応策	対応状況 (■は対応済又は対応中)
関係機関、団体との連携	<p>○各部局において、各種協定締結事業者と事前に協定内容や連絡体制等を確認しておく。</p> <p>○各種団体等と災害時の情報共有方法等について確認しておく。</p>	<p>○現協定を再確認し必要な見直しを行う。</p> <p>○迅速に支援物資や各種依頼ができるよう平時に物資の選定や協定内容、休日・夜間の連絡体制を確認しておく。</p> <p>○災害発生のおそれがある場合には、密に連絡を取り、事業者の要望等を伺う。</p>	<p>■各部局において協定内容を確認。</p> <p>■事業者用自動車退避場所を確保済み。</p>
備蓄品の管理・配送	<p>○本部事務局職員が物資搬送を担っていたため、初期段階において人員不足が生じていた。</p> <p>○避難所への搬送において、道路事情等により搬送ルート確保が困難な場所もあった。</p> <p>○各種支援物資等の保管場所が不足していた。</p> <p>○物資輸送や職員移動で公用車が不足していた。</p> <p>○備蓄品の在庫状況が常に変動しており適切な管理が困難。</p>	<p>○物資輸送担当を増員し体制を強化するとともに、避難所となる学校等に予め備蓄品を保管しておく。</p> <p>○地域の状況に応じて新たな備蓄倉庫を検討する。</p> <p>○民間事業者と協定を締結し、物資運送体制及び車両の確保を図る。</p> <p>○全庁内で使用できるファイルサーバに備蓄品管理の共有フォルダを作成し適正な備蓄品管理を行う。</p>	<p>■地域防災計画に物資輸送担当を明記。</p> <p>■学校等に備蓄品の事前保管を実施。</p> <p>■市役所北側印刷所及びタイヤ保管庫を備蓄倉庫に転用。</p> <p>○災害時の車両確保を図るため、自動車会社等と災害協定締結。</p> <p>○防災危機管理課の備品管理台帳を基に、各避難所の備蓄品の使用状況等の見える化を図る。</p> <p>■各避難所との連絡用に情報端末を活用する。</p>

3 視点2 情報収集及び発信のあり方

(その1)

検証項目	東日本台風における 教訓及び課題	今後の対応策	対応状況 (■は対応済又は対応中)
避難情報の発信	<p>○計16回の避難情報を発令したが、できるだけ市民に分かり易い発令が重要。</p> <p>○河川水位が夜間に危険水位に達すると予測されたため、日没前に避難勧告等を発令した。</p> <p>○避難所開設や避難勧告発令情報等について庁内への周知も併せて行うべき。</p> <p>○市ウェブサイトアクセスが集中し、閲覧しにくい時間帯があった。</p>	<p>○より分かり易い発令とするため、対象地域や文言等の表現についてさらに検討する。</p> <p>○多くの市民に伝わるようあらゆる手段を用いて発信する。</p> <p>○夜間の発令が見込まれる場合は、今後も早めの発令に努める。</p> <p>○対外情報発信と併せて、メール等を用いて庁内の情報共有も図る。</p> <p>○システムの負荷が少ない緊急画面に切り替えるとともに、アクセス可能容量を増量。</p>	<p>○分かり易い情報発信のあり方について、発信手段を含め引き続き検討する。</p> <p>■地域防災計画に発令のタイミングを明記。</p> <p>■タイムリーに交通情報等を発信するため、ラジオ福島と覚書を締結。</p> <p>○民間所有の大型情報パネルや国、県等の道路情報板を活用した情報発信に向けた各団体への要請。</p> <p>■ガールーン掲示板を活用し庁内の情報共有を図るとともに、職員に防災メールマガジンへの登録を促す。</p> <p>○ウェブへのアクセス可能容量のさらなる増量の可否及び分かり易いウェブのあり方について検討。</p>

(その2)

検証項目	東日本台風における 教訓及び課題	今後の対応策	対応状況 (■は対応済又は対応中)
<p>その他情報の 発信、集約</p>	<p>○必要な情報が時間の経過とともに変化することを踏まえた情報の発信が求められている。</p> <p>○ふれあいネットワークは、町内会長等を通じて各世帯への回覧を終えるまで2週間程度要するため発信情報に注意が必要。</p> <p>○本部等への各種報告について、状況が刻々変化していることから、報告基準の明確化や簡素化が必要。</p> <p>○協定締結団体をはじめとする団体等からの支援について情報共有が必要。</p> <p>○行政センターを地区の核として、各種団体等の情報を集約することが必要。</p>	<p>○予想される問い合わせ内容を時系列に想定し、提供するマニュアルを整備する。</p> <p>○国、県等と連携した交通情報等の発信を検討。</p> <p>○ふれあいネットワークは、内容に応じて活用する。</p> <p>○ココなびの活用等、報告方法の簡素化を検討する。</p> <p>○物資等支援リストを全所属で情報共有できる仕組みを検討する。</p> <p>○行政センターにおいて、町内会や消防団、自主防災組織等による地区レベルの災害対応体制を整備し、情報の集約や対応にあたる。</p>	<p>■防災メールやライン等を活用して、タイムリーな情報を発信する。</p> <p>■タイムリーな情報提供を行うため、ラジオ福島と覚書を締結。</p> <p>■物資等支援リストをファイルサーバーに掲示し庁内共有化を図る。</p>

(その3)

検証項目	東日本台風における 教訓及び課題	今後の対応策	対応状況 (■は対応済又は対応中)
障がい者や外国人等への情報発信	<p>○障がい者など要配慮者の方々へ必要な情報が確実に届く仕組みが必要。</p> <p>○多言語のウェブサイト外国人が所属する学校や企業へ紹介したが必要な情報が対象者に届く仕組みが必要。</p>	<p>○障がい者へ情報発信のあり方について更に検討が必要。</p> <p>○ウェブサイト内「外国語ポータルサイト」に特設ページを作成し、やさしい日本語で簡潔に発信する。</p> <p>○災害時の情報発信を目的とした専用台帳システムや外国人登録時のアドレス提供を検討。</p> <p>○外国人関係団体や企業、学校、各コミュニティのキーパーソン等とのネットワーク強化。</p>	<p>■聴覚障がい者の方への遠隔手話サービス（テレビ通話）を活用し情報発信。</p> <p>■「外国語ポータルサイト」にて、やさしい日本語により簡潔に発信するとともに、市国際交流協会のフェイスブックにより災害情報を発信。</p> <p>■既存の5台のほか、避難所となる公民館41館に自動翻訳機を配備。</p>

4 視点3 避難対策のあり方
(その1)

検証項目	東日本台風における 教訓及び課題	今後の対応策	対応状況 (■は対応済又は対応中)
避難所設置、 支援体制	<p>○自動車による避難者が多く、駐車場が満車で別の避難所に行かざるを得なかった方がいた。</p> <p>○対策本部の状況や被害状況等がタイムリーに把握できれば、よりきめ細かな対応ができた。</p> <p>○避難所対応が長期化し、通常業務と避難所業務の両立による職員の負担増が課題。</p>	<p>○近隣住民には徒歩での避難を呼びかけるとともに、各避難所及び近隣に駐車場の確保を図る。</p> <p>○車中避難にも対応できるよう公共施設や民間施設の駐車場を確保する。</p> <p>○情報の共有化に向けた体制を構築する。</p> <p>○特定部局や職員に過度の負担が生じないように全庁的に業務量の均衡を図れる体制を構築する。</p>	<p>■公共施設の駐車場を駐車可能台数を示して開放する。</p> <p>■災害時の駐車場の利用について、民間企業と協定を締結済み。</p> <p>■庁内情報システムへの情報掲示による情報共有及び避難所への情報端末を配備する。</p> <p>■地域防災計画を改定し、職員体制の見直しを図った。</p>
避難所運営	<p>○入退所の動きが激しく、初期段階では完全な名簿管理が困難。</p> <p>○避難所での生活実態がない避難者も多く見られ、避難者数の把握が困難。</p> <p>○避難所で生活面での協力をお願いしても理解いただけない方がいた。</p>	<p>○各避難所に情報端末を配置し、リアルタイムでの情報収集や本部との情報共有等を図る。</p> <p>○避難者カード記入のタイミングについて検討する。</p> <p>○避難者向けの避難所生活マニュアルを作成し初期段階で周知する。</p>	<p>■新型コロナウイルスに対応した避難所開設方針を作成済。</p> <p>■各避難所に情報端末を配置する。</p> <p>■避難所生活マニュアルの作成を検討。</p>

(その2)

検証項目	東日本台風における 教訓及び課題	今後の対応策	対応状況 (■は対応済又は対応中)
プライバシー の確保及び要 配慮者への対 応	<p>○体育館ではプライバシーの確保や着替え、授乳スペースが不十分だった。</p> <p>○高齢者等の要配慮者については、福祉避難所の活用を検討すべき。</p> <p>○外国人避難者への対応について、意思疎通がスムーズにできなかった。</p>	<p>○間仕切り、テント等を活用しプライバシーの配慮に努める。</p> <p>○避難所開設に併せ福祉避難所の開設、移送体制も準備する。</p> <p>○通訳者の配置が困難な場合は、翻訳機等を活用して意思疎通に努める。</p>	<p>■備蓄済みの間仕切り 200 区画分、テント 300 張のほか、間仕切り（段ボール）2,500 区画分を確保。</p> <p>■旅館、ホテル等を避難所として活用するための災害協定を締結。</p> <p>■既存の 5 台のほか、避難所となる公民館 4 1 館に自動翻訳機を配置。</p>
食事及び支援 物資	<p>○弁当、パン、カップヌードル等が中心で、避難が長期にわたる場合に栄養面の不安がある。</p> <p>○弁当の必要数把握が困難で廃棄が生じた。</p> <p>○必要な物資をタイムリーに避難所に配送できないことがあった。</p>	<p>○食事について予算、配送、調達、栄養面からの検討をさらに重ねる。</p> <p>○各避難所に情報端末を配置しタイムロスの少ない連絡体制、発注スキームを構築する。</p> <p>○民間事業者の活用も含め、物資配送体制の見直しを図る。</p> <p>○衛生用品等については、初期段階からプッシュ型で配置する。</p>	<p>■各避難所に情報端末を配置し、ロスの少ない連絡体制を構築する。</p> <p>■民間事業者と災害協定締結を検討し配送体制の強化を図るとともに、支援物資がタイムリーに配送できるよう備蓄品、保管場所等を見直す。</p>

(その3)

検証項目	東日本台風における 教訓及び課題	今後の対応策	対応状況 (■は対応済又は対応中)
衛生、健康管理	<p>○床に直接寝ることは衛生上不安があったがダンボールベッドの数が限られていた。</p> <p>○初期段階において暖房設備がない避難所があり、寒さ対策が必要だった。</p> <p>○医師、保健師の巡回が日中だったため、避難者が少なかった。避難が長期にわたった場合、高齢者等の気力の衰えが心配。</p> <p>○入浴設備やシャワー設備のある公共施設や民間施設の有効活用を図る。</p>	<p>○ダンボールベッドを購入し活用を促進する。</p> <p>○避難所の暖房設備、電気容量等について再確認し必要な整備を行う。</p> <p>○効果的な健康支援ができるよう避難者の生活実態を踏まえた巡回支援体制を検討。避難が長期にわたる場合は各種団体等に高齢者支援活動を依頼する。</p> <p>○公共・民間入浴施設等の紹介や可能な送迎支援、体育館等避難施設のシャワー利用を検討する。</p>	<p>■ダンボールベッドを1100人分備蓄済。</p> <p>○巡回による健康支援のあり方については、関係団体等と協議する。</p> <p>○公共施設を積極的に利用するとともに、民間関係団体と協議を行う。</p>

5 視点4 被災者支援のあり方
(その1)

検証項目	東日本台風における 教訓及び課題	今後の対応策	対応状況 (■は対応済又は対応中)
支援制度	<p>○総合相談窓口について、相談者数と対応者数が不均衡な時期があった。</p> <p>○各種支援制度のメニューの決定、公表を迅速に行うことが重要。</p> <p>○紙申請書によるメニュー毎の対面での受付が基本となっていたことから、効率化、簡素化すべき。</p>	<p>○各業務ごとに対応状況を数値化し、適切な人員配置に努める。</p> <p>○各部局において随時支援制度のデータを更新するとともに、情報共有を図り、迅速に公表できるように管理する。</p> <p>○ネット申請ができるようにフォーマットを準備するとともに、共通項目の簡略化を検討する。</p>	<p>○各業務ごとの対応状況を検証し、適正化を図る。</p> <p>■支援制度のメニューを更新中。</p> <p>○ネット申請の課題等について検討する。</p>
支援情報の発信	<p>○様々な状況にある被災者へ遅滞なく確実に情報提供することが必要。</p> <p>○被災農家や被災事業所向けの最新の各種支援制度がタイムリーに伝わる必要がある。</p>	<p>○ウェブサイトや広報紙、避難所や総合相談窓口等への掲示等あらゆる手段で情報提供を行う。</p> <p>○LINE等の加入者促進やデジタルサイネージの活用など情報発信ツールを拡充していく。</p> <p>○J A や工業団地会等の関係団体と災害時等における情報共有、連携体制を確認する。</p>	<p>■ウェブサイトでの支援情報等の集約ページの作成や広報紙による特集、避難所や総合相談窓口等への掲示等によりきめ細かな情報提供に努める。</p> <p>■防災メルマガ、市公式LINE等への加入促進を図る。</p> <p>■必要に応じ、各種関係団体等と意見交換会を開催。</p>

(その2)

検証項目	東日本台風における 教訓及び課題	今後の対応策	対応状況 (■は対応済又は対応中)
り災証明書の 発行	<p>○新システムの仕様やトラブル等により円滑、迅速な発行ができなかった。</p> <p>○応援職員が短期間で交代となるため、頻繁に研修や説明が必要となった。</p> <p>○学生等、住民登録がない被災者も多く、居住や世帯の確認等に時間を要するケースがあった。</p>	<p>○り災証明発行作業を検証し、作業手順ごとのマニュアルを作成、公開するとともに、研修を行うなど、災害時に速やかに対応できる体制を構築する。</p> <p>○学生等については、学校と災害時の情報共有について協議し迅速な発行に努める。</p>	<p>■現在、マニュアル策定中。</p> <p>新型コロナウイルス感染防止の観点から、原則、対面交付は行わず、ウェブ、郵送で対応予定。</p>
住宅支援	<p>○準備できた物件が、必ずしも被災者が要望する地域や設備等に合致しない案件が発生した。(風呂、エレベーター、駐車場等の有無等)</p>	<p>○市営住宅への風呂の設置については、引き続き調査検討を続ける。</p> <p>○関係団体との連携により民間賃貸住宅も活用したが、今後も状況により民間活用を検討していく。</p>	<p>■福島県と連携し、民間賃貸住宅の借上げ住宅のあっせんを進める際に、速やかな物件の特定等さらなる円滑な支援を検討する。</p>
市税等の減免	<p>○1件の申請書で5課の税目の減免申請が可能だったが、各税目で減免条件が異なる部分があり、説明が難しかった。</p>	<p>○分かり易い様式の検討と併せ、受付担当職員の事前研修を行うとともに、市で減免額を算定し被災者へ通知する方法についても研究する。</p>	<p>○減免関連の国の通知を勘案しながら、市としての分かり易い対応を検討。</p>

(その3)

検証項目	東日本台風における 教訓及び課題	今後の対応策	対応状況 (■は対応済又は対応中)
ごみ、廃棄物の処理	<p>○被災者が利用しやすい災害ごみ置き場の設置及び効率的な災害ごみの収集体制が必要。</p> <p>○被災ごみの受け入れは、一般災害ごみ優先としたため、企業ごみ(水没車両を含む)が長期間自社保管となった。</p>	<p>○事前に複数の災害ごみ仮置き場候補地を選定し、収集体制も含めて計画を立てるとともに、土地の所有者又は管理者と協議をしておく。</p> <p>○優先的に復旧が必要な公共性の高い事業者の災害ごみ受け入れについては、特例措置を検討する。</p>	<p>○災害廃棄物処理計画を策定予定。</p> <p>■地域防災計画における清掃計画を見直し、仮置き場の設置等を記載。</p> <p>■公共施設等に車両避難場所を確保。</p> <p>■公共性の高い事業者等との協定締結等を協議中。</p>

6 視点 5 浸水対策のあり方
(その1)

検証項目	東日本台風における 教訓及び課題	今後の対応策	対応状況 (■は対応済又は対応中)
河川	○阿武隈川において 越水、溢水が発生 し、その支川では堤 防決壊等が多数発生 するとともに、大規 模な内水被害が発 生。	<p>【国管理河川】</p> <p>○阿武隈川緊急治水 対策プロジェクト。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハード整備・・・ 水位低下対策、支川 堤防強化 等の治水 対策の推進。 ・ソフト対策・・・ 地域単位での防災体 制の構築、バックウ ォーターを考慮した 危機管理対策の推進 <p>【県管理河川】</p> <p>○福島県緊急水害対 策プロジェクト (～2024)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハード整備・・・ 河道掘削、堤防強 化、樹木伐採 ・ソフト対策・・・ 危機管理型水位計及 び河川管理カメラの 設置拡大 <p>【市管理河川】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハード整備・・・ 河川毎の河道計画策 定及び浸水対策検討 を行うとともに、河 道掘削や調整池等の 整備を進める。 ・ソフト対策・・・ ドローン活用による 河川台帳の電子化、 高度化を図り災害時 に活用する。 	<p>【国管理河川】</p> <p>■ハード・・・河道掘削、堤 防整備、上流域への遊水地設 置等(阿武隈川)</p> <p>■ソフト・・・マイタイムラ イン研修の開催</p> <p>【県管理河川】</p> <p>■ハード・・・河道掘削、堤 防強化、樹木伐採(逢瀬川、藤 田川、谷田川、桜川)</p> <p>■ソフト・・・水位計設置拡 大(2 か所)、河川カメラ設置拡 大(7 か所)</p> <p>【市管理河川】</p> <p>■ハード・・・河道掘削(照内 川：2020～2022 年度・仲 川：2021～2024 年度) 洪 水調整池(護岸工)：富田東 1 号調整池、富田東 2 号調整 池、富田東 3 号調整池、愛宕 川調整池、照内川調節池 (2020 年度)</p> <p>○ソフト・・・河川台帳の電 子化</p>

(その2)

検証項目	東日本台風における 教訓及び課題	今後の対応策	対応状況 (■は対応済又は対応中)
道路	<p>○路面や路肩、橋梁等に被害が発生するとともに、道路に土砂が堆積し通行に支障。</p> <p>○市道の冠水により、地下道や低地が通行不能。</p> <p>○阿武隈川、笹原川、谷田川等の樋管に設置した内水排水ポンプの商用電源引込の分電盤が水没して稼働停止。</p>	<p>○災害協定を締結している各種団体と緊密な連携及び情報共有を図りながら迅速な応急復旧を行う。</p> <p>○地下道の排水機能の向上、分電盤の位置変更や分割を行い、機能停止のリスクを低減させる。</p> <p>○内水排水ポンプ及び分電盤の位置について検討する。</p>	<p>■協定締結団体と連携体制を再確認した。</p> <p>■ゆうゆう地下道の商用電源を2系統に分けるとともに位置変更を実施済。</p> <p>○地下道の排水ポンプの更新による排水能力向上。(11か所)</p> <p>■内水排水ポンプ及び分電盤の位置を検討し、必要に応じて移設を実施。(23か所)</p>
上下水道	<p>○阿武隈川では越水、溢水が発生し、その支川では堤防決壊等が多数発生するとともに、大規模な内水被害が発生。</p>	<p>【雨水排水施設】</p> <p>○雨水ポンプ場の耐水強化、水位等の監視体制強化による状況に応じた迅速な対応体制の整備。</p> <p>○国や県が実施する河道掘削による河川水位低下策等を前提とした著しい内水被害地区における排水強化。</p> <p>【雨水貯留施設】</p> <p>○郡山市ゲリラ豪雨対策9年プランの確実な実施。</p> <p>・赤木、図景、小原田、石塚貯留管の整備等</p> <p>【その他】</p> <p>○情報伝達の効率化による対応力の強化</p> <p>○災害対応時の職員安全体制の整備</p> <p>○機動的な内水排水の強化</p>	<p>【雨水排水施設】</p> <p>■雨水ポンプ場に、防水壁、止水板、止水壁設置予定。(予算計上済)</p> <p>■水位計1基、流向計3箇所、ウェブカメラ設置1箇所を予定</p> <p>【雨水貯留施設】</p> <p>■完成見込み</p> <p>【その他】</p> <p>■現場中継システムを構築済。</p> <p>■救命ボート、浮輪等緊急脱出用具整備済。</p> <p>■可搬式排水ポンプの整備2セット4台、このほか、内水処理用排水ポンプを1箇所設置(安積町笹川 五輪下樋管4基)</p>

(その3)

検証項目	東日本台風における 教訓及び課題	今後の対応策	対応状況 (■は対応済又は対応中)
ため池・農業 施設	<p>○一部ため池において雨水貯留施設機能が働かず下流で被害が発生。</p> <p>○農業用水の河川流入抑制の検討。</p>	<p>○ため池の事前放流の徹底による貯水機能の確保と水位計設置等による適切な水位管理。</p> <p>○ため池管理団体との緊急連絡体制の確立と低水管理の徹底</p> <p>○土地改良区との緊急連絡体制の確立と断水措置要請の実施</p>	<p>■市管理ため池1か所（善宝池）へ水位計設置済。</p> <p>■ため池管理団体及び土地改良区と災害時の連絡体制を確認済。</p>
土地利用	<p>○「郡山市立地適正化計画」（2019年3月策定）の居住促進区域の一部で浸水被害が発生。</p> <p>○浸水リスクが高い地域からの移転を希望する住民及び事業者への支援が必要。</p>	<p>○被災状況を踏まえ立地適正化計画における居住促進区域の見直し等検討。</p> <p>○被災者の住居移転に対する経済的支援の実施。</p> <p>○被災者の市街化調整区域への移転に対する規制緩和。</p>	<p>■居住促進地域への移転に対する補助制度を新設。（2/12施行済）</p> <p>■市街化調整区域への移転に関する許可基準を新設。（2/1施行済）</p>
ハザードマップ	<p>○自分の居住地の水害リスクを知らない市民もいることから、周知、啓発が必要。</p>	<p>○新ハザードマップを全世帯へ配布し周知を図る。</p> <p>○平時からハザードマップについてあらゆるチャンネルで周知、啓発を図る。</p>	<p>■全世帯へ新ハザードマップを配布済。</p> <p>■出前講座による新ハザードマップの普及啓発の推進。</p>

資 料 編

資料1 市の生活支援等の対応状況

※令和2年12月21日現在

分野	各種支援制度	申請件数	備考 (支援実績額等)
見舞金・義援金	災害見舞金	4,126 件	331,520,000 円
	被災者生活支援特別給付金	2,598 件	258,800,000 円
	令和元年台風第 19 号義援金 (国・県・市)	4,816 件	1,354,397,300 円
被災者生活再建	被災者生活再建支援制度	1,819 件	1,744,875,000 円
税・国保等	市民税課（事業所税）	27 件	15,287,500 円
	市民税課（市県民税）	4,763 件	116,125,200 円
	資産税課	3,385 件	139,031,700 円
	国民健康保険課国保税係	1,130 件	89,838,600 円
	介護保険課保険料係	3,597 件	86,573,140 円
	国民年金第 1 号被保険者の国民年金 保険料の免除	32 件	※市で受け付けた件数
	後期高齢者医療保険料の減免	1,138 件	39,868,600 円
子育て・教育	郡山市認可保育所の利用者負担額 (保育料) の減免	29 件	3,567,860 円
	一時預かり事業利用児童の被災保護 者への災害給付金	3 件	4,500 円
	認可外保育施設入所児童の被災保護 者への災害給付金	24 件	972,230 円
	被災児童生徒保護者への就学援助	408 件	14,228,036 円
上下水道	水道料金の減免	2,385 件	28,994,505 円
	下水道使用料・農業集落排水施設使 用料の減免	1,794 件	17,477,302 円
	下水道受益者負担金等の徴収猶予	3 件	42,410 円

※令和2年12月21日現在

分野	各種支援制度	申請件数	備 考 (支援実績額等)
住宅	住宅の応急修理	946 件	498,949,374 円
	民間賃貸借上げ住宅	525 件	(福島県負担)
	市営住宅等への仮入居	228 件	※家賃換算なし
	建築確認申請等手数料の免除	15 件	513,000 円
	住家解体証明手数料の免除	199 件	49,750 円
	居住促進区域への移転促進事業補助金	15 件	3,000,000 円
家屋解体	被災家屋等の解体、撤去	公費：436 自費：54	1,781,987,095 円
衛生・健康	保健師による健康相談	75 件	—
産業	企業への減災対策を行う場合の補助 (郡山市立地企業事業継続対策補助金)	19 件	12,048,000 円
	災害対策資金融資	268 件	2,258,010,000 円 (融資実行)
医療・福祉・保険	介護保険加入者の介護サービス利用料の支払免除	342 件	47,688,309 円
		94 件	1,922,563 円
	障がい福祉サービス利用料の支払免除	6 件	199,634 円
	国民健康保険加入者の医療機関窓口負担の支払免除	1,670 件	142,799,144 円
	国民健康保険一部負担金の還付手続き	926 件	3,262,896 円
	後期高齢者医療保険加入者の医療機関窓口負担の支払免除	1,167 件	77,442,378 円
	後期高齢者医療一部負担金の還付手続き	319 件	2,895,759 円
その他のお知らせ	各種証明書等の手数料免除	29 件	183,090 円
	各種証明書等の手数料免除 (住民票・戸籍等)	20,645 件	5,882,150 円

資料2 防災情報伝達システムによる情報発信内容

(その1)

No.	放送日時 (2019 年)	防災行政無線	メルマガ・登録制メール	防災ウェブサイト	SNS (フェイスブック・ツイッター)	電話ガイダンス	放送タイトル	文章情報
1	10/09 15:18 10/09 15:24 (SNS)		○	○	○		台風第 19 号情報 (10/9 第 1 報)	<p>大型で猛烈な台風第 19 号により、今週末にかけて郡山市を含む広い範囲で大荒れとなる可能性があります。台風が近づき天候が悪くなる前に、台風情報には十分留意し、早めの備えを心がけましょう。</p> <p>【台風への対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・停電への備えとして、照明器具や燃料のほか携帯電話の充電器及び懐中電灯・携帯ラジオの予備電池等、電源の確保に努めましょう。 ・災害時には携帯電話の回線がつながりにくくなり、連絡が取れない場合があります。安否確認の方法や集合場所などを事前に話し合い家族で共有しましょう。 ・「わが家の防災ハンドブック」、「各種ハザードマップ」等を活用し、お住まいの場所や勤務先の予想される災害や、避難場所・避難経路を確認しておきましょう。 ・非常持ち出し品として、非常食や飲料水、常備薬など避難するときに持ち出す最小限の必需品をリュック等に詰めておき、玄関など持ち出しやすい場所に置いておきましょう。 ・非常備蓄品として食品や水等の生活必需品を最低 3 日分備蓄しておきましょう。 ・家の周囲の飛ばされそうな物は、室内に取り込むか固定するようにしましょう。 ・テレビ、ラジオ等から出された気象情報や市が配信する災害情報を活用し、情報収集しましょう。
2	10/10 14:10 10/10 14:30 (SNS)		○	○	○	○	台風第 19 号情報 (10/10 第 2 報)	<p>大型で猛烈な台風第 19 号は、非常に強い勢力を保ったまま、12 日から 13 日にかけて、西日本から東日本に接近し、上陸するおそれがあり、全国的に暴風や警戒級の大雨となる可能性があります。台風が近づき天候が悪くなる前に、台風情報には十分留意し、早めの備えを心がけましょう。</p> <p>【台風への対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・停電への備えとして、照明器具や燃料のほか携帯電話の充電器及び懐中電灯・携帯ラジオの予備電池等、電源の確保に努めましょう。 ・災害時には携帯電話の回線がつながりにくくなり、連絡が取れない場合があります。安否確認の方法や集合場所などを事前に話し合い家族で共有しましょう。 ・「わが家の防災ハンドブック」、「各種ハザードマップ」等を活用し、お住まいの場所や勤務先の予想される災害や、避難場所・避難経路を確認しておきましょう。 ・非常持ち出し品として、非常食や飲料水、常備薬など避難するときに持ち出す最小限の必需品をリュック等に詰めておき、玄関など持ち出しやすい場所に置いておきましょう。 ・非常備蓄品として食品や水等の生活必需品を最低 3 日分備蓄しておきましょう。 ・家の周囲の飛ばされそうな物は、室内に取り込むか固定するようにしましょう。 ・テレビ、ラジオ等から出された気象情報や市が配信する災害情報を活用し、情報収集しましょう。
3	10/11 10:07	○	○	○	○	○	台風第 19 号の接近に伴う自主避難所開設情報	<p>台風第 19 号の接近に伴い、郡山市では自主的に避難される市民の方々を受け入れるため、以下の施設を本日より午後 3 時に自主避難所として開設します。自主避難する場合は、雨や風から身を守るなど、安全には十分注意してください。</p> <p>■本庁管内</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合福祉センター（朝日一丁目 2 9-9）（電話：024-924-2950） ・芳賀地域公民館（芳賀二丁目 6-1）（電話：024-944-3559） <p>■行政センター管内</p> <ul style="list-style-type: none"> ・富久山総合学習センター（富久山町福原字泉崎 1 8 1-1）（電話：024-925-1500） ・安積総合学習センター（安積町荒井字南赤坂 2 6 5）（電話：024-945-6466） ・田村公民館（田村町岩作字穂多礼 4 0-3）（電話：024-955-3842）

(その2)

No.	放送日時	防災行政無線	メルマガ・登録制メール	防災ウェブサイト	SNS (フェイスブック・ツイッター)	電話ガイダンス	放送タイトル	文章情報
4	10/11 15:14	○	○				台風第19号の接近に伴う自主避難所開設情報	<p>台風第19号の接近に伴い、郡山市では自主的に避難される市民の方々を受け入れるため、以下の施設を本日午後3時に自主避難所として開設しております。自主避難する場合は、雨や風から身を守るなど、安全には十分注意してください。</p> <p>■本庁管内</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合福祉センター（朝日一丁目29-9）（電話：024-924-2950） ・芳賀地域公民館（芳賀二丁目6-1）（電話：024-944-3559） <p>■行政センター管内</p> <ul style="list-style-type: none"> ・富久山総合学習センター（富久山町福原字泉崎181-1）（電話：024-925-1500） ・安積総合学習センター（安積町荒井字南赤坂265）（電話：024-945-6466） ・田村公民館（田村町岩作字穂多礼40-3）（電話：024-955-3842）
5	10/12 08:30	○	○	○	○	○	台風第19号の接近に伴う自主避難所開設情報	<p>台風第19号の接近に伴い、郡山市では自主的に避難される市民の方々を受け入れるため、以下の施設を自主避難所として開設しております。自主避難する場合は、雨や風から身を守るなど、安全には十分注意してください。</p> <p>■本庁管内</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合福祉センター（朝日一丁目29-9）（電話：024-924-2950） ・芳賀地域公民館（芳賀二丁目6-1）（電話：024-944-3559） <p>■行政センター管内</p> <ul style="list-style-type: none"> ・富久山総合学習センター（富久山町福原字泉崎181-1）（電話：024-925-1500） ・安積総合学習センター（安積町荒井字南赤坂265）（電話：024-945-6466） ・田村公民館（田村町岩作字穂多礼40-3）（電話：024-955-3842）
6	10/12 11:58	○	○	○	○	○	台風第19号の接近に伴う避難準備情報について	<p>台風第19号の接近に伴い、郡山市では避難される市民の方々を受け入れるため、新たに以下の15施設を本日午後1時に避難所として開設を予定しております。今後、冠水等により道路が通行できなくなるおそれがありますので、早めに避難の御準備をお願いします。また、イオンタウン(松木町)の駐車場を、自家用車の一時避難場所として開放しています。なお、鉄道等のアンダーパスについては、道路冠水のおそれもあるため、通行する際は御注意ください。</p> <p>■本庁管内</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東芳小学校（阿久津町字大間250）（電話：024-944-7899） ・桜小学校（山崎5）（電話：024-932-5290） ・白岩小学校（白岩町字柿ノ口1-1）（電話：024-956-8400） ・小原田小学校（小原田四丁目5-18）（電話：024-944-3216） <p>■行政センター管内</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高倉小学校（日和田町高倉字館腰25-3）（電話：024-958-4088） ・日和田公民館梅沢分館（日和田町梅沢字新屋敷72-4）（電話：024-958-2352） ・日和田公民館八丁目分館（日和田町八丁目字仲頃29-7）（電話：024-958-2352） ・日和田地域交流センター（日和田町広野入5-1）（電話：024-958-6550） ・西田地域交流センター（西田町三丁目字仁王ヶ作19-2）（電話：024-972-2570） ・西田ふれあいセンター（西田町三丁目字桜内259）（電話：024-972-2807） ・安積第一小学校（安積町荒井字神明6-1）（電話：024-945-0997） ・高瀬小学校（田村町上行合字良耕地22-3）（電話：024-955-3781） ・逢瀬コミュニティセンター（逢瀬町多田野字南原3）（電話：024-957-2417） ・熱海多目的交流施設（ほっとあたま）（熱海町熱海二丁目15-1）（電話：024-984-3101） ・中田ふれあいセンター（中田町下枝字大平358）（電話：024-973-2951）

(その3)

No.	放送日時	防災行政無線	メルマガ・登録制メール	防災ウェブサイト	SNS (フェイスブック・ツイッター)	電話ガイダンス	放送タイトル	文章情報
7	10/12 13:07		○	○		○	台風第19号「避難準備・高齢者等避難開始」発令に伴う避難所開設情報	<p>台風第19号の接近により、当市では現在警戒レベル3「避難準備・高齢者等避難開始」を発令しており、避難される市民の方々を受け入れるため、以下の施設を避難所として午後1時から開設します。避難される際は雨や風から身を守るなど安全には十分注意してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合福祉センター（朝日一丁目29-9 電話 024-924-2950） ・東芳小学校（阿久津町字大間250 電話 024-944-7899） ・芳賀地域公民館（芳賀二丁目6-1 電話 024-944-3559） ・芳賀小学校（芳賀二丁目20-17 電話 024-944-3226） ・桜小学校（山崎5 電話 024-932-5290） ・白岩小学校（白岩町字柿ノ口1-1 電話 024-956-8400） ・小原田小学校（小原田四丁目5-18 電話 024-944-3216） ・高倉小学校（日和田町高倉字館腰25-3 電話 024-958-4088） ・日和田公民館梅沢分館（日和田町梅沢字新屋敷72-4 電話 024-958-2352） ・日和田公民館八丁目分館（日和田町八丁目字仲頃29-7 電話 024-958-2352） ・日和田地域交流センター（日和田町広野入5-1 電話 024-958-6550） ・西田地域交流センター（西田町三丁目字仁王ヶ作19-2 電話 024-972-2570） ・西田ふれあいセンター（西田町三丁目字桜内259 電話 024-972-2807） ・富久山総合学習センター（富久山町福原字泉崎181-1 電話 024-925-1500） ・安積第一小学校（安積町荒井字神明6-1 電話：024-945-0997） ・安積総合学習センター（安積町荒井字南赤坂265 電話 024-945-6466） ・高瀬小学校（田村町上行合字良耕地22-3 電話 024-955-3781） ・田村公民館（田村町岩作字穂多礼40-3 電話 024-955-3842） ・逢瀬コミュニティセンター（逢瀬町多田野字南原3 電話 024-957-2417） ・熱海多目的交流施設（ほっとあたま）（熱海町熱海二丁目15-1 電話 024-984-3101） ・中田ふれあいセンター（中田町下枝字大平358 電話 024-973-2951） ・障害者福祉センター（香久池一丁目15-15 電話 024-934-5811）
8	10/12 15:47 10/12 15:49 (SNS)	○	○	○	○	○	台風第19号「避難勧告」発令に伴う避難所開設情報（追加）	<p>台風第19号の接近により、郡山市では現在警戒レベル4「避難勧告」を発令しており、避難される市民の方々を受け入れるため、現在22箇所の施設を避難所として開設しておりますが、新たに以下の4箇所の施設で避難所を開設いたします。避難される際は雨や風から身を守るなど安全には十分注意してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小原田地域公民館（小原田四丁目3-4 電話 944-3649） ・ニコニコ子ども館（桑野一丁目2-3 電話 924-2525） ・中央公民館（麓山一丁目8-4 電話 934-1212） ・御代田小学校（田村町御代田字中林8 電話 944-0096）
9	10/12 17:01 10/12 17:02 (SNS)	○	○	○	○	○	台風19号の発生に伴う交通情報（橋通行止め）	<p>台風19号の接近に伴い、田村町及び安積町の阿武隈川にかかる永徳橋が、本日19時に通行止めとなります。</p>
10	10/12 17:44 10/12 17:47 (SNS)		○	○	○		台風第19号「避難指示」緊急の発令に伴う避難所開設情報（追加）	<p>台風第19号の接近により、郡山市では現在警戒レベル4「避難指示」緊急を発令しており、避難される市民の方々を受け入れるため、現在26箇所の施設を避難所として開設しておりますが、新たに以下の9箇所の施設で避難所を開設いたします。避難される際は雨や風から身を守るなど安全には十分注意してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・富久山公民館富久山分室（富久山町久保田字久保田216 電話 932-2709） ・行健小学校（富久山町久保田字空谷地 電話 922-2709） ・金透小学校（堂前町5-21 電話 932-5291） ・郡山第五中学校（桜木二丁目20-5 電話 932-5319） ・三穂田ふれあいセンター（三穂田町富岡字鹿ノ崎11-1 電話 954-2111） ・片平ふれあいセンター（片平町字町南7-2 電話 951-5730） ・喜久田ふれあいセンター（喜久田町堀之内字下河原1 電話 959-2205） ・湖南サンサングリーン（湖南町舟津字舟津852 電話 982-2112） ・清水台地域公民館（清水台一丁目6-1 電話 921-3555）
11	10/12 18:58		○	○			台風19号発生に伴う美術館駐車場利用について	<p>台風19号接近に伴い、自家用車の退避場として、美術館駐車場を本日19時より利用できるようになりましたのでお知らせいたします。</p>

(その4)

No.	放送日時	防災行政無線	メルマガ・登録制メール	防災ウェブサイト	SNS (フェイスブック・ツイッター)	電話ガイダンス	放送タイトル	文章情報
12	10/12 19:31 10/12 19:38 (SNS)		○	○	○		台風第19号「避難指示」緊急の発令に伴う避難所開設情報（閉鎖・追加）	<p>台風第19号の接近により、郡山市では現在警戒レベル4「避難指示」緊急を発令しており、避難される市民の方々を受け入れるため、現在35箇所の施設を避難所として開設しておりますが、次の1箇所の施設の避難所を閉鎖し、新たに2箇所の施設を開設します。避難される際は雨や風から身を守るなど安全には十分注意してください。</p> <p>【閉鎖される避難所】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高倉小学校（日和田町高倉字館腰 25-3 電話 958-4088） <p>【新たに開設される避難所】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日和田公民館高倉分館（日和田町高倉字町裏 34-2 電話 958-2352） ・安積第三小学校（安積町成田字北山崎 18-3 電話 945-8700）
13	10/12 20:37			○			旧市内とは	旧市内とは、富田町、大槻町、安積町、三穂田町、逢瀬町、片平町、喜久田町、日和田町、富久山町、湖南町、熱海町、田村町、西田町、中田町を除いた市街地となります。概ね東は阿武隈川、西は大槻町、南は安積町、北は富久山町に囲まれた地域です。
14	10/12 21:59	○	○	○		○	台風19号の発生に伴う交通情報（通行止め）	福島県より情報提供があり、県道郡山湖南線・猪苗代湖南線が、本日22時に通行止めとなります。
15	10/12 22:38 10/12 22:39 (SNS)		○	○	○		台風19号の発生に伴う交通情報（国道49号線通行止め）	<p>国土交通省郡山国道事務所では、郡山市田村町栃本の谷田川増水に伴う国道49号線冠水のため、本日19時より全面通行止めを実施しております。</p> <p>【規制区間】平田村上蓬田横森後（道の駅ひらた）から郡山市田村町谷田川稲荷前までの延長約17キロメートル</p>
16	10/13 00:13		○	○			台風19号の発生に伴う交通情報（国道49号線通行止め）第2報	<p>国土交通省郡山国道事務所では、阿武隈川増水に伴う国道49号線冠水のため、本日23時より全面通行止めを実施しております。</p> <p>【規制区間】郡山市田村町山中字本郷（山中交差点）から郡山市字城清水（郡山警察署前交差点）までの約5.4キロメートルです。</p>
17	10/13 01:39			○			台風第19号避難所開設情報（追加）	<p>台風第19号の接近により、避難される市民の方々を受け入れるため、新たに6箇所の施設が開設されております。</p> <p>【新たに開設される避難所】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行徳小学校（富久山町久保田字三御堂 143-1 電話 923-2830） ・大島小学校（並木四丁目 10 電話 933-6761） ・守山小学校（田村町守山字三ノ丸 1 電話 955-3105） ・守山中学校（田村町山中字団子田 177-2 電話 955-3108） ・芳山小学校（長者二丁目 8-24 電話 932-5294） ・橘小学校（堤下町 4-4 電話 932-5295）

(その5)

No.	放送日時	防災行政無線	メルマガ・登録制メール	防災ウェブサイト	SNS (フェイスブック・ツイッター)	電話ガイダンス	放送タイトル	文章情報
18	10/13 20:17 10/13 20:38 (SNS)			○	○		台風第 19 号避難 所情報 (10 月 13 日 16 時現在)	<p>台風第 19 号の接近により、当市では避難される市民の方々を受け入れるため、現在、以下の 28 施設を避難所として開設しております。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合福祉センター (朝日一丁目 2 9-9 電話 924-2950) ・芳賀地域公民館 (芳賀二丁目 6-1 電話 944-3559) ・芳賀小学校 (芳賀二丁目 20-17 電話 944-3226) ・桜小学校 (山崎 5 電話 932-5290) ・小原田小学校 (小原田四丁目 5-1 8 電話 944-3216) ・日和田地域交流センター (日和田町広野入 5-1 電話 958-6550) ・西田ふれあいセンター (西田町三丁目字桜内 2 5 9 電話 972-2807) ・富久山総合学習センター (富久山町福原字泉崎 1 8 1-1 電話 925-1500) ・安積第一小学校 (安積町荒井字神明 6-1 電話 945-0997) ・安積総合学習センター (安積町荒井字南赤坂 2 6 5 電話 945-6466) ・高瀬小学校 (田村町上行合字長耕地 2 2-3 電話 955-3781) ・田村公民館 (田村町岩作字穂多礼 4 0-3 電話 955-3842) ・富久山公民館富久山分室 (富久山町久保田字久保田 216 電話 932-2709) ・郡山第五中学校 (桜木二丁目 20-5 電話 932-5319) ・清水台地域公民館 (清水台一丁目 6-1 電話 921-3555) ・行徳小学校 (富久山町久保田字三御堂 143-1 電話 923-2830) ・守山小学校 (田村町守山字三ノ丸 1 電話 955-3105) ・守山中学校 (田村町山中字団子田 177-2 電話 955-3108) ・芳山小学校 (長者二丁目 8-24 電話 932-5294) ・橘小学校 (堤下町 4-4 電話 932-5295) ・日和田公民館高倉分館 (日和田町高倉字町裏 34-2 電話 958-2352) ・安積第三小学校 (安積町成田字北山崎 18-3 電話 945-8700) ・小原田地域公民館 (小原田四丁目 3-4 電話 944-3649) ・ニコニコこども館 (桑野一丁目 2-3 電話 924-2525) ・中央公民館 (麓山一丁目 8-4 電話 934-1212) ・御代田小学校 (田村町御代田字中林 8 電話 944-0096) ・障害者福祉センター (香久池一丁目 15-15 電話 934-5811)
19	10/13 20:35 10/13 20:40 (SNS)		○	○	○	○	阿武隈川流域に おける救助活動 について	<p>本日の阿武隈川流域における 郡山消防本部の救助活動は日没で終了しました。 明日午前 6 時より再開します。</p>

(その6)

No.	放送日時	防災行政無線	メルマガ・登録制メール	防災ウェブサイト	SNS (フェイスブック・ツイッター)	電話ガイダンス	放送タイトル	文章情報
20	10/13 20:45 10/14 02:56 (SNS)			○	○		台風第19号避難 所情報 (10月13 日 20時現在)	<p>台風第19号の接近により、当市では避難される市民の方々を受け入れるため、現在、以下の27施設を避難所として開設しております。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合福祉センター (朝日一丁目29-9 電話 924-2950) ・芳賀地域公民館 (芳賀二丁目6-1 電話 944-3559) ・芳賀小学校 (芳賀二丁目20-17 電話 944-3226) ・桜小学校 (山崎5 電話 932-5290) ・小原田小学校 (小原田四丁目5-18 電話 944-3216) ・日和田地域交流センター (日和田町広野入5-1 電話 958-6550) ・西田ふれあいセンター (西田町三丁目字校内259 電話 972-2807) ・富久山総合学習センター (富久山町福原字泉崎181-1 電話 925-1500) ・安積第一小学校 (安積町荒井字神明6-1 電話 945-0997) ・安積総合学習センター (安積町荒井字南赤坂265 電話 945-6466) ・高瀬小学校 (田村町上行合字良耕地22-3 電話 955-3781) ・田村公民館 (田村町岩作字穂多礼40-3 電話 955-3842) ・富久山公民館富久山分室 (富久山町久保田字久保田216 電話 932-2709) ・郡山第五中学校 (桜木二丁目20-5 電話 932-5319) ・清水台地域公民館 (清水台一丁目6-1 電話 921-3555) ・行徳小学校 (富久山町久保田字三御堂143-1 電話 923-2830) ・守山小学校 (田村町守山字三ノ丸1 電話 955-3105) ・守山中学校 (田村町山字団子田177-2 電話 955-3108) ・芳山小学校 (長者二丁目8-24 電話 932-5294) ・橘小学校 (堤下町4-4 電話 932-5295) ・日和田公民館高倉分館 (日和田町高倉字町裏34-2 電話 958-2352) ・安積第三小学校 (安積町成田字北山崎18-3 電話 945-8700) ・小原田地域公民館 (小原田四丁目3-4 電話 944-3649) ・ニコニコこども館 (桑野一丁目2-3 電話 924-2525) ・中央公民館 (麓山一丁目8-4 電話 934-1212) ・御代田小学校 (田村町御代田字中林8 電話 944-0096) ・障害者福祉センター (香久池一丁目15-15 電話 934-5811)
21	10/14 08:30		○	○			阿武隈川の漏水 情報	小原田二丁目地区付近からの漏水につきましては、国で現地調査を行い、決壊に至る漏水ではないことを確認いたしました。なお、当地区は水位が下がっておりますが、洪水警報が引き続き発表されておりますので、気象情報に注意して、危険だと思ったら早めに避難してください。
22	10/14 10:31	○	○	○		○	福島交通のバス 運休について	本日14日(月)の市内の路線バスは、全線運転が見合わせておりますので、御注意ください。なお、今後の運行情報については、「福島交通ウェブサイト」等により御確認ください。
23	10/14 11:32			○			郡山市災害対策 本部	郡山市では、台風第19号に係る災害応急対策を実施するため、市役所正庁に郡山市災害対策本部を設置しています。 ○設置日時：令和元年10月12日(土曜日)14時00分 台風に対する対応状況について
24	10/14 13:16			○			被災された皆様 へ	この度の台風19号の被害にあわれた市民の皆様に、心からお見舞い申し上げます。皆様の生活再建のための、各種支援制度につきましては、決まり次第お知らせいたします。
25	10/14 13:30	○				○	福島交通のバス 運休について	本日14日(月)の市内の路線バスは、全線運転が見合わせておりますので、御注意ください。なお、今後の運行情報については、「福島交通ウェブサイト」等により御確認ください。
26	10/14 18:13 10/14 18:15 (SNS)	○	○	○	○	○	災害ごみの取り 扱いについて	今回の台風第19号の浸水被害の影響で、富久山クリーンセンターの機能が停止しており、ごみの搬入受付や処分が出来ない状況となっております。災害ごみの取扱いについては、回収方法、場所など詳細が決定し次第、早急にお知らせしますので、まずは自宅敷地内に保管していただきますようお願いいたします。なお、粗大ごみの回収受付は、当面の間休止します。可燃ごみ・不燃ごみ・資源物につきましては、ごみカレンダーのとおり回収します。
27	10/14 19:10	○	○	○	○	○	市内全域の避難 勧告・避難指示 (緊急)の一斉 解除について	市内に発令しておりました洪水害及び土砂災害の避難勧告及び避難指示(緊急)を、全て一斉に解除いたしました。なお、今後も気象情報や災害情報を、油断なくあらゆる手段で御確認ください。

(その7)

No.	放送日時	防災行政無線	メルマガ・登録制メール	防災ウェブサイト	SNS (フェイスブック・ツイッター)	電話ガイダンス	放送タイトル	文章情報
28	10/14 20:06 10/14 20:57 (SNS)	○	○	○		○	台風19号通過後の道路通行上の注意について	今回の台風による道路冠水により、土砂が堆積している箇所の道路清掃を順次、進めているところでありますが、まだ清掃が終了していない箇所については、大変滑りやすくなっておりますので、自動車で通行する際は、速度を落として通行してください。
29	10/14 20:31 10/14 20:33 (SNS)		○		○		災害ごみの取り扱いについて(再送)	今回の台風第19号の浸水被害の影響で、富久山クリーンセンターの機能が停止しており、ごみの搬入受付や処分が出来ない状況となっております。災害ごみの取扱いについては、回収方法、場所など詳細が決定し次第、早急にお知らせしますので、まずは自宅敷地内に保管していただきますようお願いいたします。なお、粗大ごみの回収受付は、当面の間休止します。可燃ごみ・不燃ごみ・資源物につきましては、ごみカレンダーのとおり回収します。
30	10/14 21:35 10/14 21:43 (SNS)		○	○	○		公共交通機関の運行状況について(10月15日運行分)	路線バス・福島交通【10月15日運行分】郡山管内の路線バスについては、全面運休となります。今後の運行情報につきましては、福島交通のウェブサイトをご確認ください。福島交通ウェブサイト https://www.fukushima-koutu.co.jp/JR東日本(在来線) 【10月15日運行分】・水郡線(当面)運休(線路等の甚大な被害のため)・東北本線、磐越西線、磐越東線の運行状況については、JR東日本の運行情報をご確認ください。JR東日本ウェブサイト(運行情報) http://www.jreast.co.jp/
31	10/14 21:59 10/14 22:33 (SNS)			○	○		台風19号に係る相談窓口及びコールセンターの設置について	台風第19号に係る各種支援等に関し、「相談窓口」及び「コールセンター」を設置します。 1 相談窓口 (1) 開設日時: 10月15日(火) 午前10時 (2) 場 所: 市役所正庁(本庁舎2階) 2 コールセンター(フリーダイヤル) (1) 開設日 : 10月15日(火) ○電話番号と開始する時間は、決まり次第、お知らせします。 ※「相談窓口」及び「コールセンター」の開設時間は、午前8時30分から午後5時15分(土、日曜日・祝日を除く。)です。
32	10/14 23:07			○			台風第19号避難所情報(10月14日21時現在)	台風第19号の接近により、当市では避難される市民の方々を受け入れるため、現在、以下の19施設を避難所として開設しております。 ・総合福祉センター(朝日一丁目29-9 電話 924-2950) ・芳賀地域公民館(芳賀二丁目6-1 電話 944-3559) ・芳賀小学校(芳賀二丁目20-17 電話 944-3226) ・小原田小学校(小原田四丁目5-18 電話 944-3216) ・富久山総合学習センター(富久山町福原字泉崎181-1 電話 925-1500) ・安積第一小学校(安積町荒井字神明6-1 電話 945-0997) ・安積総合学習センター(安積町荒井字南赤坂265 電話 945-6466) ・高瀬小学校(田村町上行合字良耕地22-3 電話 955-3781) ・田村公民館(田村町岩作字穂多礼40-3 電話 955-3842) ・富久山公民館富久山分室(富久山町久保田字久保田216 電話 932-2709) ・郡山第五中学校(桜木二丁目20-5 電話 932-5319) ・清水台地域公民館(清水台一丁目6-1 電話 921-3555) ・守山小学校(田村町守山字三ノ丸1 電話 955-3105) ・芳山小学校(長者二丁目8-24 電話 932-5294) ・小原田地域公民館(小原田四丁目3-4 電話 944-3649) ・ニコニコこども館(桑野一丁目2-3 電話 924-2525) ・中央公民館(麓山一丁目8-4 電話 934-1212) ・御代田小学校(田村町御代田字中林8 電話 944-0096) ・障害者福祉センター(香久池一丁目15-15 電話 934-5811)
33	10/15 02:53 (HP) 10/15 03:17 (SNS) 10/15 07:00 (メール)		○	○	○		【重要】台風第19号に係る各種支援制度について	この度、台風第19号の被害にあわれた市民の皆様にご心からお見舞い申し上げます。各種支援制度については、以下のリンク先「郡山市公式ホームページ」の「台風第19号に係る各種支援制度について」からご確認ください。今後、被災者支援制度については「郡山市公式ホームページ」に、気象警報や住民避難情報等については、「郡山防災ウェブサイト」に掲載します。 【特設ページ】 ・台風第19号に係る各種支援制度について

(その8)

No.	放送日時	防災行政無線	メルマガ・登録制メール	防災ウェブサイト	SNS (フェイスブック・ツイッター)	電話ガイダンス	放送タイトル	文章情報
34	10/15 07:30	○				○	公共交通機関の運行状況について(10月15日運行分)	路線バス ・福島交通【10月15日運行分】 郡山管内の路線バスについては、全面運休となります。 今後の運行情報につきましては、福島交通のウェブサイトをご確認ください。 福島交通ウェブサイト https://www.fukushima-koutu.co.jp/ JR 東日本（在来線）【10月15日運行分】 ・水郡線（当面）運休（線路等の甚大な被害のため） ・東北本線、磐越西線、磐越東線の運行状況については、JR 東日本の運行情報をご確認ください。 JR 東日本ウェブサイト（運行情報） http://www.jreast.co.jp/
35	10/15 07:49		○	○			台風19号の発生に伴う交通情報（通行止め解除）	福島県より情報提供があり、県道郡山湖南線は、昨日、18時頃から片側通行にて通行ができるようになっております。
36	10/15 08:30		○				台風19号に係る相談窓口及びコールセンターの設置について	台風第19号に係る各種支援等に関し、「相談窓口」及び「コールセンター」を設置します。 1 相談窓口 （1）開設日時：10月15日（火）午前10時 （2）場 所：市役所正庁（本庁舎2階） 2 コールセンター（フリーダイヤル） （1）開設日：10月15日（火） ○電話番号と開始する時間は、決まり次第、お知らせします。 ※「相談窓口」及び「コールセンター」の開設時間は、午前8時30分から午後5時15分です。
37	10/15 09:30	○				○	台風19号通過後の道路通行上の注意について	今回の台風による道路冠水により、土砂が堆積している箇所の道路清掃を順次進めているところでありますが、また清掃が完了していない箇所については、大変すべりやすくなっておりますので、自動車で通行する際は、速度を落として通行してください。
38	10/15 16:20 10/15 16:29 (SNS)		○	○	○		公共交通機関の運行状況について(10月15日運行分)第2報	JR 東日本（在来線）【10月15日運行分】 ・磐越西線は、郡山から会津若松間の運転を再開いたしております。 郡山駅発（下り） 13:47便から 会津若松駅（上り） 13:26便から ※同区間の上下線には遅れと運休がでています。 ・各路線の運行状況については、JR 東日本の運行状況をご確認ください。 JR 東日本ウェブサイト（運行情報） http://www.jreast.co.jp/
39	10/15 16:47			○			台風19号による市内郵便局の営業休止状況について	台風19号に伴う、郡山市内の郵便局の営業休止状況について、郵便局から周知の依頼がありましたのでお知らせします。 ・郡山若葉町郵便局 当面の間（10月15日～）窓口休止 （〒963-8011 郡山市若葉町 10-10 電話：024-933-4131） ・郡山笹川郵便局 当面の間（10月15日～）窓口休止 （〒963-0108 郡山市笹川 2-241-2 電話：024-945-9570）
40	10/15 19:49 10/15 19:52 (SNS)		○	○	○		災害に便乗した悪質商法にご注意ください	地震、大雨などの災害時にはそれに便乗した悪質商法が多数発生しています。悪質商法には災害発生地域だけが狙われるとは限りません。災害に便乗した悪質な商法には十分注意してください。お困りの際には、一人で悩まずお近くの消費生活センター等（消費者ホットライン188）にご相談ください。ウェブサイトをご確認ください。 http://www.kokusen.go.jp/soudan_now/date/disaster.html
41	10/16 11:35	○				○	福島交通のバス運休について	郡山管内の路線バスにつきまして、一部の運行を開始します。詳しくは、福島交通のウェブサイトをご確認ください。
42	10/16 14:00	○				○	福島交通のバス運休について	郡山管内の路線バスにつきまして、一部の運行を開始します。詳しくは、福島交通のウェブサイトをご確認ください。

(その9)

No.	放送日時	防災行政無線	メルマガ・登録制メール	防災ウェブサイト	SNS (フェイスブック・ツイッター)	電話ガイダンス	放送タイトル	文章情報
43	10/16 19:30 10/16 19:31 (SNS)	○	○	○	○	○	福島交通の運行状況について(10月17日運行分)	郡山管内の路線バスにつきまして、一部の運行を開始します。詳しくは、福島交通のウェブサイトを確認ください。
44	10/17 07:05	○				○	福島交通の運行状況について(10月17日運行分)	郡山管内の路線バスにつきまして、一部の運行を開始します。詳しくは、福島交通のウェブサイトを確認ください。
45	10/17 13:00	○		○		○	JR 東北本線の試験運行について(10月17日)	JR 東北本線につきましては、本日 14 時から 17 時までの間、安積永盛駅から本宮駅の間で試験運行が行われます。お近くの方は御注意ください。
46	10/17 16:59 10/17 16:59 (SNS)		○	○	○		ゆうゆう地下道に通行止めの解除について	台風第 19 号の被害により、向河原町のゆうゆう地下道を通行止めにしていましたが、本日 10 月 17 日(木曜日) 13 時 10 分に通行止めを解除いたしました。
47	10/17 18:49 (HP・メール) 10/17 18:56 (SNS) 10/18 07:05 (無線・電話ガイダンス)	○	○	○	○	○	JR 東北本線の一部運行開始について	JR 東北本線につきましては、安積永盛駅から本宮駅の間で、18 日の始発から運転本数を減らして、運転が再開されます。詳しくは、JR 東日本のウェブサイトを確認ください。
48	10/18 11:57 10/18 11:59 (SNS)	○	○	○	○	○	大雨警戒情報	日本の南に停滞している前線が、19 日にかけて本州付近に北上し、19 日朝には前線上の関東地方に低気圧が発生し、また、18 日夜には山陰沖に別の低気圧が発生する関係で、18 日から 19 日にかけて、東日本と東北地方の広い範囲で雨が降り、特に 18 日夜遅くから 19 日昼過ぎにかけては太平洋側沿岸を中心に激しい雨が降り、大雨となる所がある見込みです。台風第 19 号による記録的な大雨により、河川が氾濫し、堤防等が損傷を受けた地域や地盤の緩んでいる所は、少しの雨でも洪水や土砂災害の危険度が高まるおそれがあります。河川の増水や氾濫に警戒し、土砂災害や低い土地の浸水に警戒・注意してください。 【防災事項】 18 日 6 時から 19 日 24 時にかけての総雨量は、多い所で ・東北太平洋側(福島県、宮城県、岩手県) 100 から 150 ミリ
49	10/18 15:47	○	○	○		○	大雨による自主避難所開設情報(10月18日)	郡山市では、18 日夜から雨が降り出し、19 日朝は、大雨となるおそれがあります。台風第 19 号の影響で、河川の堤防等が損傷を受けた地域や地盤の緩んでいる所は、少しの雨でも危険度が高まるおそれがあります。今後の気象情報に細心の注意を払いながら、直ちに避難できる体制をとってください。現在、以下の 14 施設を避難所として開設しておりますので、心配な方は早めに避難ください。 ・総合福祉センター(朝日一丁目 29-9 電話 924-2950) ・芳賀地域公民館(芳賀二丁目 6-1 電話 944-3559) ・小原田小学校(小原田四丁目 5-18 電話 944-3216) ・富久山総合学習センター(富久山町福原字泉崎 181-1 電話 925-1500) ・安積総合学習センター(安積町荒井字南赤坂 265 電話 945-6466) ・高瀬小学校(田村町上行合字良耕地 22-3 電話 955-3781) ・田村公民館(田村町岩作字穂多礼 40-3 電話 955-3842) ・富久山公民館富久山分室(富久山町久保田字久保田 216 電話 932-2709) ・清水台地域公民館(清水台一丁目 6-1 電話 921-3555) ・小原田地域公民館(小原田四丁目 3-4 電話 944-3649) ・ニコニコこども館(桑野一丁目 2-3 電話 924-2525) ・中央公民館(麓山一丁目 8-4 電話 934-1212) ・障害者福祉センター(香久池一丁目 15-15 電話 934-5811) ・芳賀小学校(芳賀二丁目 20-17 電話 944-3226)
50	10/18 16:42 10/18 16:46 (SNS)		○	○	○		自衛隊による入浴サービスの開始について	高瀬小学校では、自衛隊が入浴支援をおこなっております。 場 所 : 高瀬小学校 利用時間: 16 時~21 時 その他 : タオル、石鹸、シャンプーは設置しております。

(その 10)

No.	放送日時	防災行政無線	メルマガ・登録制メール	防災ウェブサイト	SNS (フェイスブック・ツイッター)	電話ガイダンス	放送タイトル	文章情報
51	10/18 17:09 10/18 17:13 (SNS)		○	○	○		大雨による浸水被害防止のための土のうの配布について	郡山市では、大雨などによる浸水に備え、土のうを配布しております。配布を希望する方は、道路維持課の下記の番号にご連絡ください。大雨、台風等の悪天候が頻発する時期に短時間での設置、撤去には対応できない場合がありますので、なるべく早い時期のご連絡及び一度設置した後は、長時間ご利用くださいますよう御協力をお願いします。なお、以下の場合は個人での対応となり、市の土のうは御利用になれませんので御注意ください。 ・私有地から私有地への流水に対する設置 ・私道への設置
52	10/18 19:13 10/18 19:16 (SNS)		○	○	○		り災証明書の電子申請について	このたびの台風第 19 号により被災された方へお知らせします。り災照明の申請については、本庁舎 2 階の総合相談窓口及び各行政センター（富田・大槻を除く）において、受付しておりますが、新たに本日からインターネットによる電子申請の受付を開始しました。パソコンやスマートフォンをお持ちであれば、上記窓口へご来庁いただかなくても、24 時間いつでも申請可能です。なお、電子申請を行うにあたり、被害の分かる写真や本人確認書類（免許証等）のデータ添付は不要です。 電子申請の URL は以下のとおりです。 http://www.task-asp.net/cu/eg/lar072036.task?app=201900213 また、上記電子申請は郡山市ウェブサイトからも申請できますので、詳しくは、郡山市ウェブサイト「り災証明書について」をご覧ください。
53	10/20 10:18			○			台風第 19 号避難所情報（10 月 20 日 10 時現在）	台風第 19 号の接近に伴い、現在、開設している指定避難所は、以下の 13 施設【10 月 20 日 10 時現在】となります。 ・総合福祉センター（朝日一丁目 29-9 電話 924-2950） ・芳賀地域公民館（芳賀二丁目 6-1 電話 944-3559） ・芳賀小学校（芳賀二丁目 20-17 電話 944-3226） ・富久山総合学習センター（富久山町福原字泉崎 181-1 電話 925-1500） ・安積総合学習センター（安積町荒井字南赤坂 265 電話 945-6466） ・高瀬小学校（田村町上行合字長耕地 22-3 電話 955-3781） ・田村公民館（田村町岩作字穂多礼 40-3 電話 955-3842） ・富久山公民館富久山分室（富久山町久保田字久保田 216 電話 932-2709） ・清水台地域公民館（清水台一丁目 6-1 電話 921-3555） ・小原田地域公民館（小原田四丁目 3-4 電話 944-3649） ・ニコニコこども館（桑野一丁目 2-3 電話 924-2525） ・中央公民館（麓山一丁目 8-4 電話 934-1212） ・障害者福祉センター（香久池一丁目 15-15 電話 934-5811）
54	10/21 17:50 (HP・メール) 10/21 17:55 (SNS) 10/21 18:05 (電話ガイダンス)		○	○	○	○	大雨による避難所開設情報（10 月 21 日）	郡山市では、台風第 20 号の影響により 22 日に大雨となるおそれがあります。台風第 19 号の影響で、河川の堤防等が損傷を受けた地域や地盤の緩んでいる所は、少しの雨でも危険度が高まるおそれがあります。今後の気象情報に細心の注意を払いながら、いつでも避難できる体制をとってください。現在、以下の 13 施設を避難所として開設しておりますので、心配な方は早めに避難ください。 ・総合福祉センター（朝日一丁目 29-9 電話 924-2950） ・芳賀地域公民館（芳賀二丁目 6-1 電話 944-3559） ・富久山総合学習センター（富久山町福原字泉崎 181-1 電話 925-1500） ・安積総合学習センター（安積町荒井字南赤坂 265 電話 945-6466） ・高瀬小学校（田村町上行合字長耕地 22-3 電話 955-3781） ・田村公民館（田村町岩作字穂多礼 40-3 電話 955-3842） ・富久山公民館富久山分室（富久山町久保田字久保田 216 電話 932-2709） ・清水台地域公民館（清水台一丁目 6-1 電話 921-3555） ・小原田地域公民館（小原田四丁目 3-4 電話 944-3649） ・ニコニコこども館（桑野一丁目 2-3 電話 924-2525） ・中央公民館（麓山一丁目 8-4 電話 934-1212） ・障害者福祉センター（香久池一丁目 15-15 電話 934-5811） ・芳賀小学校（芳賀二丁目 20-17 電話 944-3226）

(その 11)

No.	放送日時	防災行政無線	メルマガ・登録制メール	防災ウェブサイト	SNS (フェイスブック・ツイッター)	電話ガイダンス	放送タイトル	文章情報
55	10/22 13:25 10/22 13:27 (SNS)	○	○	○	○	○	大雨警戒情報 (10月22日)	<p>福島気象台によると、前線や低気圧の影響により、23日未明にかけて大雨となる所がある見込みです。台風第19号の影響で、河川の堤防等が損傷を受けた地域や地盤の緩んでいる所は、少しの雨でも洪水や土砂災害の危険度が高まるおそれがあります。今後の気象情報に細心の注意を払いながら、心配な方は、現在開設している避難所に避難するほか、安全な場所に移動するなど早めの御準備をお願いいたします。【現在開設している避難所 22日10時現在】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合福祉センター（朝日一丁目29-9 電話 924-2950） ・芳賀地域公民館（芳賀二丁目6-1 電話 944-3559） ・富久山総合学習センター（富久山町福原字泉崎181-1 電話 925-1500） ・安積総合学習センター（安積町荒井字南赤坂265 電話 945-6466） ・高瀬小学校（田村町上行合字長耕地22-3 電話 955-3781） ・田村公民館（田村町岩作字穂多礼40-3 電話 955-3842） ・富久山公民館富久山分室（富久山町久保田字久保田216 電話 932-2709） ・清水台地域公民館（清水台一丁目6-1 電話 921-3555） ・小原田地域公民館（小原田四丁目3-4 電話 944-3649） ・ニコニコこども館（桑野一丁目2-3 電話 924-2525） ・中央公民館（麓山一丁目8-4 電話 934-1212） ・障害者福祉センター（香久池一丁目15-15 電話 934-5811） ・芳賀小学校（芳賀二丁目20-17 電話 944-3226） <p>【防災事項】23日6時までの24時間に予想される雨量は、いずれも多い所で、中通り80ミリです</p>
56	10/24 11:43 10/24 12:00 (SNS)	○	○	○	○	○	大雨警戒情報 (10月24日)	<p>福島気象台によると、福島県では低気圧の影響により、25日は雨となり大雨となる所がある見込みです。台風第19号の影響で、河川の堤防等が損傷を受けた地域や地盤の緩んでいる所は、少しの雨でも洪水や土砂災害の危険度が高まるおそれがあります。今後の気象情報に細心の注意を払いながら、自分が住む地域のハザードマップや避難経路を確認し、現在開設している避難所や安全な場所に移動するなど、早めの避難準備をお願いいたします。</p> <p>【現在開設している避難所 24日10時現在】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合福祉センター（朝日一丁目29-9 電話 924-2950） ・芳賀地域公民館（芳賀二丁目6-1 電話 944-3559） ・安積総合学習センター（安積町荒井字南赤坂265 電話 945-6466） ・富久山総合学習センター（富久山町福原字泉崎181-1 電話 925-1500） ・田村公民館（田村町岩作字穂多礼40-3 電話 955-3842） ・高瀬小学校（田村町上行合字長耕地22-3 電話 955-3781） ・芳賀小学校（芳賀二丁目20-17 電話 944-3226） ・障害者福祉センター（香久池一丁目15-15 電話 934-5811） ・小原田地域公民館（小原田四丁目3-4 電話 944-3649） ・中央公民館（麓山一丁目8-4 電話 934-1212） ・ニコニコこども館（桑野一丁目2-3 電話 924-2525） ・富久山公民館富久山分室（富久山町久保田字久保田216 電話 932-2709） ・清水台地域公民館（清水台一丁目6-1 電話 921-3555） <p>【防災事項】</p> <p>25日6時までの24時間に予想される雨量は、いずれも多い所で中通り20ミリです。その後、26日6時までの24時間に予想される雨量は、多いところで中通り100ミリから150ミリです。</p>
57	10/24 17:11 10/24 17:13 (SNS)	○	○	○	○	○	屋内配線の安全 確認について	<p>東北電力では、台風第19号により浸水し、停電した浸水被害の家屋などを対象に、屋内配線の安全確認（電気使用前の点検）を実施しています。</p> <p>水に漬かった電化製品や屋内配線は、漏電による火災の原因となる場合がありますので使用しないほか、屋内配線の安全確認が必要なため、電気は使用せず、まずは、東北電力のネットワークコールセンター（0120-175-366）までご連絡をお願いします。</p>

(その 12)

No.	放送日時	防災行政無線	メルマガ・登録制メール	防災ウェブサイト	SNS (フェイスブック・ツイッター)	電話ガイダンス	放送タイトル	文章情報
58	10/25 08:30	○	○	○		○	大雨警戒情報 (10月25日) 第2報	<p>福島気象台によると、福島県では低気圧の影響により、本日昼過ぎから雷を伴って激しい雨が降り、夕方から夜遅くは局地的に非常に激しい雨が降り、26日屋前にかけて大雨となる見込みです。台風第19号の影響で、河川の堤防等が損傷を受けた地域や地盤の緩んでいる所は、普段では災害が起きないような雨量でも洪水や土砂災害の危険度が高まるおそれがあります。今後の気象情報に細心の注意を払いながら、自分が住む地域のハザードマップや避難経路を確認し、現在開設している避難所や安全な場所に移動するなど、早めの避難準備をお願いいたします。</p> <p>【現在開設している避難所 24日20時現在】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合福祉センター（朝日一丁目29-9 電話924-2950） ・芳賀地域公民館（芳賀二丁目6-1 電話944-3559） ・富久山総合学習センター（富久山町福原字泉崎181-1 電話925-1500） ・安積総合学習センター（安積町荒井字南赤坂265 電話945-6466） ・高瀬小学校（田村町上行合字良耕地22-3 電話955-3781） ・田村公民館（田村町岩作字穂多礼40-3 電話955-3842） ・富久山公民館富久山分室（富久山町久保田字久保田216 電話932-2709） ・清水台地域公民館（清水台一丁目6-1 電話921-3555） ・小原田地域公民館（小原田四丁目3-4 電話944-3649） ・ニコニコこども館（桑野一丁目2-3 電話924-2525） ・中央公民館（麓山一丁目8-4 電話934-1212） ・障害者福祉センター（香久池一丁目15-15 電話934-5811） ・芳賀小学校（芳賀二丁目20-17 電話944-3226） <p>【防災事項】</p> <p>26日6時までの24時間に予想される雨量は、多い所で中通り180ミリです</p>
59	10/25 13:37 10/25 13:45 (SNS)	○	○	○		○	大雨警戒情報 (10月25日) 第3報	<p>福島気象台によると、福島県では低気圧の影響により、本日午後から雷を伴って激しい雨が降り、夕方から夜遅くは局地的に非常に激しい雨が降り、26日屋前にかけて大雨となる見込みです。台風第19号の影響で、河川の堤防等が損傷を受けた地域や地盤の緩んでいる所は、普段では災害が起きないような雨量でも洪水や土砂災害の危険度が高まるおそれがあります。今後の気象情報に細心の注意を払いながら、自分が住む地域のハザードマップや避難経路を確認し、現在開設している避難所や安全な場所に移動するなど、早めの避難準備をお願いいたします。</p> <p>【本日の気象状況に伴い新たに開設した避難所 4施設】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民プラザ（ビックアイ6・7階）（駅前二丁目11-1 922-5544） ・郡山市民文化センター（堤下町1-2 電話934-2288） ・日本大学工学部（田村町徳定字中河原1 電話080-5720-8997） ・帝京安積高等学校（安積町日出山字新明下43 電話941-7755） <p>【現在開設している避難所 13施設】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合福祉センター（朝日一丁目29-9 電話924-2950） ・芳賀地域公民館（芳賀二丁目6-1 電話944-3559） ・富久山総合学習センター（富久山町福原字泉崎181-1 電話925-1500） ・安積総合学習センター（安積町荒井字南赤坂265 電話945-6466） ・高瀬小学校（田村町上行合字良耕地22-3 電話080-5720-8987） ・田村公民館（田村町岩作字穂多礼40-3 電話955-3842） ・富久山公民館富久山分室（富久山町久保田字久保田216 電話932-2709） ・清水台地域公民館（清水台一丁目6-1 電話921-3555） ・小原田地域公民館（小原田四丁目3-4 電話944-3649） ・ニコニコこども館（桑野一丁目2-3 電話924-2525） ・中央公民館（麓山一丁目8-4 電話934-1212） ・障害者福祉センター（香久池一丁目15-15 電話934-5811） ・芳賀小学校（芳賀二丁目20-17 電話080-5720-8988） <p>【防災事項】</p> <p>26日6時までの24時間に予想される雨量は、多い所で中通り180ミリです</p>

(その 13)

No.	放送日時	防災行政無線	メルマガ・登録制メール	防災ウェブサイト	SNS (フェイスブック・ツイッター)	電話ガイダンス	放送タイトル	文章情報
60	10/25 16:30		○	○			避難所開設情報 (10月25日)	警戒レベル3 避難準備・高齢者等避難開始発令に伴う、避難所の開設状況をお知らせします。 【本日の気象状況に伴い新たに開設した避難所 5 施設】 ・市民交流プラザ（ビックアイ7階）（駅前二丁目11-1 電話 080-5720-8996） ・郡山市民文化センター（堤下町1-2 電話 934-2288） ・日本大学工学部（田村町徳定字中河原1 電話 080-5720-8997） ・帝京安積高等学校（安積町日出山字新明下43 電話 941-7755） ・御代田小学校（田村町御代田字中林8 電話 080-5720-8998） 【現在開設している避難所 13 施設】 ・総合福祉センター（朝日一丁目29-9 電話 924-2950） ・芳賀地域公民館（芳賀二丁目6-1 電話 944-3559） ・富久山総合学習センター（富久山町福原字泉崎181-1 電話 925-1500） ・安積総合学習センター（安積町荒井字南赤坂265 電話 945-6466） ・高瀬小学校（田村町上行合字良耕地22-3 電話 080-5720-8987） ・田村公民館（田村町岩作字穂多礼40-3 電話 955-3842） ・富久山公民館富久山分室（富久山町久保田字久保田216 電話 932-2709） ・清水台地域公民館（清水台一丁目6-1 電話 921-3555） ・小原田地域公民館（小原田四丁目3-4 電話 944-3649） ・ニコニコこども館（桑野一丁目2-3 電話 924-2525） ・中央公民館（麓山一丁目8-4 電話 934-1212） ・障害者福祉センター（香久池一丁目15-15 電話 934-5811） ・芳賀小学校（芳賀二丁目20-17 電話 080-5720-8988）
61	10/25 18:44 10/25 18:56 (SNS)		○	○	○		大雨に伴うイオンタウン郡山の駐車場利用について	本日の大雨により、自家用車の退避場として、イオンタウン郡山（松木町2-88）の駐車場を本日限りで、利用できるようになりましたのでお知らせいたします。
62	10/25 18:58		○	○			避難所開設情報 2 (10月25日)	避難準備・高齢者等避難開始発令に伴う、避難所の開設状況をお知らせします。 【現在開設している避難所 19 施設】 ※日本大学工学部の避難所は70号館3階になります。 ・総合福祉センター（朝日一丁目29-9 電話 924-2950） ・芳賀地域公民館（芳賀二丁目6-1 電話 944-3559） ・富久山総合学習センター（富久山町福原字泉崎181-1 電話 925-1500） ・安積総合学習センター（安積町荒井字南赤坂265 電話 945-6466） ・高瀬小学校（田村町上行合字良耕地22-3 電話 080-5720-8987） ・田村公民館（田村町岩作字穂多礼40-3 電話 955-3842） ・富久山公民館富久山分室（富久山町久保田字久保田216 電話 932-2709） ・清水台地域公民館（清水台一丁目6-1 電話 921-3555） ・小原田地域公民館（小原田四丁目3-4 電話 944-3649） ・ニコニコこども館（桑野一丁目2-3 電話 924-2525） ・中央公民館（麓山一丁目8-4 電話 934-1212） ・障害者福祉センター（香久池一丁目15-15 電話 934-5811） ・芳賀小学校（芳賀二丁目20-17 電話 080-5720-8988） ・市民交流プラザ（ビックアイ7階）（駅前二丁目11-1 電話 080-5720-8996） ・郡山市民文化センター（堤下町1-2 電話 934-2288） ・日本大学工学部70号館3階（田村町徳定字中河原1 電話 080-5720-8997） ・帝京安積高等学校2階（安積町日出山字新明下43 電話 941-7765） ・御代田小学校（田村町御代田字中林8 電話 080-5720-8998） ・小原田小学校（小原田四丁目5-18 電話 080-5720-8999）
63	10/26 07:32		○	○	○	○	【気象情報】気象警報の解除	10月26日7時17分 福島地方気象台発表 郡山市 洪水警報 解除

(その 14)

No.	放送日時	防災行政無線	メルマガ・登録制メール	防災ウェブサイト	SNS (フェイスブック・ツイッター)	電話ガイダンス	放送タイトル	文章情報
64	10/26 07:41 10/26 07:47 (SNS)		○	○	○		避難準備・高齢者等避難開始 (警戒レベル 3) の解除及び避難所閉鎖情報 (10月 26 日)	<p>市内に発令しておりました洪水害の避難準備・高齢者等避難開始 (警戒レベル 3) を本日 7 時半に解除いたしました。また、発令に伴い新たに開設した次の避難所 6 施設を閉鎖いたしますのでお知らせします。</p> <p>【閉鎖した避難所 6 施設】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民交流プラザ (ビックアイ 7 階) (駅前二丁目 11-1 電話 080-5720-8996) ・郡山市民文化センター (堤下町 1-2 電話 934-2288) ・日本大学工学部 70 号館 3 階 (田村町徳定字中河原 1 電話 080-5720-8997) ・帝京安積高等学校 2 階 (安積町日出山字新明下 43 電話 941-7765) ・御代田小学校 (田村町御代田字中林 8 電話 080-5720-8998) ・小原田小学校 (小原田四丁目 5-18 電話 080-5720-8999) <p>※なお、台風第 19 号に伴う以下の 13 施設の避難所は引き続き開設しております。</p> <p>【台風第 19 号に伴い開設している避難所 13 施設】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合福祉センター (朝日一丁目 29-9 電話 924-2950) ・芳賀地域公民館 (芳賀二丁目 6-1 電話 944-3559) ・富久山総合学習センター (富久山町福原字泉崎 181-1 電話 925-1500) ・安積総合学習センター (安積町荒井字南赤坂 265 電話 945-6466) ・高瀬小学校 (田村町上行合字良耕地 22-3 電話 080-5720-8987) ・田村公民館 (田村町岩作字穂多礼 40-3 電話 955-3842) ・富久山公民館富久山分室 (富久山町久保田字久保田 216 電話 932-2709) ・清水台地域公民館 (清水台一丁目 6-1 電話 921-3555) ・小原田地域公民館 (小原田四丁目 3-4 電話 944-3649) ・ニコニコこども館 (桑野一丁目 2-3 電話 924-2525) ・中央公民館 (麓山一丁目 8-4 電話 934-1212) ・障害者福祉センター (香久池一丁目 15-15 電話 934-5811) ・芳賀小学校 (芳賀二丁目 20-17 電話 080-5720-8988)
65	10/26 17:49 10/26 17:51 (SNS)		○	○	○		市道の通行止めのお知らせ	<p>昨日の大雨の影響により、西田町の市道「赤沼大谷地線」を 10 月 26 日の午前 11 時 30 分から、日和田町の市道「高倉坪沢三丁目線」を同日午前 11 時 45 分から、それぞれ通行止としております。</p> <p>皆様にはご迷惑をおかけいたします。</p>
66	10/27 13:34		○	○			市道 (赤沼大谷地線、高倉坪沢三丁目線) の通行止め解除のお知らせ	<p>先日の大雨の影響により、市道「赤沼大谷地線」(西田町鬼生田字大谷地地内) 及び市道「高倉坪沢三丁目線」(日和田町山ノ井地内) をそれぞれ通行止としておりましたが、本日午前 10 時にそれぞれ解除しましたのでお知らせいたします。</p> <p>皆様には大変ご迷惑をおかけいたしました。</p>

(その 15)

No.	放送日時	防災行政無線	メルマガ・登録制メール	防災ウェブサイト	SNS (フェイスブック・ツイッター)	電話ガイダンス	放送タイトル	文章情報
67	10/27 18:52 10/27 18:59 (SNS)		○	○	○		自衛隊による入浴サービスの終了について	<p>10月17日(木)から実施しておりました高瀬小学校での自衛隊による入浴支援は10月29日(火)の入浴で終了となります。なお、被災された方は以下の施設を無料でご利用いただけます。</p> <p>【市施設】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ユラックス熱海(984-2800) ○寿楽荘(熱海町)(984-3130) ○中央老人福祉センター(朝日)(924-2966) ○逢瀬荘(957-2828) ○西田地域交流センター(972-2570) ○三穂田地域交流センター(954-2083) ○田村地域交流センター(975-2070) ○中田地域交流センター(973-3566) ○喜久田地域交流センター(959-2205) ○日和田地域交流センター(958-6550) ○サニーランド湖南(983-2277) <p>【民間施設】</p> <p>※施設により罹災証明書等の提示が必要になりますので、ご利用前に各施設にご確認ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○石橋ヘルス温泉(安積町)(946-7800) ○井戸川温泉(逢瀬町)(957-2173) ○郡山三穂田温泉(954-2626) ○forest パン源田(逢瀬町)(957-2320) ○休石温泉 太田屋(逢瀬町)(957-2620) ○天然温泉極楽湯 福島郡山店(八山田西)(934-4126) ○宇津峰カントリークラブ(須賀川市)(0248-79-2101)
68	11/12 12:05 11/12 12:11 (SNS)	○	○	○	○	○	宅地内に堆積した土砂を回収します	<p>台風第19号の浸水被害により、宅地内に堆積した土砂の回収方法についてお知らせします。宅地内の堆積土砂は、災害ごみやガレキ等と分別し、土砂のみを土のう袋に詰め、まとめて各戸の道路沿いに出してください。土のう袋については、市道路維持課で配布しています。詳細については、総合相談窓口(電話 0800-800-5333)又は道路維持課(電話 024-924-2301)までお問い合わせください。1 回収日 11月18日(月)・25日(月)※回収件数が多い場合、翌日の回収になる場合があります。※必ず災害ごみやガレキ等と分別し、土砂のみを土のう袋に詰めてください。※土のう袋には、「災害による土砂」と明記した張り紙をお願いします。2 土のう袋の配布について配布場所: 道路維持課(市役所本庁舎4階) 窓口配布時間: 月曜日から金曜日の午前8時30分から午後5時15分まで</p>
69	11/13 10:51 (HP) 11/13 10:55 (SNS) 11/13 10:59 (電話ガイダンス) 11/13 11:00 (メール)		○	○	○	○	生活必需品の支援について	<p>この度の台風第19号により、住居等が被災し日常生活を営むことが困難な方々を対象に、生活必需品(毛布・石鹸・歯磨き用品・シャンプー・紙おむつ等)の支援を行っています。支援が必要な方は、窓口を設置してある申込用紙に氏名・住所等の必要事項を記入し支援物資の受領をお願いします。</p> <p>場所: 郡山市役所本庁舎1階 防災危機管理課前</p> <p>時間: 午前8時30分から午後5時15分まで(土・日曜日、祝休日も開設しています。)</p>
70	11/16 12:05	○				○	宅地内に堆積した土砂を回収します	<p>台風第19号の浸水被害により、宅地内に堆積した土砂の回収方法についてお知らせします。宅地内の堆積土砂は、災害ごみやガレキ等と分別し、土砂のみを土のう袋に詰め、まとめて各戸の道路沿いに出してください。土のう袋については、市道路維持課で配布しています。詳細については、総合相談窓口(電話 0800-800-5333)又は道路維持課(電話 024-924-2301)までお問い合わせください。</p> <p>1 回収日 11月18日(月)・25日(月)</p> <p>※回収件数が多い場合、翌日の回収になる場合があります。</p> <p>※必ず災害ごみやガレキ等と分別し、土砂のみを土のう袋に詰めてください。</p> <p>※土のう袋には、「災害による土砂」と明記した張り紙をお願いします。</p> <p>2 土のう袋の配布について</p> <p>配布場所: 道路維持課(市役所本庁舎4階) 窓口</p> <p>配布時間: 月曜日から金曜日の午前8時30分から午後5時15分まで</p>

令和元年東日本台風における災害対応検証
(令和2年12月作成)

郡山市総務部防災危機管理課
〒963-8601
郡山市朝日一丁目23番7号
TEL 024-924-2161
FAX 024-924-0999